

「富士市の多文化共生」について

調査結果報告書

平成 27 年 3 月

富士市

目 次

I	調査概要.....	2
II	調査票と単純集計結果.....	5
III	調査結果の概要と課題.....	15
IV	調査結果.....	19
	1 あなたご自身のことについて.....	21
	2 多文化共生について.....	27
	3 姉妹友好都市交流、国際交流について.....	62
	4 多文化共生・国際化 両方について.....	81

I 調査概要

I 調査概要

1 調査の目的

本調査は、多文化共生・国際化推進に対する意識についての市民の意識や実態を把握し、今後の多文化共生・国際化推進施策を検討するための基礎資料を得ることを目的に実施した。

2 調査の内容

「富士市の多文化共生」について

3 調査の設計

- (1) 調査地域 富士市全域
- (2) 調査対象 富士市在住の満20歳以上の男女
- (3) 標本数 2,000人
- (4) 抽出方法 住民基本台帳から等間隔無作為抽出
- (5) 調査方法 郵送調査
- (6) 調査期間 平成27年2月13日～2月27日

4 回収結果

- (1) 発送数 2,000人
- (2) 回収数 910人 (45.5%)
- (3) 有効回収数 907人 (45.4%)

※有効回収数は、回収したが記入のない（または少ない）調査票を除いて集計した数。

5 報告書の見方

- ・当該質問に回答した人の実数（回答母数）を表記する場合は「N」と表示した。
- ・集計結果の％表示は、小数点以下第2位を四捨五入してあるので、内訳の合計がちょうど100.0%にならない場合がある。
- ・複数回答が可能な設問の場合は、すべての構成比の合計がちょうど100.0%にならない場合がある。

Ⅱ 調査票と単純集計結果

Ⅱ 調査票と単純集計結果

数値は回答の比率（％）

Nは回答者数（人）

「富士市の多文化共生」について

平成27年 2月 富士市

ご協力をお願い

日ごろから市政の推進に多大なご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本市では、市民の皆様の多文化共生・国際化推進に対する意識について、広く皆様にご意見を伺い、今後の多文化共生・国際化推進施策のための貴重な資料にさせていただきたいと考えております。

なお、アンケート調査の実施に当たっては、20歳以上の市民の方から無作為に2,000人を選ばせていただきました。調査の結果につきましては統計的な処理をいたしますので、あなたの個人情報外部に漏れたりすることは決してありません。

大変お忙しい折、恐縮に存じますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

～ 記入上のお願い ～

- ◆ご記入は、必ず封書宛名のご本人にお願いいたします。
- ◆あなた自身の考え方を、ありのままにお答えください。
- ◆回答は、用意された項目の中から当てはまるものを指示された回答数だけ選び、その番号を○で囲んでください。
- ◆回答が「その他」の場合は、番号に○をつけ、()内に具体的にご記入ください。
- ◆ご記入後、お手数ですが同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、**2月27日（金）まで**にご投函願います。
- ◆アンケートの中でご不明な点がございましたら、恐縮ですが下記へご連絡ください。

富士市役所多文化・男女共同参画課 国際交流室
電話 0545-55-2704

1 あなたご自身のことについて伺います

問1 あなたの性別を教えてください。(○は1つ)

1 男	42.9								
2 女	56.8							無回答	0.3

問2 あなたの年齢を教えてください。(○は1つ)

1 20歳代	8.0	2 30歳代	10.5	3 40歳代	18.4				
4 50歳代	15.2	5 60歳代	21.2	6 70歳以上	26.5				
								無回答	0.2

N=907

問3 あなたの職業を教えてください。(○は1つ)

1 自営業(農林水産業等従事者も含む)	8.6								
2 会社員等(会社役員・専門職・公務員も含む)	30.4								
3 アルバイト・パート	13.2								
4 派遣社員・契約社員	3.2								
5 学生・専門学校生	2.1								
6 家事専業	18.2								
7 無職	23.4								
8 その他	0.7							無回答	0.2

問4 あなたには、外国籍または外国にルーツを持つ友人や知人がいますか。(○は1つ)

1 いる	23.8								
2 いない	75.7	→問6へ						無回答	0.4

【問4で「1 いる」を選んだ方に伺います。】

問5 そのきっかけは何ですか。(○はいくつでも)

1 仕事上の付き合いから	44.0								
2 海外旅行に行った(来た)ことから	10.2								
3 留学をした(来た)ことから	9.3								
4 国際交流事業に参加したことから	3.2								
5 学校や英会話教室などの教師や講師、あるいは生徒だったから	14.8								
6 メール等で交流をしているから	4.6								
7 近所に住んでいるから	11.6								
8 子どもを通じた活動を一緒にしているから	8.3								
9 その他	22.2							無回答	1.9

2 多文化共生について伺います

問6 あなたは、「多文化共生」という言葉を知っていますか。(〇は1つ)

- | | | |
|-------------------------|------|---------|
| 1 言葉の意味も含めて知っている | 17.8 | |
| 2 言葉の意味はわからないが、聞いたことはある | 32.5 | |
| 3 知らない | 48.6 | 無回答 1.1 |

問7 あなたは、「やさしい日本語※」を知っていますか。(〇は1つ)

- | | | |
|---------------------|------|--------------|
| 1 知っていて、講座を受けたことがある | 0.1 | |
| 2 知っている | 19.7 | →問9へ |
| 3 知らない | 77.4 | →問9へ 無回答 2.8 |

※「やさしい日本語」：普通の日本語よりも簡単で、外国人にわかりやすい日本語。小学校2～3年生で習う漢字と、ひらがな、カタカナによる表現を使いますので、外国人だけでなく、お子さんやお年寄りにもわかりやすい日本語です。

【問7で「1 知っていて、講座を受けたことがある」を選んだ方に伺います。】

問8 講座の名称や主催機関など、講座について可能な範囲で教えてください。

<hr style="border-top: 1px dashed black;"/>

【全員に伺います。】

問9 あなたは、日本社会で外国人が増えることについてどう思いますか。(〇は1つ)

- | | | | |
|----------|------|-------|---------|
| 1 望ましい | 24.0 | (理由：) |) |
| 2 望ましくない | 16.2 | (理由：) |) |
| 3 わからない | 58.0 | | 無回答 1.8 |

問10 あなたは、外国人に対してどのような印象を持っていますか。(〇は1つ)

- | | | |
|--------------------|------|---------|
| 1 親しみを感じる | 6.1 | |
| 2 どちらかといえば親しみを感じる | 23.6 | |
| 3 どちらかといえば親しみを感じない | 18.3 | |
| 4 親しみを感じない | 7.2 | |
| 5 どちらともいえない | 43.3 | 無回答 1.5 |

問11 問10のように感じる理由を教えてください。

<hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/>

問12 あなたは現在、地域の外国人とどのような付き合いをしていますか。(○は1つ)

1 挨拶をする 15.3	2 顔や名前を知っている 3.3
3 時々話をする 7.3	4 親しく付き合っている 2.5
5 全く言葉を交わさない 11.9	6 地域に外国人はいない(知らない) 57.9
無回答 1.8	

問13 あなたは今後、地域の外国人とどのような付き合いをしていきたいですか。(○はいくつでも)

1 挨拶をしたい 33.4	2 日常会話をしたい 27.1
3 文化やスポーツ等での交流をしたい 13.1	4 地域事業と一緒に取り組みたい 12.1
5 語学を教えたい、または教えてほしい 12.1	6 あまり付き合いたくない 12.2
7 その他 2.8	8 わからない 26.0
無回答 2.1	

問14 富士市に暮らす外国人が日本人と互いに理解しあって生活するために、外国人にどのようなことを希望しますか。(○はいくつでも)

1 地域の人と交流したり、行事に参加してほしい 34.7
2 地域のルールを知り、守ってほしい 65.2
3 日本語を話せるようになってほしい 32.0
4 日本の生活習慣、文化等を理解してほしい 55.8
5 ルールやマナーなど、わからないことがあれば質問してほしい 40.9
6 外国人の目から見た地域づくりのアドバイスをしてほしい 14.6
7 語学を教えてほしい 13.3
8 その他 1.0
9 特に必要ない 6.4
無回答 2.2

問15 あなたは、富士市に暮らす外国人と互いに理解しあって生活するために、日本人にはどのようなことが必要だと思いますか。(○はいくつでも)

1 日ごろから、挨拶や声かけをする 61.6
2 地域の行事、イベントなどに外国人が参加しやすい環境を作る 39.4
3 話しかけるときには、できるだけ「やさしい日本語」を使うなど、工夫をする 37.5
4 地域のルールなどを外国語により情報提供する 27.2
5 自分の持っている知識や技術を外国人に伝える 9.6
6 多文化共生について理解を深める 20.7
7 外国の生活習慣、文化などについて理解を深める 25.8
8 差別意識を持たないようにする 59.8
9 外国人に日本語を教える 10.4
10 地域の外国人と意見交換を行う 9.6
11 困っている外国人がいたら声をかける 32.1
12 外国人を支援するボランティア活動に参加する 5.2
13 自分自身が外国語を習得する 12.2
14 その他 1.2
15 わからない 6.9
16 特に必要ない 3.6
無回答 1.9

問16 日本人と外国人が互いに理解しあって生活するために、市としてどのような取り組みが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

1	案内板などへの外国語表示の充実	53.1	
2	「やさしい日本語」での情報発信	33.8	
3	まちづくりセンターなどでの多文化共生・国際理解に関する講座等の充実	24.7	
4	広報や公的文書、地域で役立つ文書などの外国語版の作成と充実	22.3	
5	日本人と外国人との交流機会の充実	31.2	
6	外国人相談・支援窓口の充実	38.8	
7	外国人に対する、生活ルールなどの周知	42.4	
8	外国人に対する日本語教育の充実	24.5	
9	学校教育での多文化共生・国際理解の充実	25.2	
10	その他	1.2	
11	わからない	8.9	
12	特に必要ない	1.7	無回答 2.3

問17 あなたは、富士市役所内に外国人相談窓口（ポルトガル語・スペイン語）があることを知っていますか。(〇は1つ)

1	知っている	22.9	
2	知らない	75.5	無回答 1.5

問18 あなたは、「富士市国際交流ラウンジ※」を知っていますか。(〇は1つ)

1	知っていて、利用したことがある	1.8	
2	知っているが、利用したことはない	22.1	→問20へ
3	知らない	75.2	→問20へ 無回答 1.0

※富士市国際交流ラウンジ：富士市交流プラザ内にある、富士市の多文化共生推進拠点。

【問18で「1 知っていて、利用したことがある」を選んだ方に伺います。】

問19 あなたは、国際交流ラウンジが行う事業について知っていますか。(〇は1つ)

1	知っている	43.8	
2	知らない	37.5	無回答 18.8

【全員に伺います。】

問20 富士市国際交流ラウンジでは、外国人に日本語を教えるなどのボランティア活動が行われています。あなたは、外国人支援のボランティア活動に興味がありますか。(〇は1つ)

1	興味がある	14.7	
2	あまり興味はない	29.8	
3	興味はない	30.5	
4	わからない	23.2	無回答 1.9

3 姉妹友好都市交流、国際交流について伺います

問21 あなたは、富士市が米国・オーシャンサイド市、中国・嘉興市と姉妹友好都市提携を結んでいることを知っていますか。(○は1つ)

1 両方とも知っている 22.8	2 オーシャンサイド市は知っている 6.1
3 嘉興市は知っている 13.1	4 知らない 56.2
無回答 1.8	

問22 あなたは、今後、オーシャンサイド市や嘉興市に行ってみたいですか。(○は1つ)

1 両方の都市に行ってみたい 13.7	2 オーシャンサイド市に行ってみたい 15.1
3 嘉興市に行ってみたい 1.2	4 どちらも行きたくない 33.2
5 わからない 34.3	無回答 2.5

問23 あなたは、富士市が姉妹友好都市へ市民を派遣する事業を行っていることを知っていますか。(○は1つ)

1 知っている 22.9	2 知らない 75.2	無回答 1.9	N=907
--------------	-------------	---------	-------

問24 あなたは、あなたのご家族を富士市主催の姉妹友好都市派遣事業に参加させたいと思いますか。(○は1つ)

1 両方の都市への派遣事業に参加させたい 10.1
2 オーシャンサイド市の派遣事業に参加させたい 8.0
3 嘉興市への派遣事業に参加させたい 1.0
4 参加させたいとは思わない 32.1
5 わからない 47.0
無回答 1.8

問25 あなたは、今後の姉妹友好都市交流はどのような形で進めていくべきだと思いますか。(○は1つ)

1 行政が中心となって進めるべき 10.8
2 民間（国際交流協会など）が中心となって進めるべき 4.3
3 行政と民間が一体となって進めるべき 53.5
4 その他 1.5
5 わからない 28.6
無回答 1.3

問26 姉妹友好都市との交流は、今後どのような交流内容を重視して進めていくべきだと思いますか。(○はいくつでも)

1 姉妹友好都市から訪れる学生の受け入れ 36.4
2 中高生をはじめとする市民の派遣 24.1
3 市内の学校と姉妹友好都市の学校との学校交流 40.9
4 環境や福祉など、行政の相互交流 20.4
5 スポーツや芸術などを通じた市民同士の相互交流 27.5
6 電子メールやスカイプ等による市民同士の相互交流 5.1
7 姉妹友好都市との交流イベントの開催 36.1
8 その他 1.7
9 わからない 24.6
無回答 1.5

問27 あなたは、毎年2月に行われる富士市国際交流フェアを知っていますか。(○は1つ)

1	知っているし、行ったこともある	5.0	
2	知っているが、行ったことはない	22.8	
3	知らない	70.8	無回答 1.4

4 多文化共生・国際化 両方について伺います

問28 あなたは、市の多文化共生・国際交流事業について、どのように情報を入手していますか。(○はいくつでも)

1	広報ふじ	49.1	
2	市ウェブサイト (facebook, twitter 含む)	2.5	
3	国際交流ラウンジウェブサイト	0.9	
4	友人・知人	5.1	
5	ラジオエフ	3.9	
6	チラシ・ポスター	7.9	
7	その他	1.3	
8	特にない	45.8	無回答 2.3

問29 今後、多文化共生・国際化が進むのに伴い、あなた自身はどのような対応をしていきたいですか。(○はいくつでも)

1	国際交流や外国人支援のためのボランティア活動に積極的に参加したい	6.5	
2	積極的に外国の文化・経済・社会に関心を持つようにしたい	28.7	
3	外国人が感心する個性的な美しいまちづくりに努めたい	19.1	
4	日本の習慣や良い伝統を外国人に正しく伝えたい	34.4	
5	外国人と共に地域の行事に取り組むなど、まちづくりをしていきたい	16.6	
6	飢餓に苦しむ人や難民に物資や義援金など、支援の手を差し伸べたい	18.0	
7	外国語を話せるようにしたい	21.9	
8	地域の外国人の相談にのるなど、生活支援をしていきたい	5.0	
9	インターネット等を利用して外国の人々と交流したい	3.2	
10	開発途上国等で自分の技術などを生かしたい	1.4	
11	ホームステイなどを積極的に受け入れたい	2.6	
12	その他	1.1	
13	特にない	31.1	無回答 2.1

問30 富士市を訪れる外国人観光客を増やすため、どのような工夫が必要だと思いますか。

(〇はいくつでも)

1	公共施設へのWi-Fi環境等の整備	31.4	
2	外国語を使える観光ガイドの育成	55.2	
3	ピクトグラム(絵文字・絵表示)等を利用した案内表示の作成	31.3	
4	やさしい日本語や多言語での観光案内の配置・配布	48.7	
5	宗教や習慣、アレルギー等に対応できる食事メニュー表示の工夫	21.3	
6	富士市ウェブサイト等における、富士市観光情報を外国語表示にする	32.5	
7	その他	7.3	無回答 8.7

問31 多文化共生や国際化の進展に伴い、富士市においてどのような施策が重要と考えますか。

(〇はいくつでも)

1	異なる文化や価値観を理解・尊重できる人づくり	39.7	
2	日本人と外国人が互いに理解し、安心して暮らせる環境づくり	58.5	
3	日本人と外国人をつなぐ人材の育成	34.6	
4	災害時における、外国語による情報提供体制の整備	34.3	
5	姉妹友好都市などとの市民交流の推進	19.2	
6	観光スポットの整備や外国語による観光情報の発信	37.9	
7	国際会議や国際的なイベントの開催	12.6	
8	国際交流・協力団体への活動支援	13.6	
9	下水道など行政の経験を生かした国際協力の推進	7.3	
10	その他	1.1	
11	わからない	11.0	
12	特に必要ない	3.4	無回答 1.7

問32 多文化共生・国際化推進につきまして、ご意見などがあればご記入ください

質問は以上です。ご協力、誠にありがとうございました。

Ⅲ 調査結果の概要と課題

Ⅲ 調査結果の概要と課題

1 多文化共生について

(結果の概要)

- 外国籍または外国にルーツを持つ友人や知人が「いる」人は23.8%で、平成元年、平成21年の調査から上昇傾向で推移している。
- 多文化共生という言葉の認知度は50.3%で、平成21年調査より4ポイント上昇している。
- 「やさしい日本語」の認知度は約2割である。
- 外国人が増えることについて「望ましくない」と考える人よりも「望ましい」と考える人が7.8ポイント高く、平成21年調査から順位が入れ替わった。
- 外国人に対する印象は「親しみを感じる」が29.7%、「親しみを感じない」が25.5%である。
- 富士市に暮らす外国人には「地域のルールを守ってほしい」が65.2%、「日本の生活習慣、文化等を理解してほしい」が55.8%と、いずれも約6割を占めている。
- 富士市に暮らす日本人に必要なことは、外国人に対し「日ごろから、挨拶や声かけをする」が61.6%、「差別意識を持たないようにする」が59.8%と、いずれも約6割を占めている。
- 日本人と外国人が互いに仲良く生活するために市に必要な取り組みとしては、「案内板などへの外国語表示の充実」が53.1%、「外国人に対する、生活ルールなどの周知の充実」が42.4%と、いずれも4割を超えている。
- 「富士市国際交流ラウンジ」の認知度は約2割である。
- 外国人支援のボランティア活動に「興味がある」人は14.7%、「興味がない」人は60.3%である。

(課題)

- ◎市の現状を踏まえ、多文化共生社会の必要性や重要性を周知していく必要がある。
- ◎多文化共生社会に向けて、外国人、日本人双方に向けた行政からのアプローチが必要である。
- ◎ボランティア活動への興味がある人ほど外国人に対する理解を示していることから、外国人と関わる機会を確保して、理解を深めていくことが必要である。

2 姉妹友好都市交流、国際交流について

(結果の概要)

- 姉妹友好都市提携の認知度は42.0%で、「知らない」人が約6割を占めている。提携先の認知度は、「オーシャンサイド市」が28.9%、「嘉興市」が35.9%である。
- 姉妹友好都市へ市民を派遣する事業の認知度は22.9%であるが、20～40歳代で約1割、50歳以上の年代では約3割と、世代間の差が広がっている。

○今後の姉妹友好都市交流は、「行政と民間が一体となって進めるべき」が 53.5%と半数を超えている。

○毎年 2 月の富士市国際交流フェアの認知度は約 3 割、参加したことがある人は 5.0%である。

(課題)

◎姉妹友好都市提携の意義、提携先の紹介、交流事業の実態などを市民に周知していく必要がある。

◎異なる文化に触れることができる富士市国際交流フェアへの市民参加を促進し、交流事業への理解を深めていくことが必要である。

◎調査結果を踏まえ、姉妹友好都市との交流事業のあり方について検討していく必要がある。

3 多文化共生・国際化 両方について

(結果の概要)

○富士市の多文化共生・国際交流事業に関する情報入手方法は、「広報ふじ」と「特にない」がほぼ半数ずつの回答である。

○国際化の進展に伴う個人の対応としては、「日本の習慣や良い伝統を外国人に正しく伝えたい」、「積極的に外国の文化・経済・社会に関心を持つようにしたい」が約 3 割を占めている。

○富士市を訪れる外国人観光客を増やすために必要な工夫は、「外国語を使える観光ガイドの育成」が約半数を占めている。

○国際化の進展に伴う市の重要施策は、「日本人と外国人が互い理解し、安心して暮らせる環境づくり」が最も高く約 6 割を占めている。次いで、「異なる文化や価値観を理解・尊重できる人づくり」、「観光スポットの整備や外国語による観光情報の発信」が約 4 割と続いている。

(課題)

◎多文化共生・国際交流事業に関する情報は、若い世代の市民にも行き届くような広報活動を行い、幅広い世代の市民に周知していく必要がある。

◎文化や価値観の違いを理解し、お互いを尊重できる人づくりを進めていく必要がある。

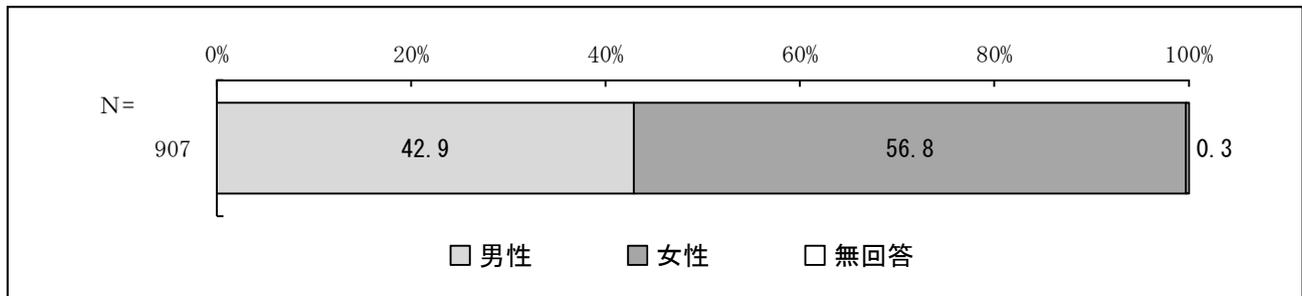
◎国際化の進展を観光振興にも結びつけていく必要がある。

IV 調査結果

IV 調査結果

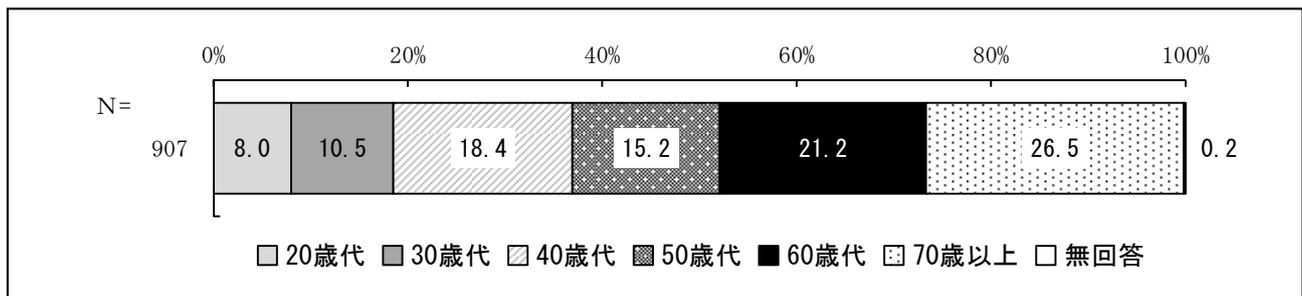
1 あなたご自身のことについて

問1 あなたの性別を教えてください。(○は1つ)



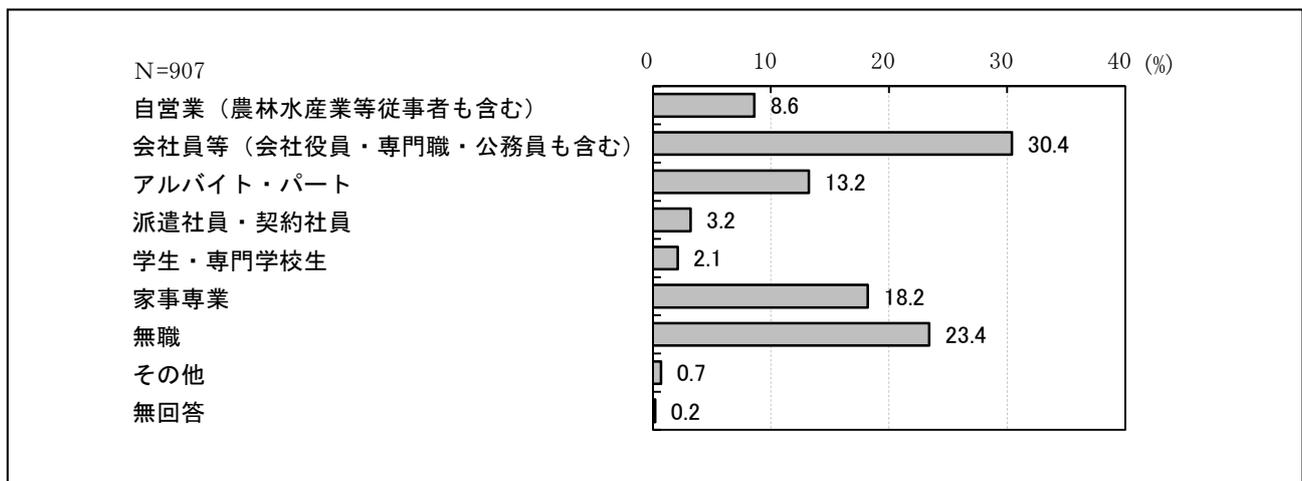
性別は、「男性」42.9%、「女性」56.8%となっている。

問2 あなたの年齢を教えてください。(○は1つ)



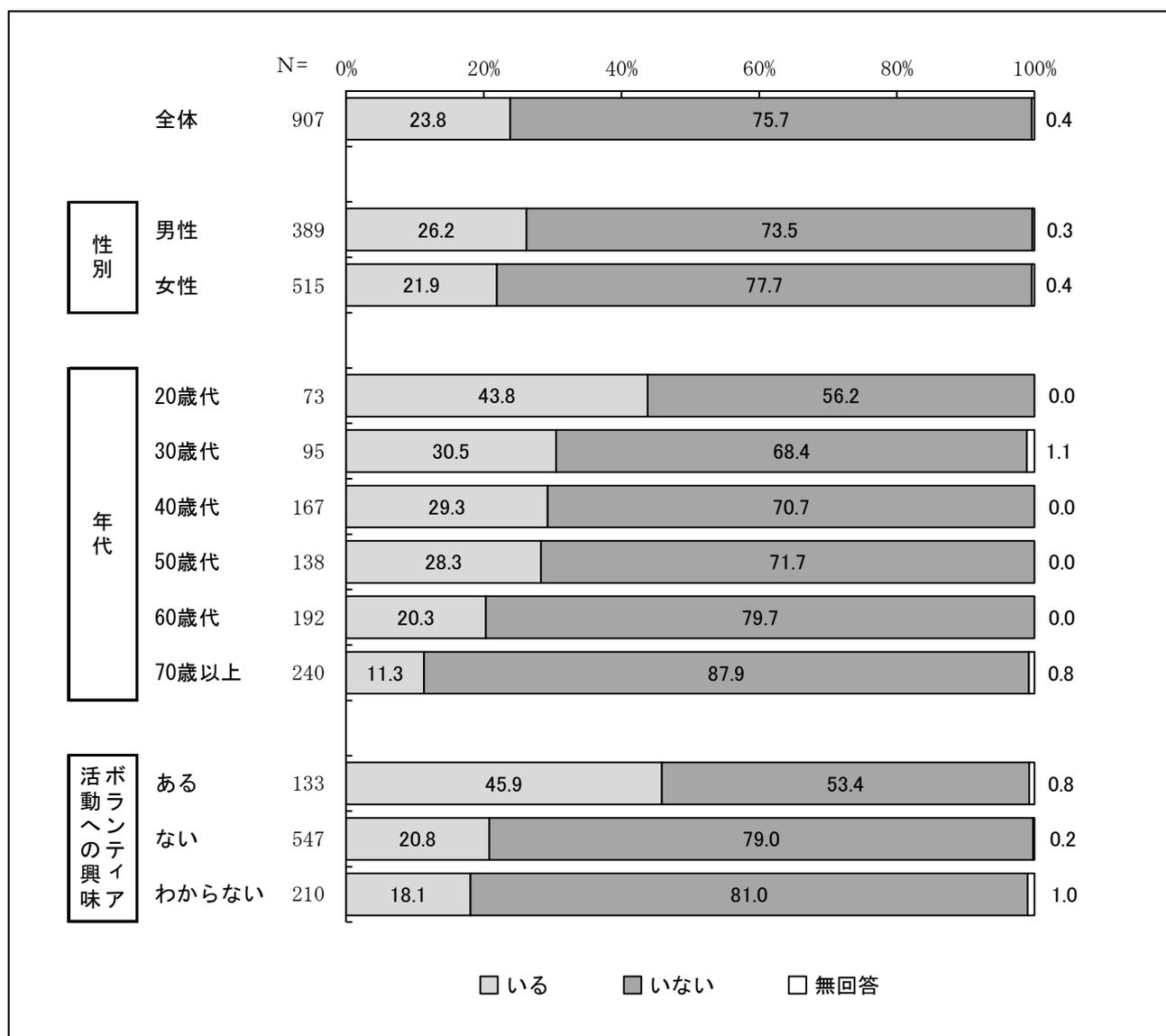
年齢は、「70歳以上」が26.5%と最も高く、「60歳代」21.2%、「40歳代」18.4%などと続いている。

問3 あなたの職業を教えてください。(○は1つ)



職業は、「会社員等 (会社役員・専門職・公務員も含む)」が30.4%と最も高く、「無職」23.4%、「家事専業」18.2%などと続いている。

問4 あなたには、外国籍または外国にルーツを持つ友人や知人がいますか。(〇は1つ)



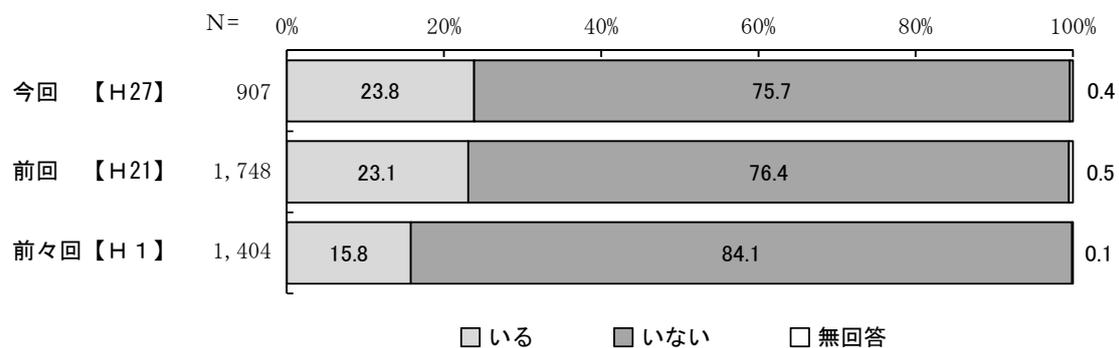
外国籍または外国にルーツを持つ友人や知人の有無は、「いる」23.8%、「いない」75.7%となっている。

性別にみると、大差はみられない。

年代別にみると、20歳代で「いる」が4割を超えており、年齢が高くなるほど「いる」が低くなっている。

ボランティア活動への興味別にみると、興味のある人で「いる」が45.9%と、5割近くを占めている。

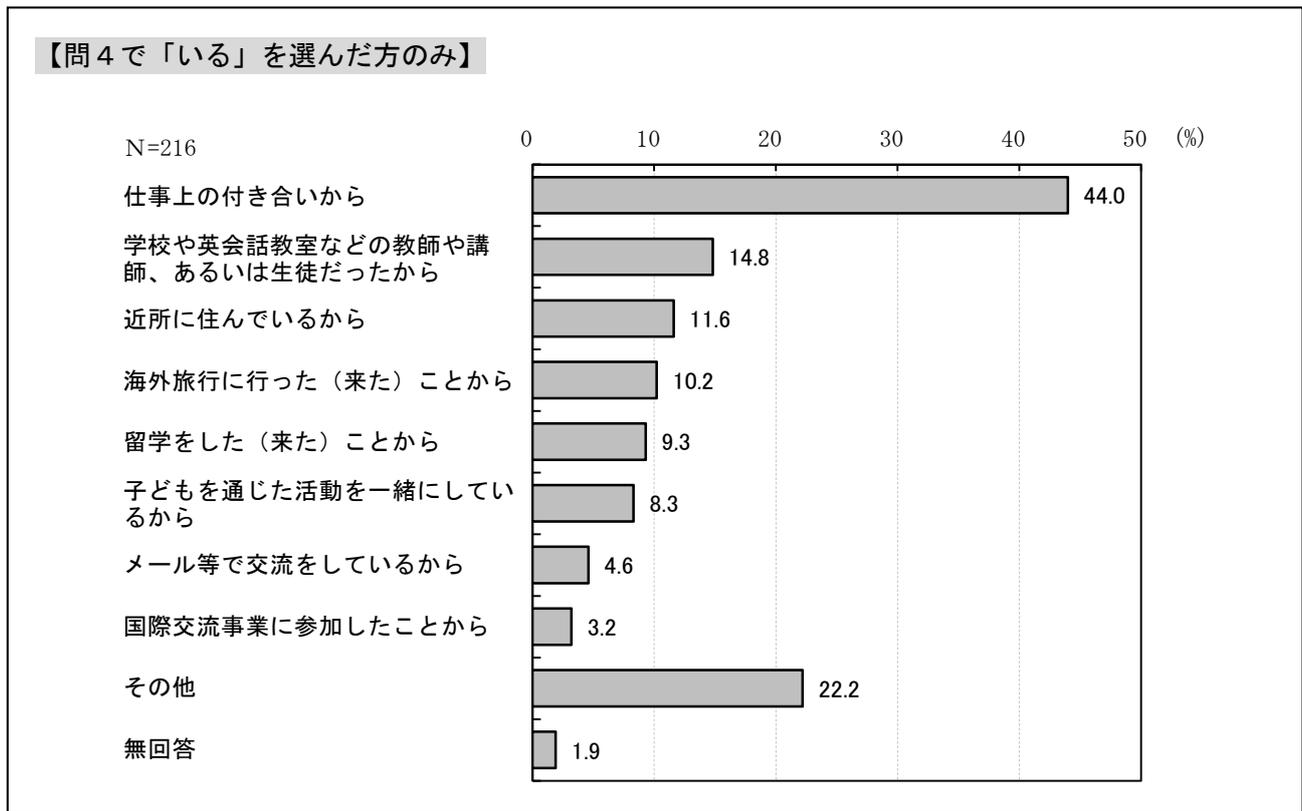
《経年比較》



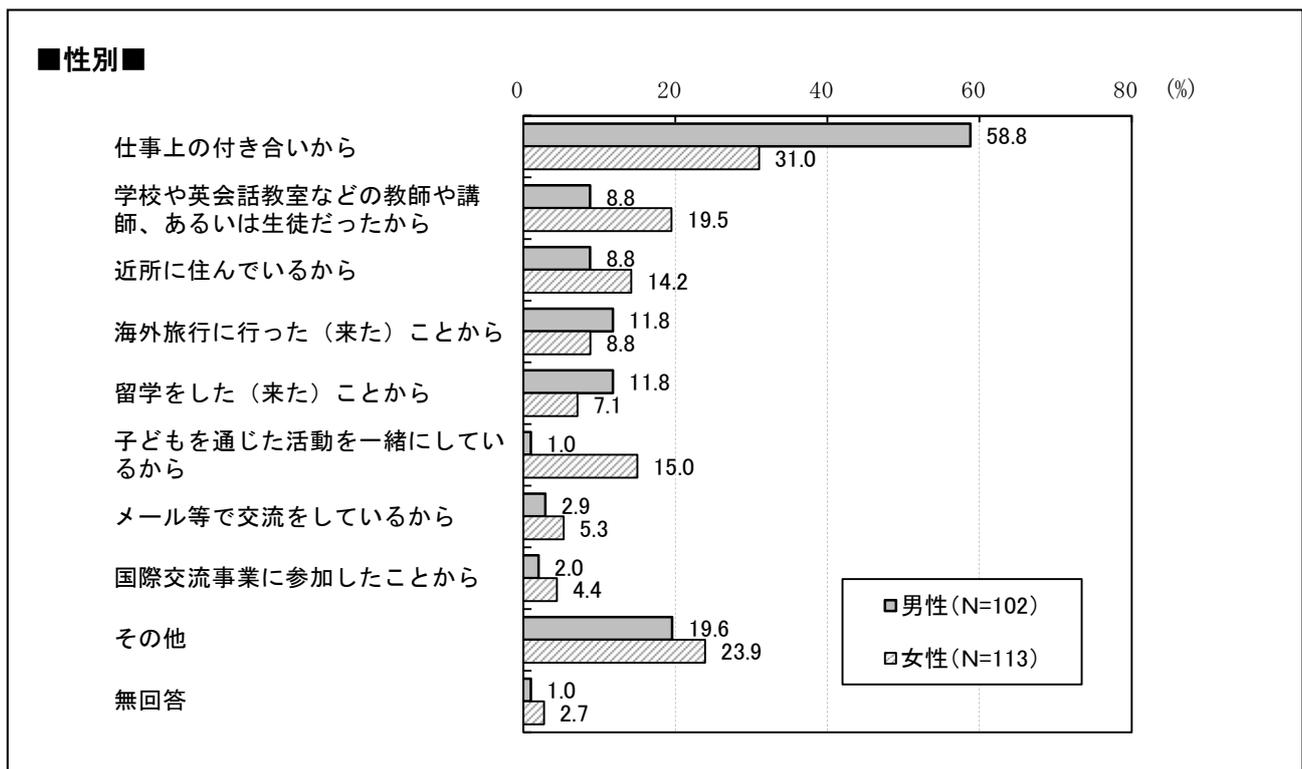
※前回の設問文は「あなたには、外国籍の友人や知人がいますか。」であった。

経年比較をすると、今回調査で「いる」が23.8%と、年々高くなっている。

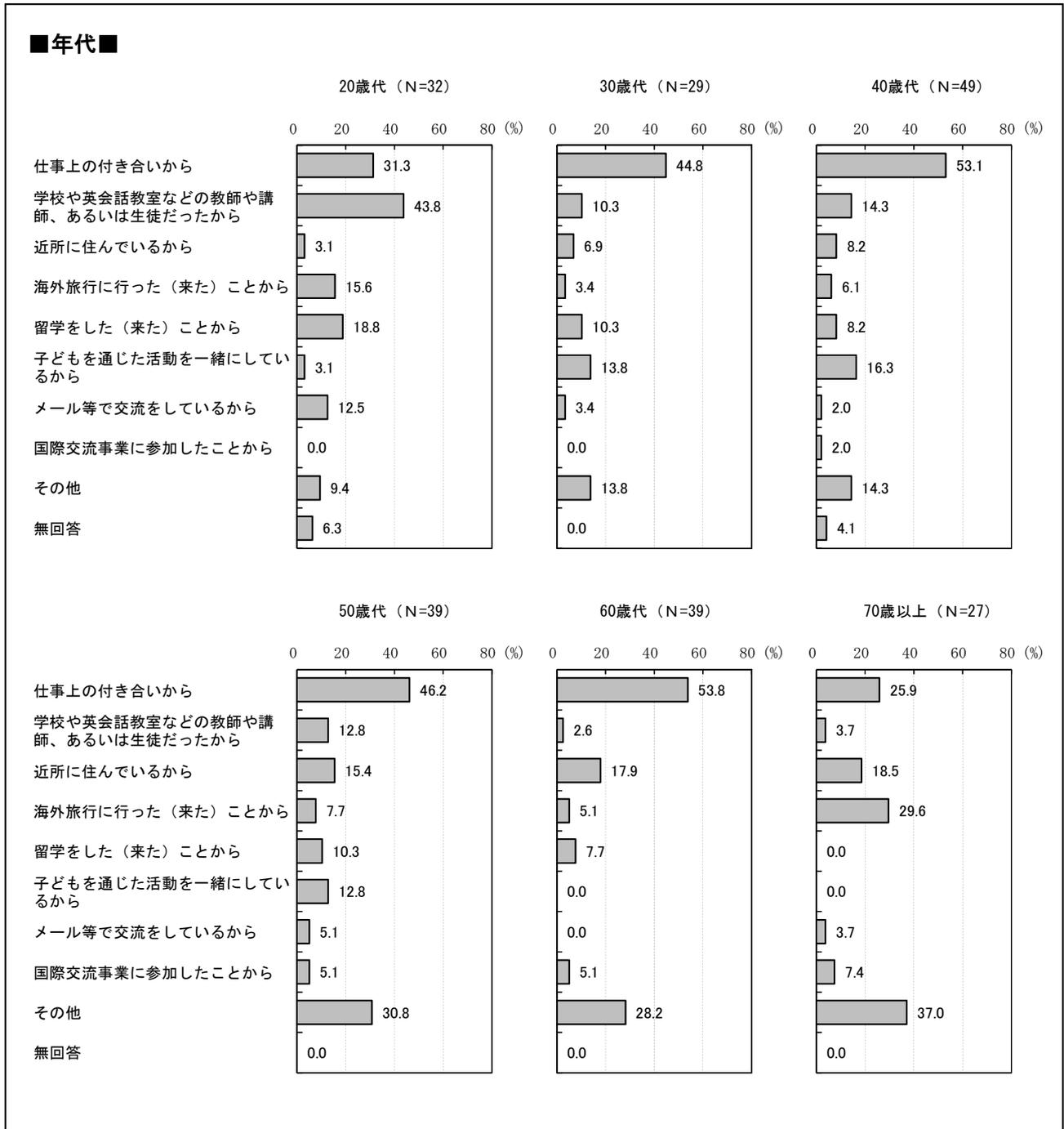
問5 そのきっかけは何ですか。(〇はいくつでも)



外国籍または外国にルーツを持つ友人や知人ができたきっかけは、「仕事上の付き合いから」が44.0%と最も高く、「学校や英会話教室などの教師や講師、あるいは生徒だったから」14.8%、「近所に住んでいるから」11.6%などと続いている。

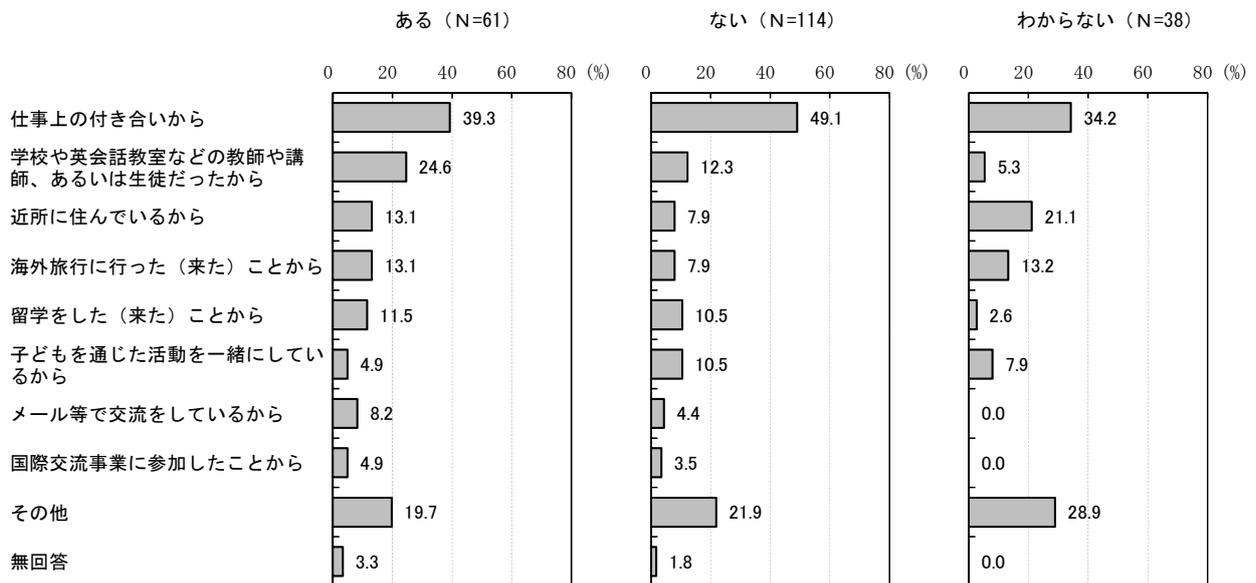


性別にみると、男性で「仕事上の付き合いから」が 58.8%と、女性を 27.8 ポイント上回っている。一方、女性で「子どもを通じた活動を一緒にしているから」が 15.0%と、男性を 14 ポイント上回っている。



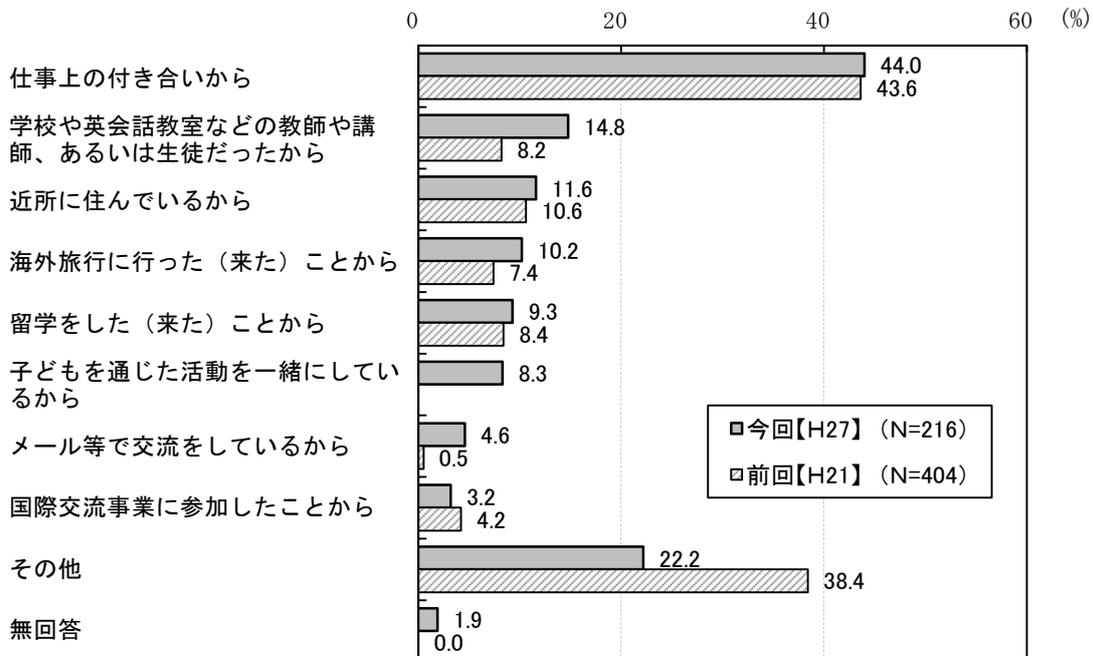
年代別にみると、40歳代と60歳代で「仕事上の付き合いから」が5割を超えている。20歳代で「学校や英会話教室などの教師や講師、あるいは生徒だったから」が4割を超えている。

■ ボランティア活動への興味 ■



ボランティア活動への興味別にみると、興味のない人で「仕事上の付き合いから」が約5割となっている。

《経年比較》

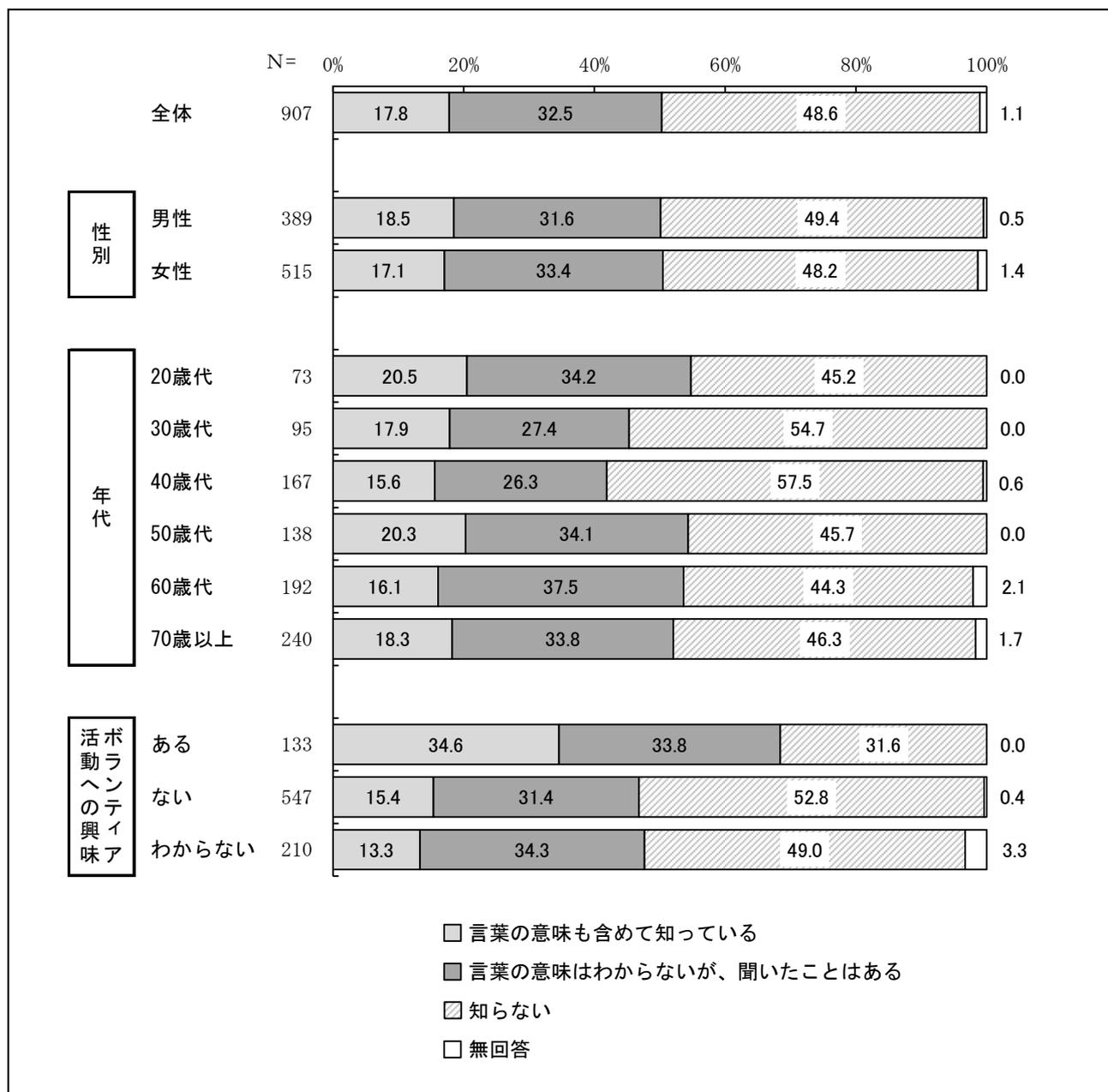


※「子どもを通じた活動を一緒にしているから」は今回のみ。

経年比較をすると、今回調査で「学校や英会話教室などの教師や講師、あるいは生徒だったから」が14.8%と、前回調査を6.6ポイント上回っている。

2 多文化共生について

問6 あなたは、「多文化共生」という言葉を知っていますか。(○は1つ)



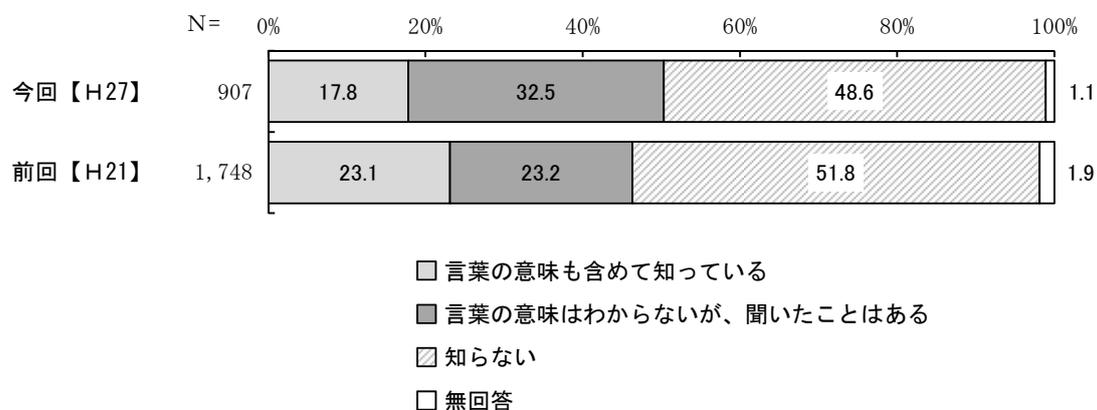
「多文化共生」の認知度は、「言葉の意味も含めて知っている」の17.8%と「言葉の意味はわからないが、聞いたことはある」の32.5%を合わせた『知っている』は50.3%となっている。一方、「知らない」は48.6%となっている。

性別にみると、大差はみられない。

年代別にみると、30歳代と40歳代で『知っている』が5割未満とやや低くなっている。

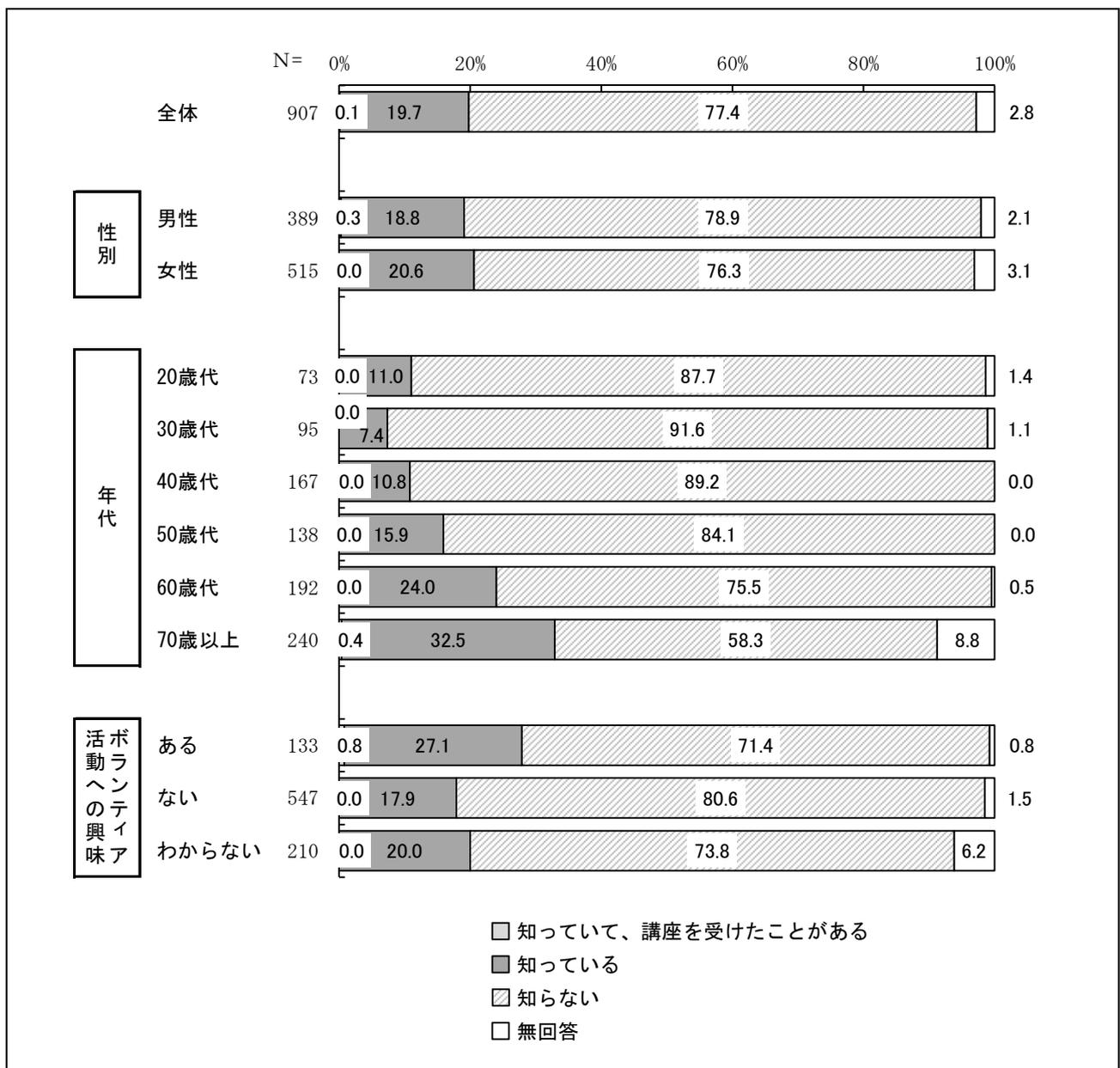
ボランティア活動への興味別にみると、興味のある人で『知っている』が68.4%と、7割近くを占めている。

《経年比較》



経年比較をすると、今回調査で「言葉の意味も含めて知っている」が17.8%と前回調査を下回っているが、『知っている』はやや上回っている。

問7 あなたは、「やさしい日本語」を知っていますか。(〇は1つ)



「やさしい日本語」の認知度は、「知っている、講座を受けたことがある」の0.1%と「知っている」の19.7%を合わせた『知っている』は19.8%となっている。一方、「知らない」は77.4%となっている。

性別にみると、大差はみられない。

年代別にみると、年齢が高くなるほど『知っている』が高くなる傾向がみられる。

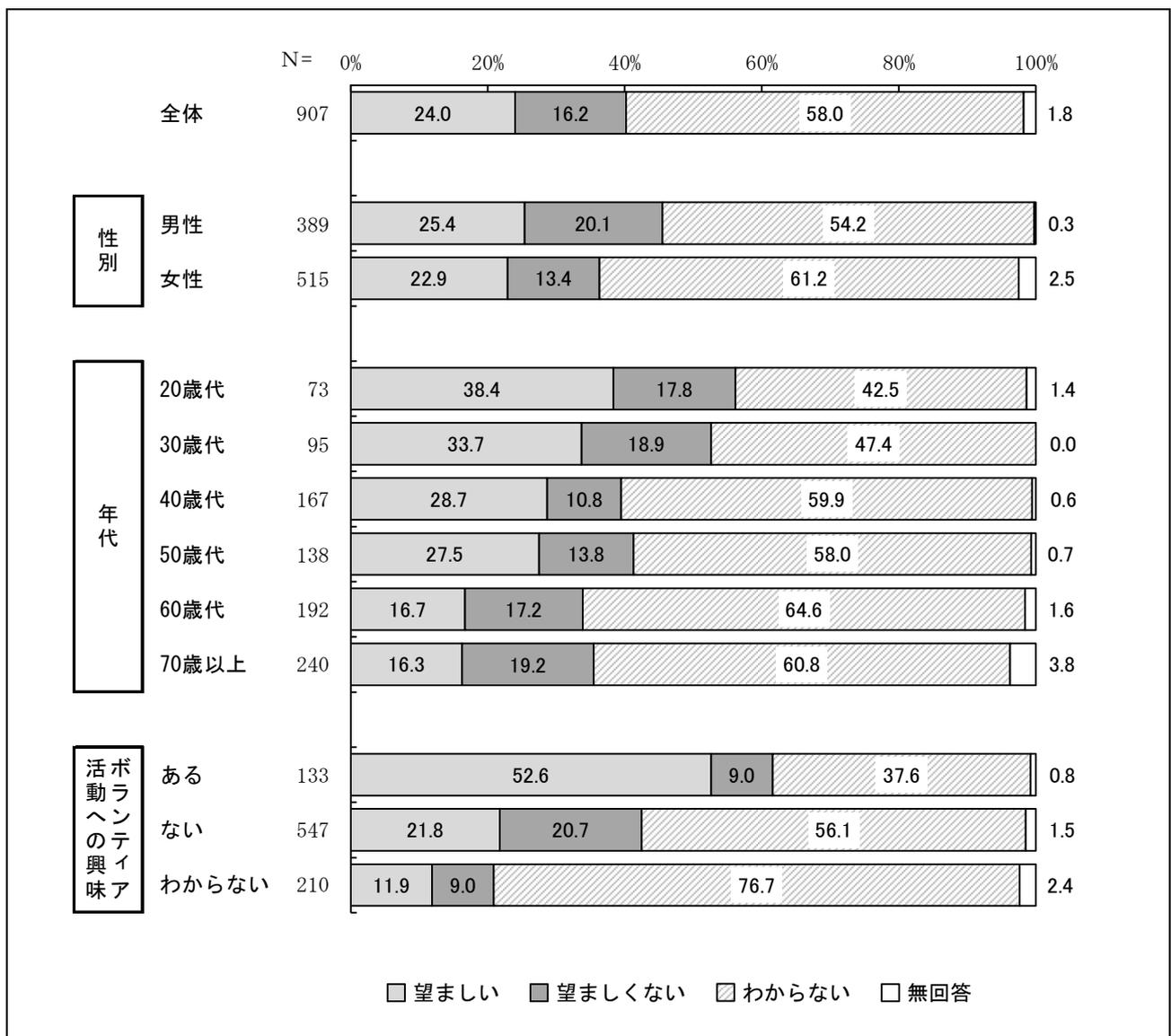
ボランティア活動への興味別にみると、興味のある人で『知っている』が27.9%と、3割近くを占めている。

問8 講座の名称や主催機関など、講座について可能な範囲で教えてください。

【問7で「知っている、講座を受けたことがある」を選択された方のみ】

問7で「知っている、講座を受けたことがある」と答えた人（1人）は、問8は無回答であった。

問9 あなたは、日本社会で外国人が増えることについてどう思いますか。(〇は1つ)



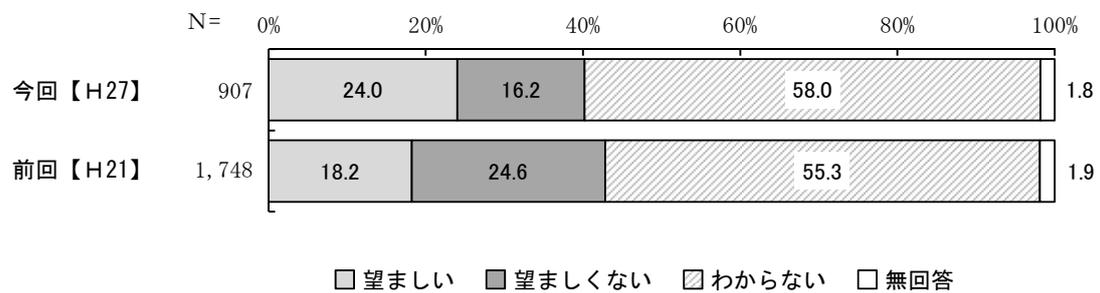
日本社会で外国人が増えることについての考えは、「望ましい」24.0%、「望ましくない」16.2%、「わからない」58.0%となっている。

性別にみると、男性で「望ましくない」が20.1%と、約2割を占めている。

年代別にみると、年齢が高くなるほど「望ましい」が低くなっている。

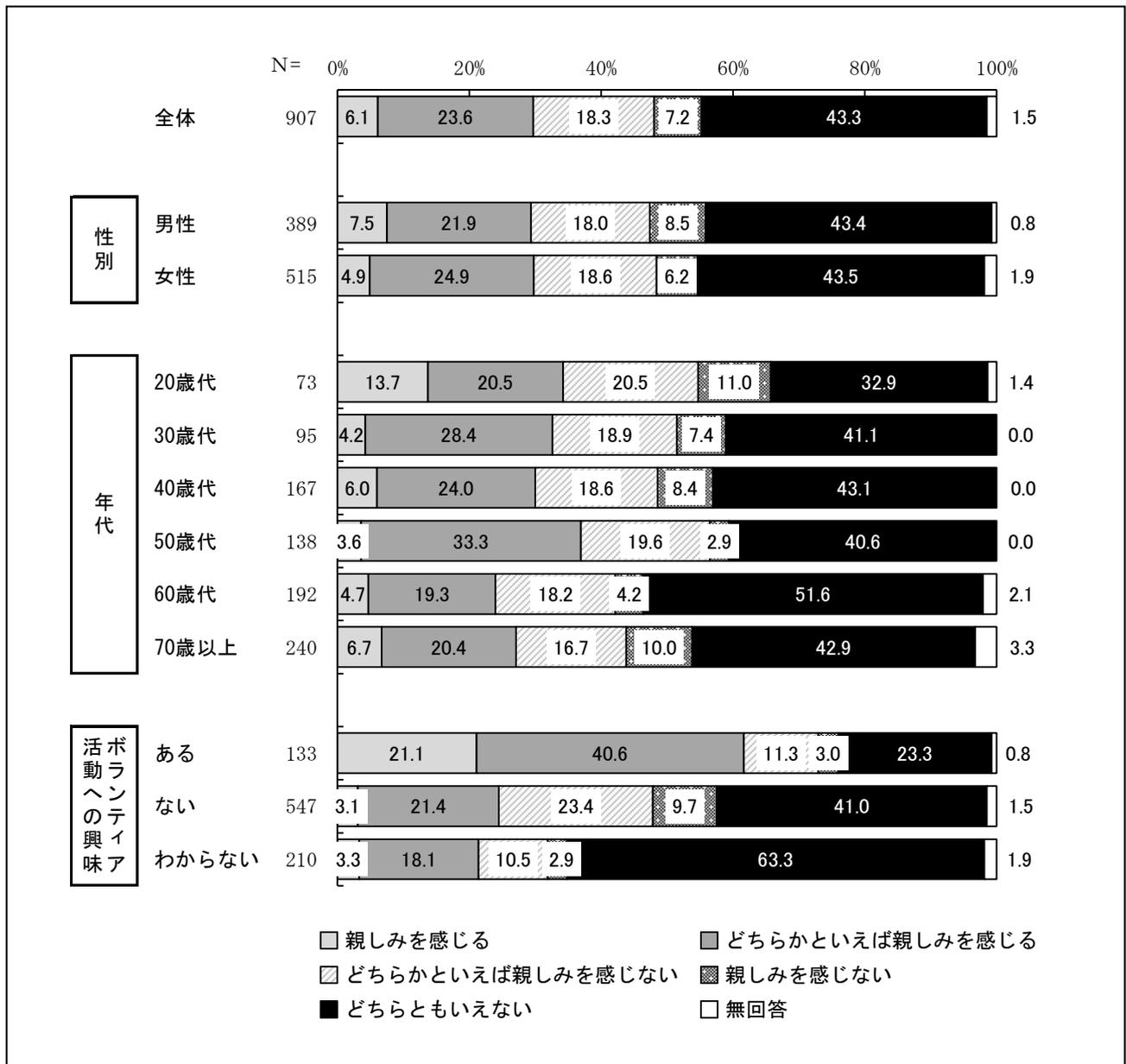
ボランティア活動への興味別にみると、興味のある人で「望ましい」が52.6%と、5割以上を占めている。

《経年比較》



経年比較をすると、今回調査で「望ましくない」が 16.2%と、前回調査を 8.4 ポイント下回っている。

問 10 あなたは、外国人に対してどのような印象を持っていますか。(〇は1つ)



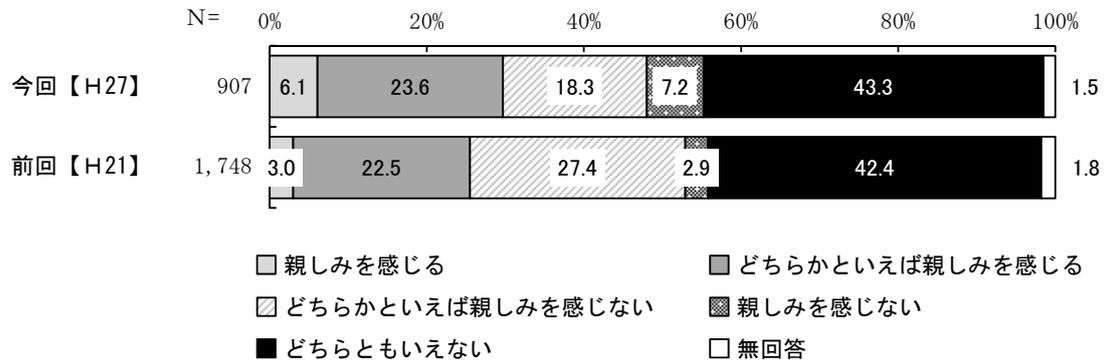
外国人に対する印象は、「親しみを感ずる」の6.1%と「どちらかといえば親しみを感ずる」の23.6%を合わせた『親しみを感ずる』は29.7%となっている。一方、「どちらかといえば親しみを感ずらない」の18.3%と「親しみを感ずらない」の7.2%を合わせた『親しみを感ずらない』は25.5%となっている。

性別にみると、大差はみられない。

年代別にみると、60歳代と70歳以上で『親しみを感ずる』が3割未満と低くなっている。

ボランティア活動への興味別にみると、興味のある人で『親しみを感ずる』が61.7%と、約6割を占めている。

《経年比較》



※前回の選択肢は、「よい/どちらかといえばよい/
どちらかといえば悪い/悪い/特にない」であった。

経年比較をすると、今回調査で「どちらかといえば親しみを感ずらない」が18.3%と、前回調査の「どちらかといえば悪い」を9.1ポイント下回っている。

問 11 問 10 のように感じる理由を教えてください。(抜粋)

問 10 で「親しみを感じる」を選択した方

- 日本語を勉強し、日本で生活し、日本語でしかも笑顔で話をし、本当に素晴らしいなといつも感じる。日本人はもう少し外国人を見習うと良い。
- 純粹だから。同じ人間だから。
- 外国の人からいろいろなことが学べる。
- 外国の人が日本の文化を好きになって住んでいることに親しみを感じる。
- 自分自身も日本国外での生活経験あり。その時に他国人から親しみをもって接してもらい大変ありがたかったし、楽しい生活を送ることができた経験をしたから。
- 文化、生活様式に興味がある。言葉を学びたい。交流を図りたい。
- 自宅にホームステイの学生に住んでもらい、異文化の交流を行い、改めて日本の良さ、変えなければならないことなど多くのことを学ぶことができた。
- 肌の色が違っても言葉が違っても皆同じ人間と思えるから。
- 視野を広げることができる。同じ人間として親しみを感じる。
- 怖いと思うこともいろいろありますが、これからの時代日本人も多くの他国へ行き交流をかわし日本の良いもの、人柄(食)など知ってほしいこと平和について良いことだと思う。今戦いというさびしい国もあり、今後のためにも他国とのコミュニケーションを取った方が良いと心から思います。
- 自分も他国へ行けば同様である。
- 基本的に日本人だからとか〇〇人だからという考え方が閉鎖的。日本に住んでいるからガラパゴス化し、各国のいろいろなことから出遅れてしまうので。過去の戦争などあったとしても若い人達は新たな考えを持って行動すべき。
- 何度か海外旅行をしましたはその都度その国の人と話してみたい、そんな気持ちにとらわれました。自分達のことでも知ってもらいたい、外国人のことでも知りたい、そうしたらお互い国境を越えて仲良くなれるのに。人類は一つでありたい。

問 10 で「どちらかえといえは親しみを感じる」を選択した方

- 挨拶程度の会話でも、お互いを理解しようとする姿や努力に好感が持てる。
- 日本人は外国人を見るとどうしても構えてしまう傾向にあると思います。しかし、外国人の方は片言の日本語を使い、日本人にどうか日本文化になじもうとしていると思います。そういうところを日本人は学ぶことが大切だと思い、同じ地球人として親しみを感じます。
- 一緒に仕事をしていてそう感じたから。
- いろいろな文化、考えの違いを知れること、日本を知ってもらうことは良いことだと思う。ただ、日本の文化に適應しようとしなない人がいるのも事実で、そういう方はあまり好ましくないと思う。
- 日本人と違い、多文化、多国籍の人達と昔から暮らしていると思っているから。
- 日本語以外の言葉を話す人達と意志を通じ合いたい。
- 近所に住んでいて仲良くしている(料理を教えていただいたりする)。
- 同じ時代を生きる人間として、すべてのことを分かち合い、助け合って生きてみたい。

- 日本人と比べ、総体的に自由奔放すぎるところが嫌です。最近まで近くに中国の女の人が住んでいましたが、朝のごみ出しする時もパジャマのままだったり、いろいろとやはり嫌ですね。
- 私の周りにいる外国人は、日本の文化を理解しており、共に生活していて違和感を持たないため。
- 日常普通の日本人と同じように付き合っている。姪の夫は日本語が堪能だし、考え方も日本人とあまり変わらないから。
- 外国人も同じ人間だから（良い外国人もいれば悪い外国人もいる）。
- お互いの国の文化や生活に親しみを持ちながら共存でき、文化交流の輪が広がる。
- 言葉、考え方の違いが自分に対しての刺激になるのは好ましいが、地区内等での同居、生活するまでの寛容性は持てない。
- お国柄という言葉に表されるように、文化が違えば言葉はもちろん価値観も違い、ただし基本的な人柄や快適に生活する上でのマナーなど、一人一人の自分自身の考え方が改めて問われる。差別や偏見のない誰もが暮らしやすい地域社会をつくり、子や孫の代に残したい。その意味でも文化交流は大切な試金石だと思う。
- 同じ人間だから。昔は怖いイメージが強かったが、今は外国の方も増えてきているし、逆に日本人が海外へ行くことも増えていて、地球が狭くなってきているから。
- 義務教育もままならない時代に生まれ育ち、父母の言うことを素直に受け止め、上下（勉強の出来る人、お金持ちなど）問わず自分を必要としていただけるなら、すぐにできることから手を差し伸べることを目標に、喜んでいただける、笑っていただけることが、言葉が通じなくても嬉しい。国内、富士市内、外国等の歴史など行動範囲が狭いため、本をよく買って読んでいます。いろいろな人達の出会いから人として学び、多文化共生という文字につながるのではないのでしょうか。
- 日本に来ている人が日本に対して敵意を持っているとは思わないので、日本を知ろうとしている外国人には親しみが持てる。
- どここの国でも子ども達はかわいいです。
- 話をすると楽しいし、いろいろなことを知ることができるが、時々大声を出していたり、日本のマナーを守れない人を見かけると少しいやな気持ちになることもある。
- 言葉がわからないと不安がある。
- あまり関わりを持つ機会はないが、興味はある。たまに見かける外国の方は、笑顔で穏やかな印象の方が多いので。

問 10 で「どちらかえといえれば親しみを感じない」を選択した方

- 言葉の違い。生活環境の違い。
- 素性を知らない。
- 外国の方と関わる機会がないため。
- 法律ではなく、ルールや思いやりに欠けるところがあるから。
- 周りに外国人があまりいなく、見かけても特に挨拶や交流がないので。
- 海外でのテロ事件や、中国や韓国等のアジアでの外交を見ていると、国民性（と言ってしまっても良いのか考えますが）の違いを強く感じます。“知らないから”怖いという面もあるかもしれません。
- 言葉が通じないため、何を感じて、考えているのかがわからない。
- 宗教の違いが思想の違いとして現れ怖い。
- コミュニケーションの取り方が難しく思っているから。言葉がわからないことがまず先に気持ちとして出てくるので。

- 人間性は共に生活をしてみなくては理解することは無理だと思う。一つ二つの会話はできても、気持ちが通い合うには時間が必要。
- 身近に外国人がいないこと、また、関わりのある場へ参加することがないため。
- 外国語ができない。自信がない。
- 生まれ育った環境や風習が異なるので、お互い理解し合える状態に至らない。
- 外国人と交流が増え、いろいろな文化を取り入れることができる部分は良いと思うが、犯罪が増えるイメージがある。
- 近所に外国人がいる（アパート入居）のですが、マナーが悪い。挨拶がなく母国語で大きい声で歩きながら話し、出会うと睨む。外国人のレジ打ちの人も笑顔がなく、頭を下げない人がいる。こんな人ばかりではないと思うが近所の外国人に対して良く思わない。
- 身構えてしまう。外国人に慣れていない。
- 身近にそのような人がいないため。
- 言葉があまり通じないこと。地域の活動に協力しないこと。
- 普段接点がないですし、犯罪報道など悪い一面の情報なども受け取っている。
- こちらが迷惑と思うことがある時、相手は考え方や生活習慣が違うせいかわからない。
- 1対1なら良いが、大人数になると何を考えているかわからない。常識が違うので怖い気がする。
- 一人ひとり陽気で明るく好感が持てるのですが、いま世界的に不安定なので、つい怖い気がしてしまう。
- 自分が英語が苦手なので距離を置いてしまう。話しかけられても困ってしまうという気持ちがあるので。しかし、明るくオープンなイメージもあります。
- 言葉や文化、育った環境等が違うので、当たり障りのないお付き合いならできると思うが、微妙なニュアンスの違いとか出てくると面倒だと考えてしまいそう。あえて積極的に外国人と親しくなろうとは思っていない。一緒に働いている人とは仲良しですが…。
- よその国のことは知らないことが多いし、文化も違う。一番の理由は言葉が通じない(英語が話せない)から。
- 言葉だけでなく文化も違うことに対して興味はあるものの、一部わからないことから発生する不安もあります。“外国の人”という感覚の時点で親しみを感じることはあまりありません。
- 日本人とは違って体が大きく少し怖いイメージがある。
- 生活習慣の違い、宗教の問題、考え方の違い等。
- 平日の昼間に民族衣装のようなものを着てウロウロしていたり、マリンスプールで夏泳ぎもせず周りをウロウロしている外国人を見ると、危ない人にしか思えない。すべての外国人がそうではないが。そういう外国人が富士市にはいるのも事実。

問 10 で「親しみを感じない」を選択した方

- 言葉が通じない事が不安です。
- 文化が違うから分かり合うのに努力が必要になると思うから。
- マナーが悪い。
- 自分の周りに外国人がいないからだと思う。
- いろいろな犯罪なども多く、警戒してしまう。
- 他国から来ているため、日本人と違い考えていることが全くわからないため、どう接したら良いかわからないため。

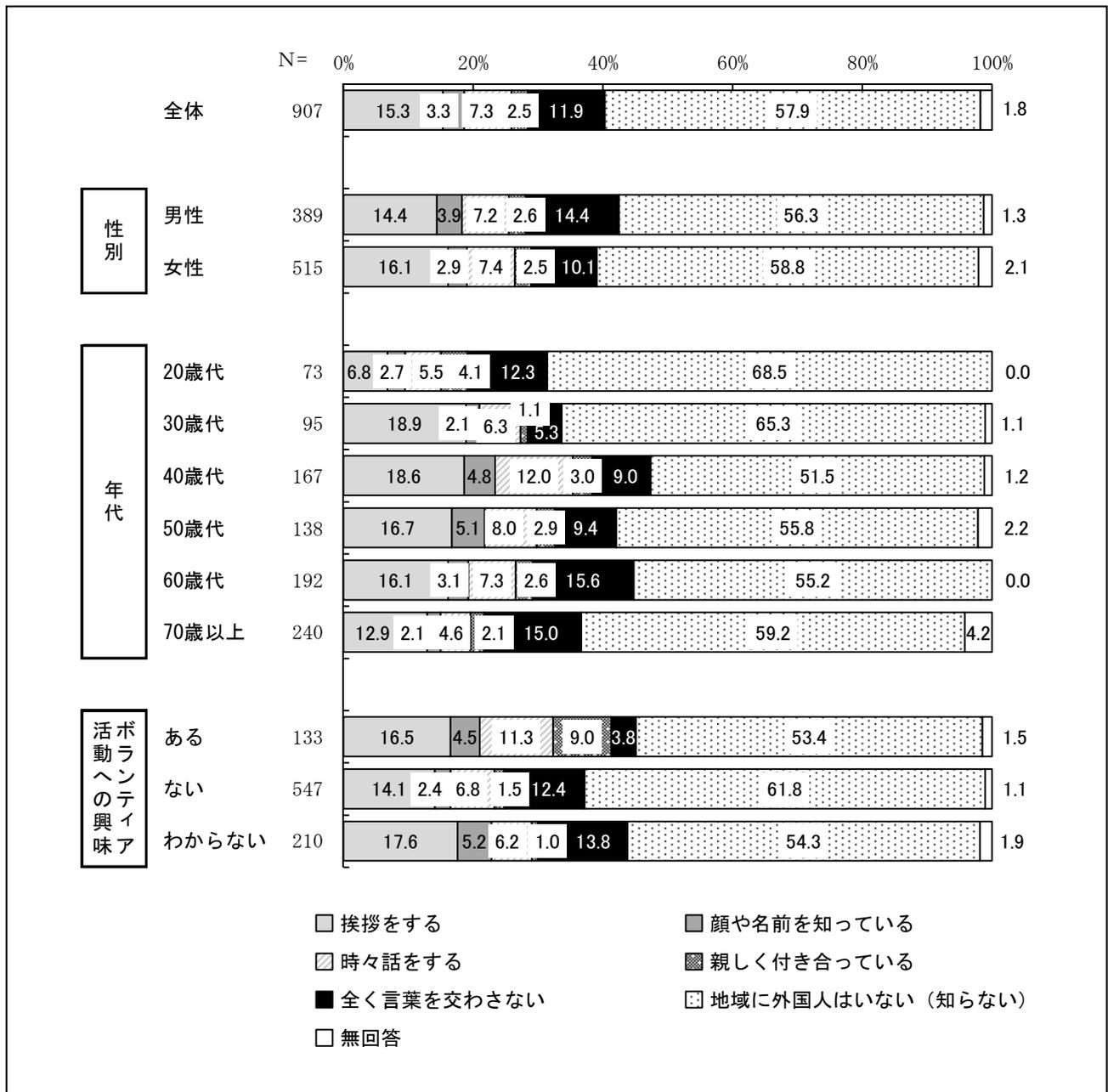
- 言葉がわからない。自分も英会話できない。恐怖心がある。
- 日本人同士でも今では交流が少ないのに外国人までは。
- 周りに外国人がいないことと、英語がしゃべれないので。
- 悪い人はいないとは思いますが、国柄や言葉の壁があるので。
- 職場での外国人派遣社員とのコミュニケーションがうまく取れない。挨拶をしない。ルールを守らない。
- 都合によっては「日本語わからない」と言い訳が多いから。
- 大声で話をする等マナーの悪い観光客をテレビで見るから。テレビで受ける影響が大きいです。実際はわかりませんが。
- 背格好が日本人と違うので威圧感を感じてしまうし、外国語を話せないので距離の縮め方がわからないため。
- 日本人になら通じる“あいまいな日本語”は留学等で“正しい日本語”を学んできた外国人にはまず通じない。そうするとわざわざ“正しい日本語”に言い直したり、外国語に言い換えたりといった気遣いが必要になりストレスを感じることになる。
- 身近に外国人がいないから。
- 以前浜松駅で外国人に子どもの写真を見せられ「この子は貧しくて教育を受けられない。あなたならこの子にいくらお金払える？」と言ってきた。「お金をくれてことですか？」と返したら「はい、そうです。お金をください。」とそう返してきた。その外国人はブランドのバッグをもってブランドのアクセサリーを身につけていてとても信用できなかつた。そんな外国人がわんさかいた。ボランティア団体とも思えない。信用できなかつた。もうどんな外国人が話しかけてきても無視しようと思った。親しみなんて一気になくなった。富士市にこんな外国人がいないことを切に願う。

問 10 で「どちらともいえない」を選択した方

- 外国人といっても様々。
- グローバル化の世の中、日本人だけでは成り立たないし、外国人をもっと知らなければならないと思いますが、周りに外国人がもっと増えて違和感を感じる自分がいるかもしれないと思うので。
- 外国人であろうと、日本人であっても、その人の人間性や生き方だと思います。日本人であってもその地域での生き方があり、外国人であってもその国の慣習やしきたりがあると思います。
- 自分は英語（外国語）が話せないから、もちろん話しかけられないし、話しかけられても困るから親しみを感ずるどころではない。
- 外国人という括りよりも、個人個人によって他人との関わり方の考えが違うと感ずるため。
- 基本的には親しみを感ずるが、日本人に対する差別、偏見を感ずる経験をしたことがあるから。
- 異国で頑張っている方ももちろんいるでしょうが、一部の方のモラルの無さとか文化の違いからか日本では考えられないような行動を目にしたことがある。最近そういう方が増えているようで、生活してて怖さを感じてしまう。しかし、とても良い方もいるため「外国人」というだけで構えてしまう私もいけないのかも…。
- 外国人だから…ということはない。その個人の国柄による。
- いろいろな国の方がおり、人それぞれだと思うので。
- 親しみを感ずるのに国籍は関係ない。日本人同士でも親しみを感ずられない人もいる。結局は個人同士の感性ではないでしょうか。

- 様々な人種がいるということは、様々な考えを持った人がいるという意味で、一般的な意味で理解できない人種がいるという恐れがある。
- 「外国人」と「日本人」を区別することに意味があるのか？外国人だろうが日本人だろうが気に入らない人はいるし、仲良くなれる人もいる。
- 血のつながり、日本文化のなじみ、考え方を理解している外国人、日本人を考えた場合、一括りにできない。
- 外国人、日本人だからとあまり意識したことがない。
- 生活習慣は個々違うから人間性とか難しい。
- 言葉も文化も違い、未知の存在であり、私個人として深い付き合いがなく、正直よくわからない。
- 外国人とか〇〇人（どこか特定の国の人）というだけで親しみを感じることも恐怖を感じることもあります。その時その人との状況によって変わるし、日本人であっても危険を感じることもあります。
- 直接外国人の方と関わることがなく、親しみを感じるとも言えないけど、特に嫌なイメージというわけではないので、どちらとも言えません。
- 外国人の方に旅行で会う時は親しみを感じたりしますが、国内で会う時はあまり感じず、ただ見て通り過ぎるだけという感じです。
- 一人ひとりの人間性があるので親しみを感じる時もあるし、感じない時もあるのでどちらともいえない。
- 言葉（英語）が話せないなので、あえてコミュニケーションを取ろうと思わないが、会話ができれば嬉しいなども思う。外国人に対して苦手意識が強いかも。
- 人種差別はないですが、現在の世界情勢からこの前の人質事件のことから考えると、心から分かり合えなければ親しみは感じられないと思います。
- 言語や文化の違いから親しみを感じない時も、逆にそれらの共通点を見つけて親しみを感じる時も両方ある。どちらかを判断できるほどの深い人間関係を外国人と築く機会がない。
- 外国人に限ったことではないが、生活環境や習慣の違い等で考え方の違いもあり、信用しきれない気持ちもあるが、壁を取り払うことができれば友好的にできると思う。なかなか交流する機会がないが、お互いの良いところを取り入れていけたら良いと思う。
- 言葉が通じない不安から、なんとなく威圧感を感じる。日本語がわかると平気なのだが…。
- 人間として平等だが、習慣や本質がわからないうちは保守的になってしまう。オープンな付き合いができそうにない。日本人に対しても同じだが。
- 日本人だろうが外国人だろうが良い人は良い人。悪い人は悪い人。人種は関係ない。ただ文化の違いはどうしようもない。
- 困っていると力になってあげたいと思うし、不安そうだと何か力になってあげたいと思うが、言葉がわからないので積極的には行動できない。
- 日常接する機会がないのでわからない。
- 自分自身が英語を話せればコミュニケーションも取れるが、なかなか交流を持てる場もなければ、親しみを感じるというまでの印象は持てない。
- 身近に外国人がいないので考えることが少なかったが、接することがあったら親身に話しかけてあげたい。

問 12 あなたは現在、地域の外国人とどのような付き合いをしていますか。(〇は1つ)



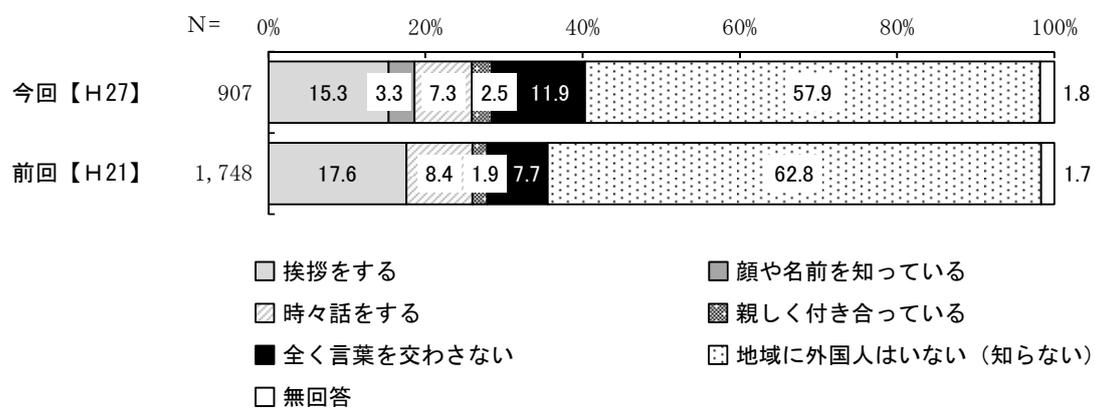
地域の外国人との付き合いの程度は、「地域に外国人はいない(知らない)」が57.9%と最も高く、「挨拶をする」15.3%、「全く言葉を交わさない」11.9%など続いている。

性別にみると、大差はみられない。

年代別にみると、20歳代で「挨拶をする」が1割未満とやや低くなっている。一方、40歳代で「時々話をする」が1割を超えている。

ボランティア活動への興味別にみると、興味のある人で「時々話をする」が11.3%と、1割を超えている。

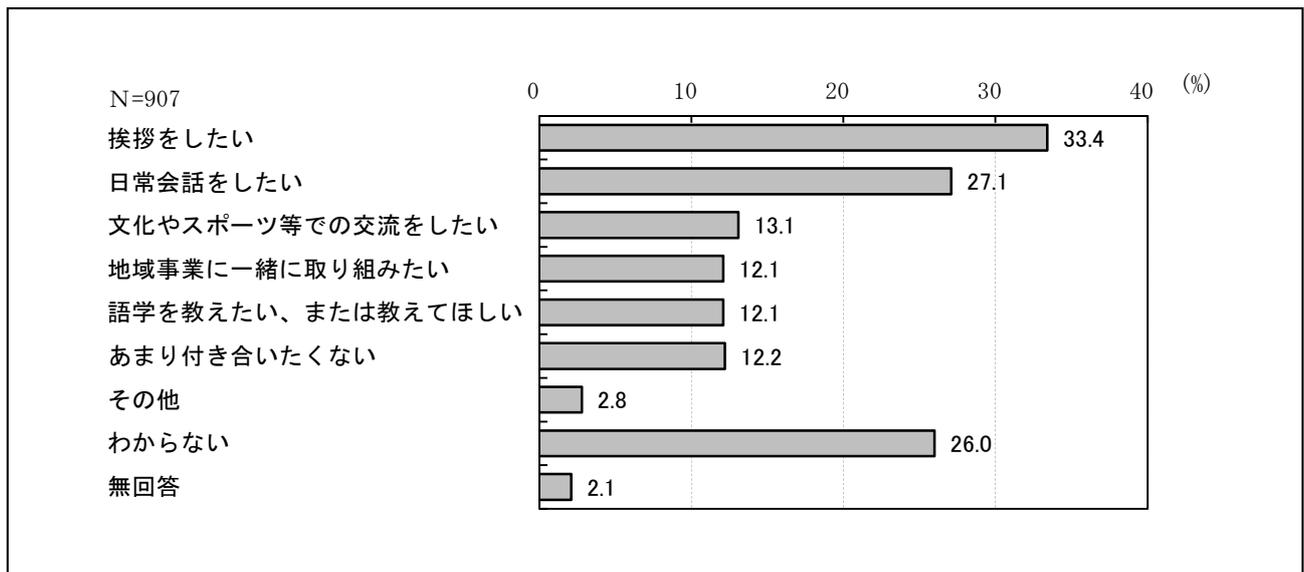
《経年比較》



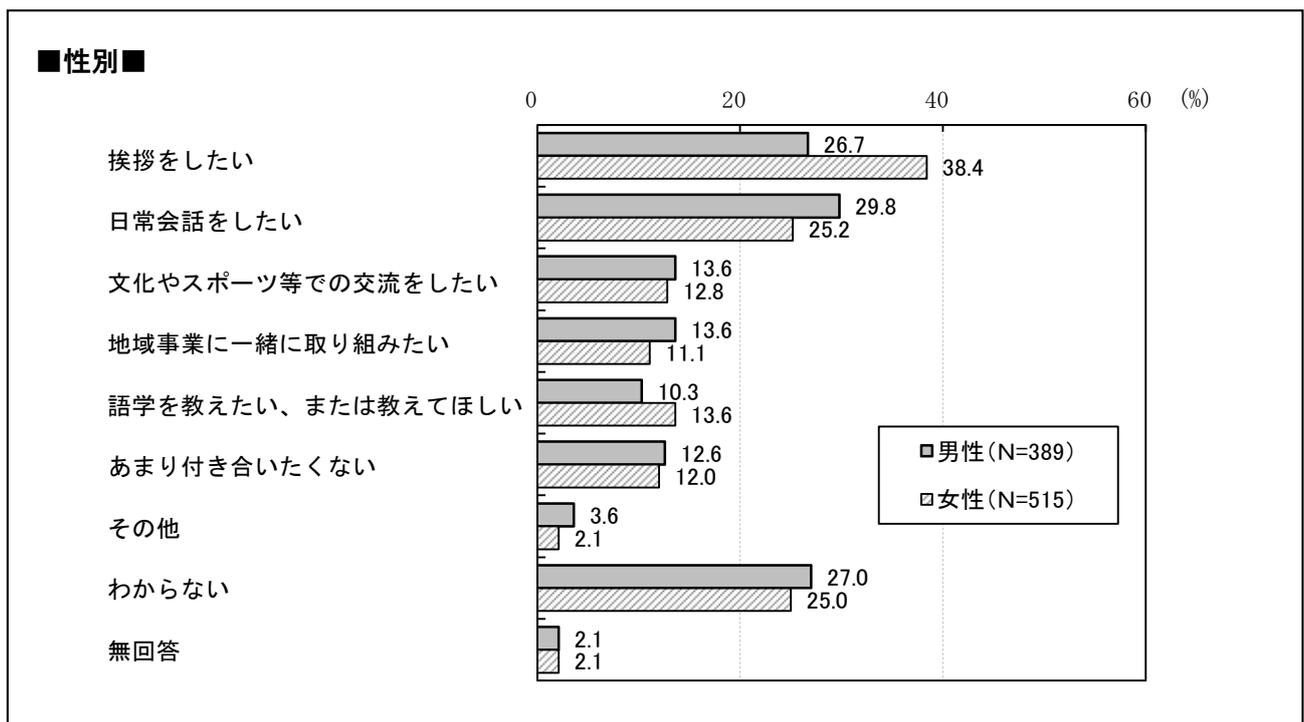
※「顔や名前を知っている」は今回のみ。

経年比較をすると、今回調査で「全く言葉を交わさない」が11.9%と、前回調査を4.2ポイント上回っている。

問 13 あなたは今後、地域の外国人とどのような付き合いをしていきたいですか。(〇はいくつでも)

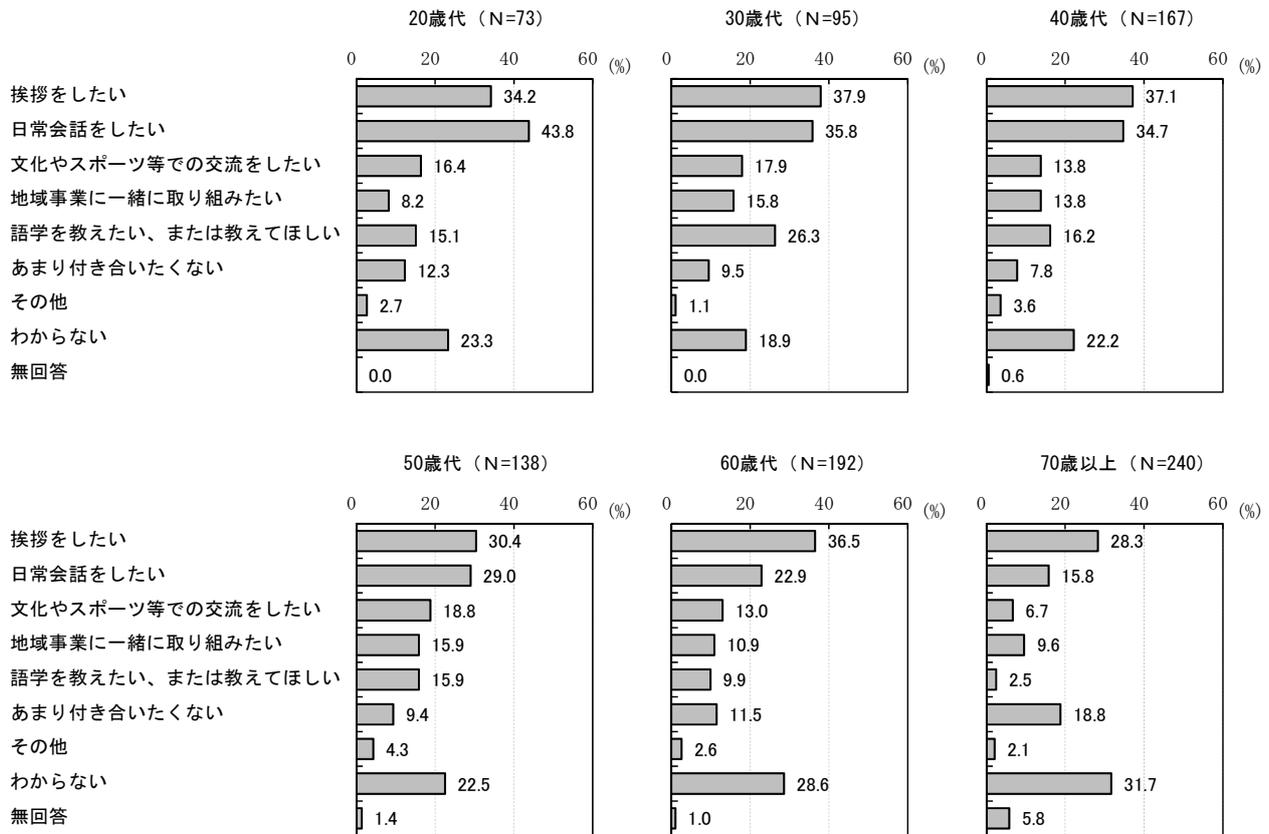


今後希望する地域の外国人との付き合い方は、「挨拶をしたい」が33.4%と最も高く、「日常会話をしたい」27.1%、「文化やスポーツ等での交流をしたい」13.1%などと続いている。



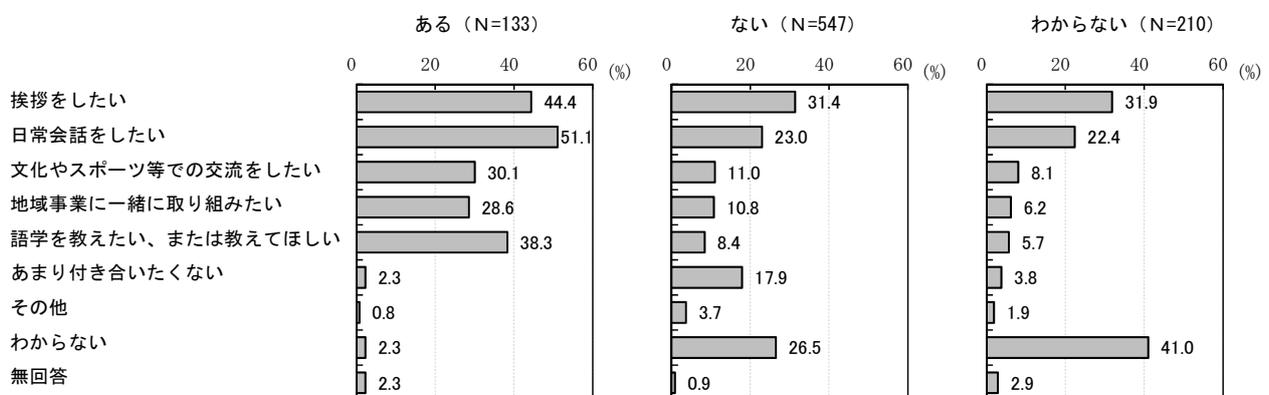
性別にみると、女性で「挨拶をしたい」が38.4%と、男性を11.7ポイント上回っている。一方、男性で「日常会話をしたい」が29.8%と、女性を4.6ポイント上回っている。

■年代■



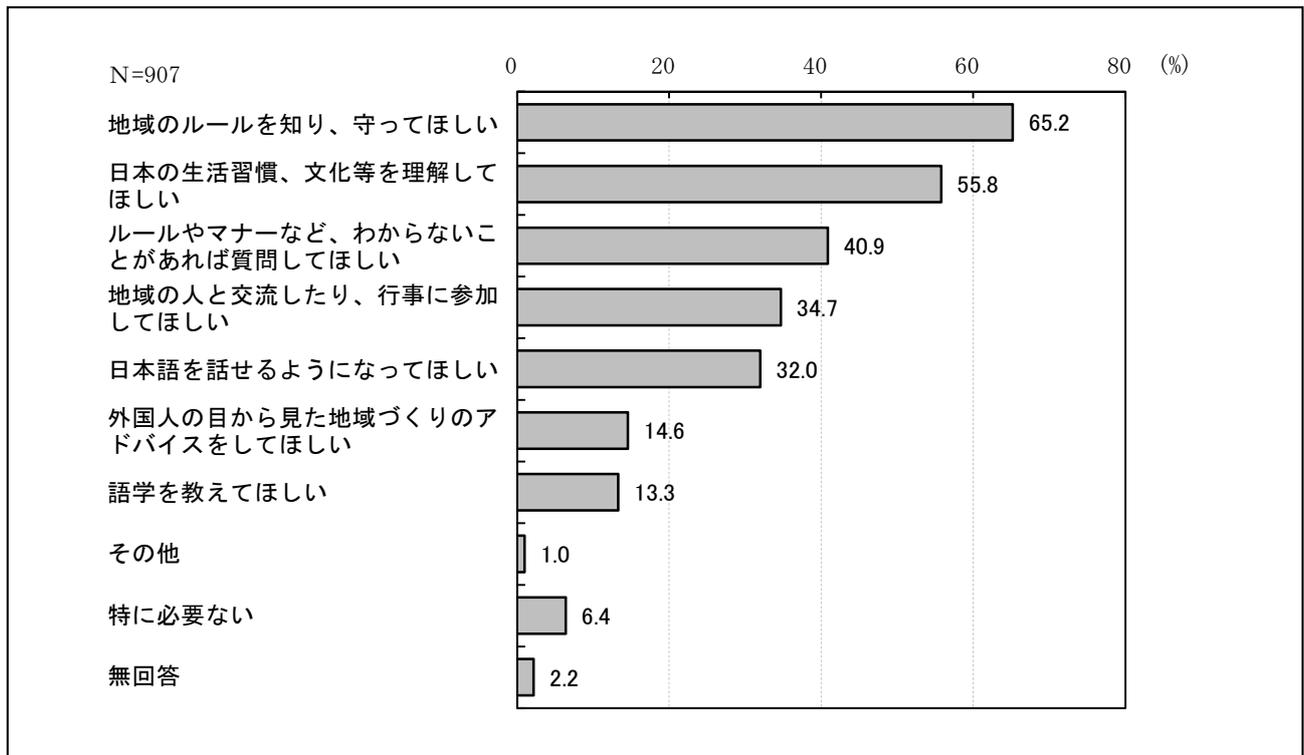
年代別にみると、年齢が高くなるほど「日常会話をしたい」が低くなっている。70歳以上で「あまり付き合いたくない」が約2割と高くなっている。一方、30歳代で「語学を教えたい、または教えてほしい」が約3割と高くなっている。

■ボランティア活動への興味■

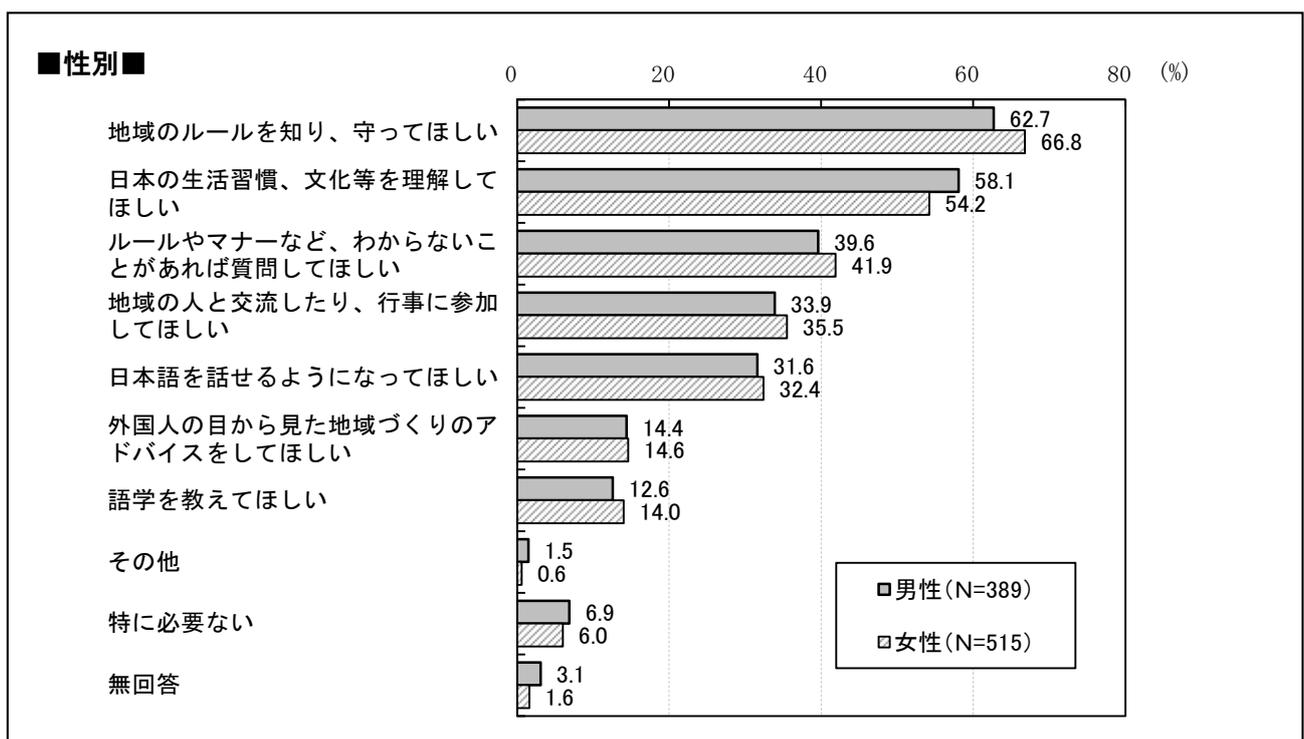


ボランティア活動への興味別にみると、興味のある人で「日常会話をしたい」が約5割と高くなっている。一方、興味のない人で「あまり付き合いたくない」が約2割と高くなっている。

問 14 富士市に暮らす外国人が日本人と互いに理解しあって生活するために、外国人にどのようなことを希望しますか。(〇はいくつでも)

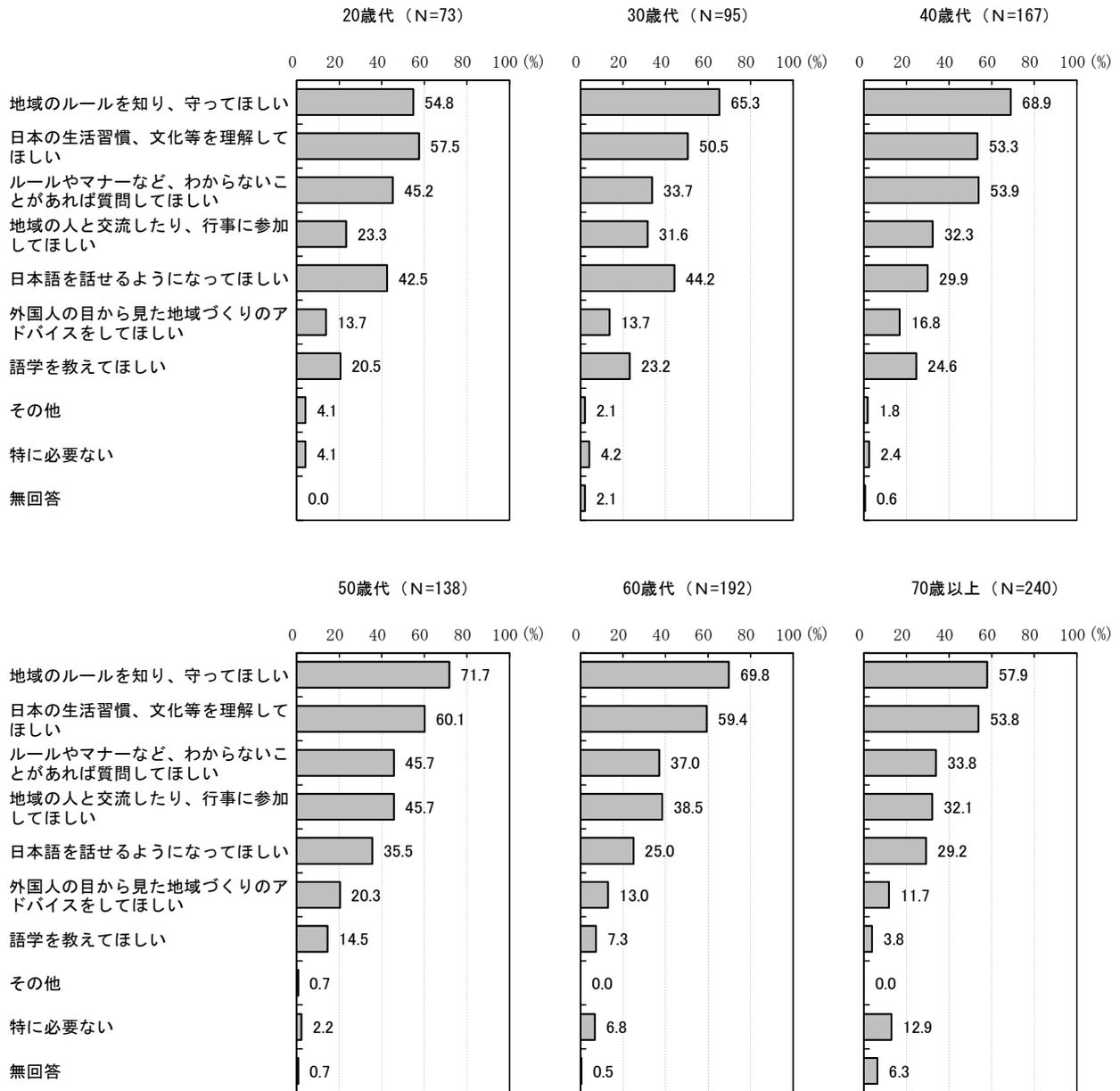


互いに理解しあって生活するために、富士市に暮らす外国人に希望することは、「地域のルールを知り、守ってほしい」が65.2%と最も高く、「日本の生活習慣、文化等を理解してほしい」55.8%、「ルールやマナーなど、わからないことがあれば質問してほしい」40.9%などと続いている。



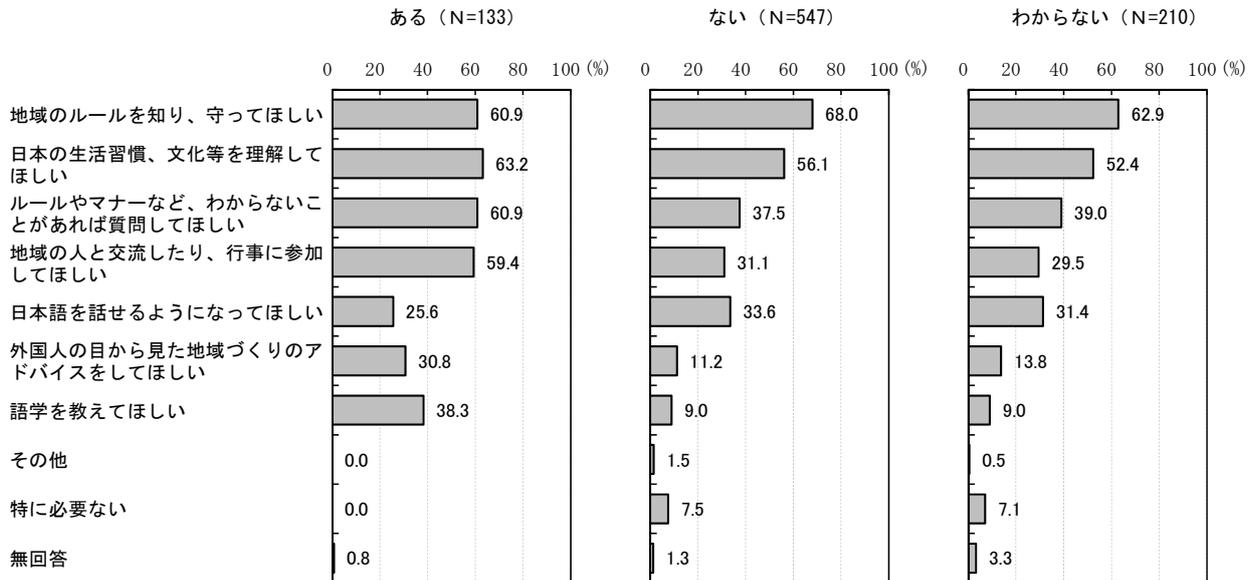
性別にみると、大差はみられない。

■年代■



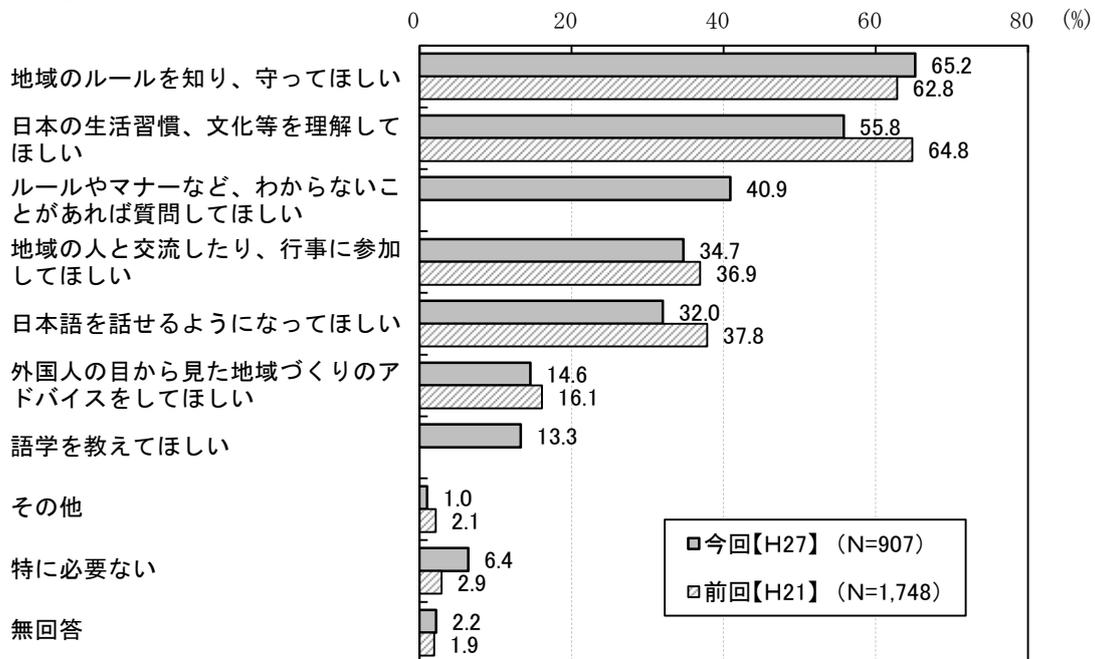
年代別にみると、20歳代と30歳代で「日本語を話せるようになってほしい」が4割以上と高くなっている。40歳代で「ルールやマナーなど、わからないことがあれば質問してほしい」が5割以上と高くなっている。

■ ボランティア活動への興味 ■



ボランティア活動への興味別にみると、興味のある人で「語学を教えてほしい」が約4割と高くなっている。

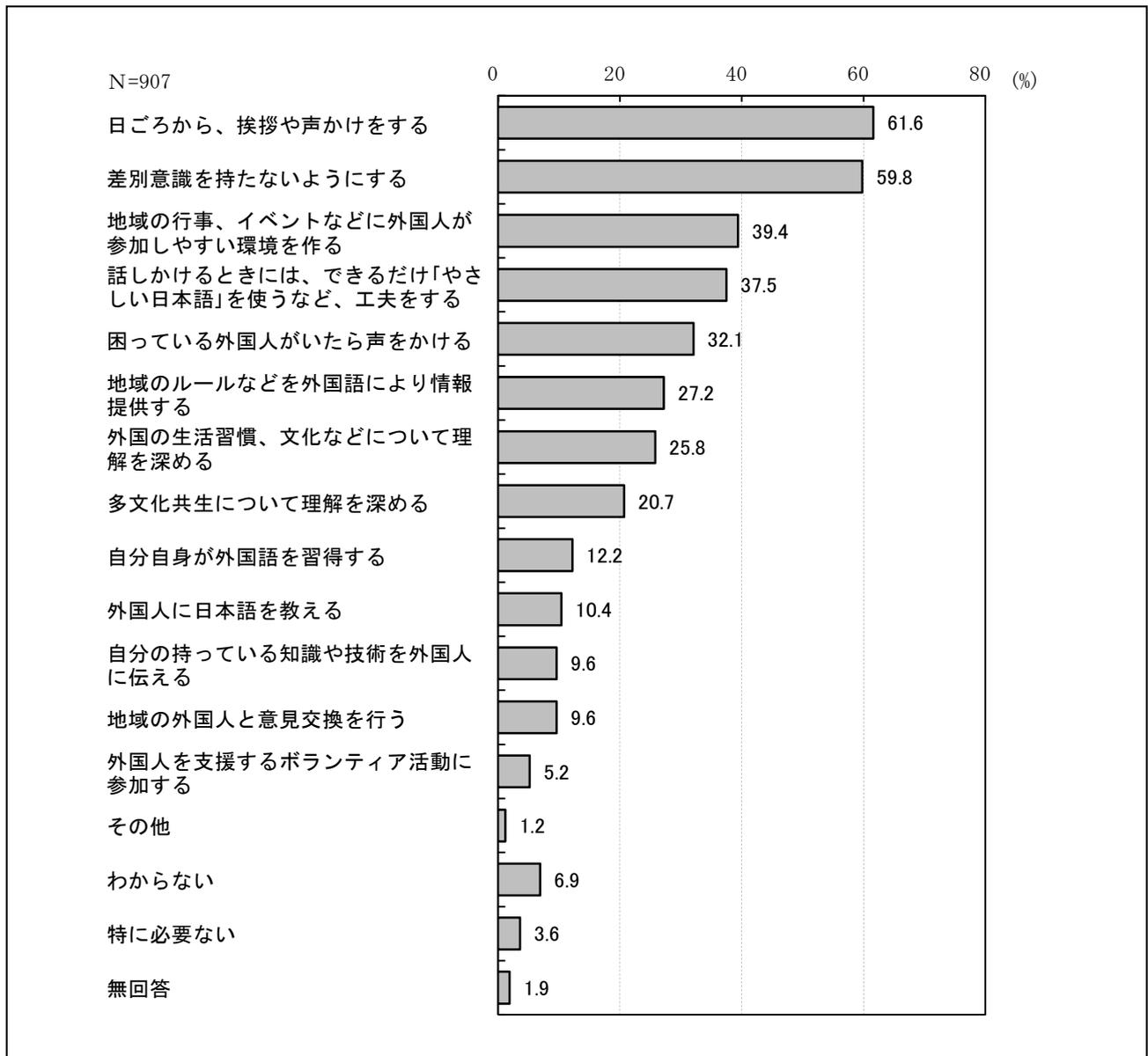
《経年比較》



※「ルールやマナーなど、わからないことがあれば質問してほしい」、「語学を教えてほしい」は今回のみ。

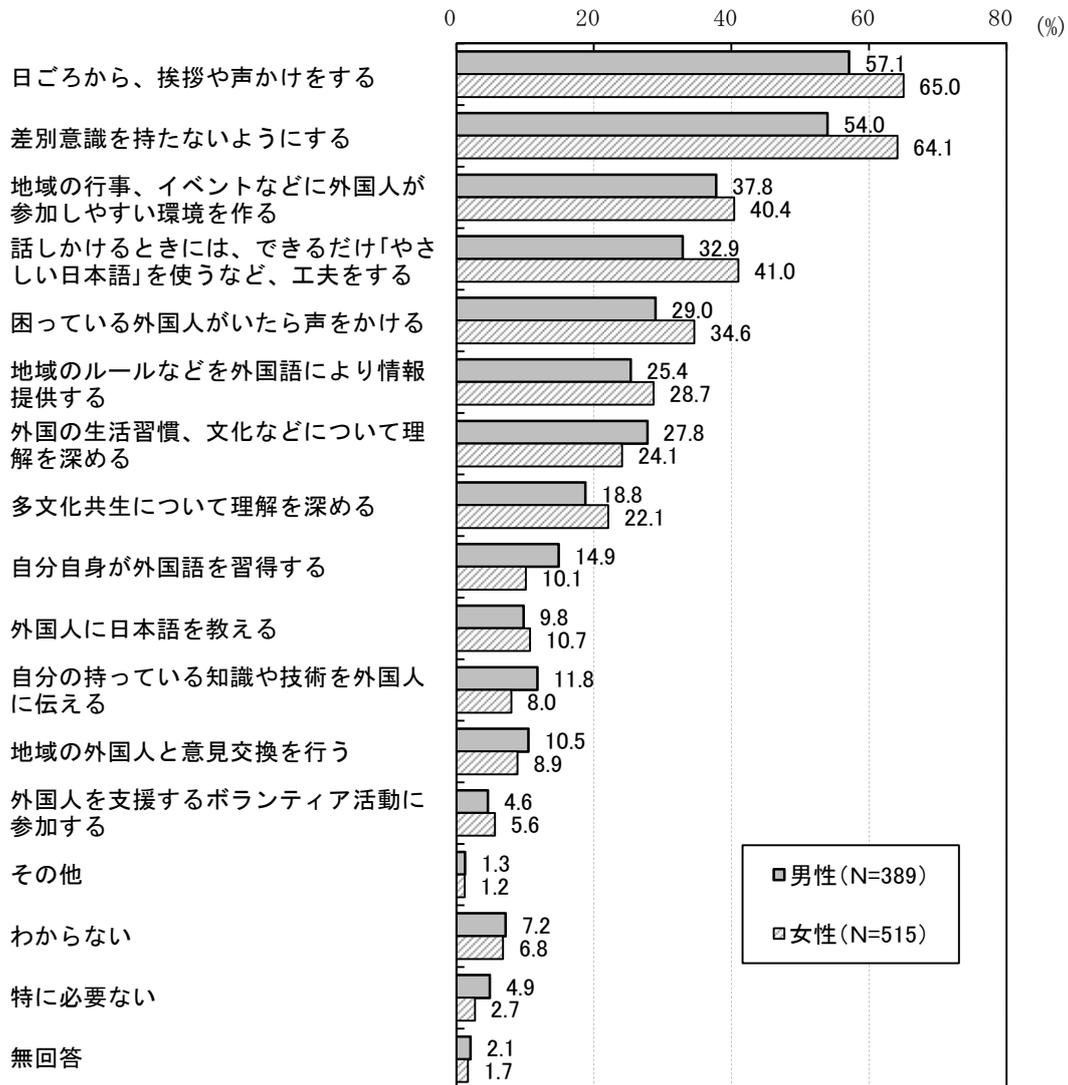
経年比較をすると、今回調査で「日本の生活習慣、文化等を理解してほしい」が55.8%と、前回調査を9.0ポイント下回っている。

問 15 あなたは、富士市に暮らす外国人と互いに理解しあって生活するために、日本人にはどのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)



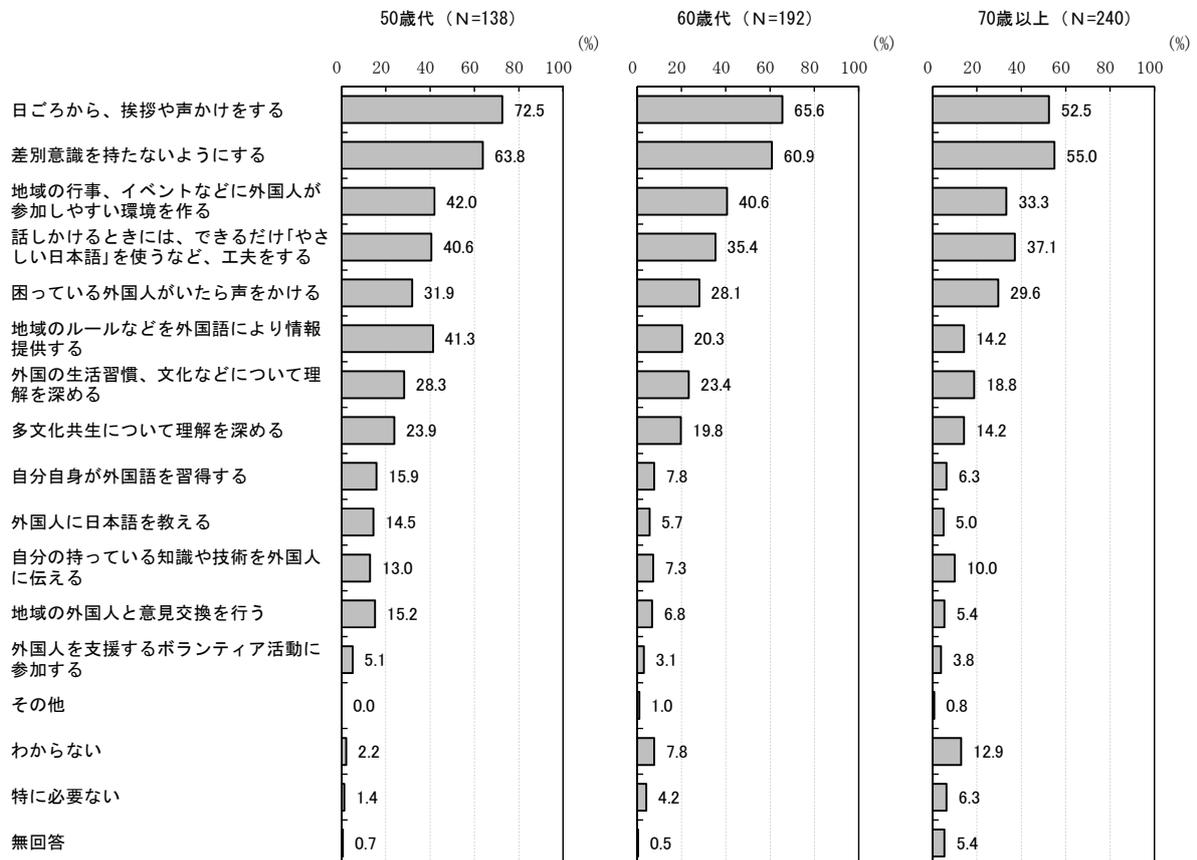
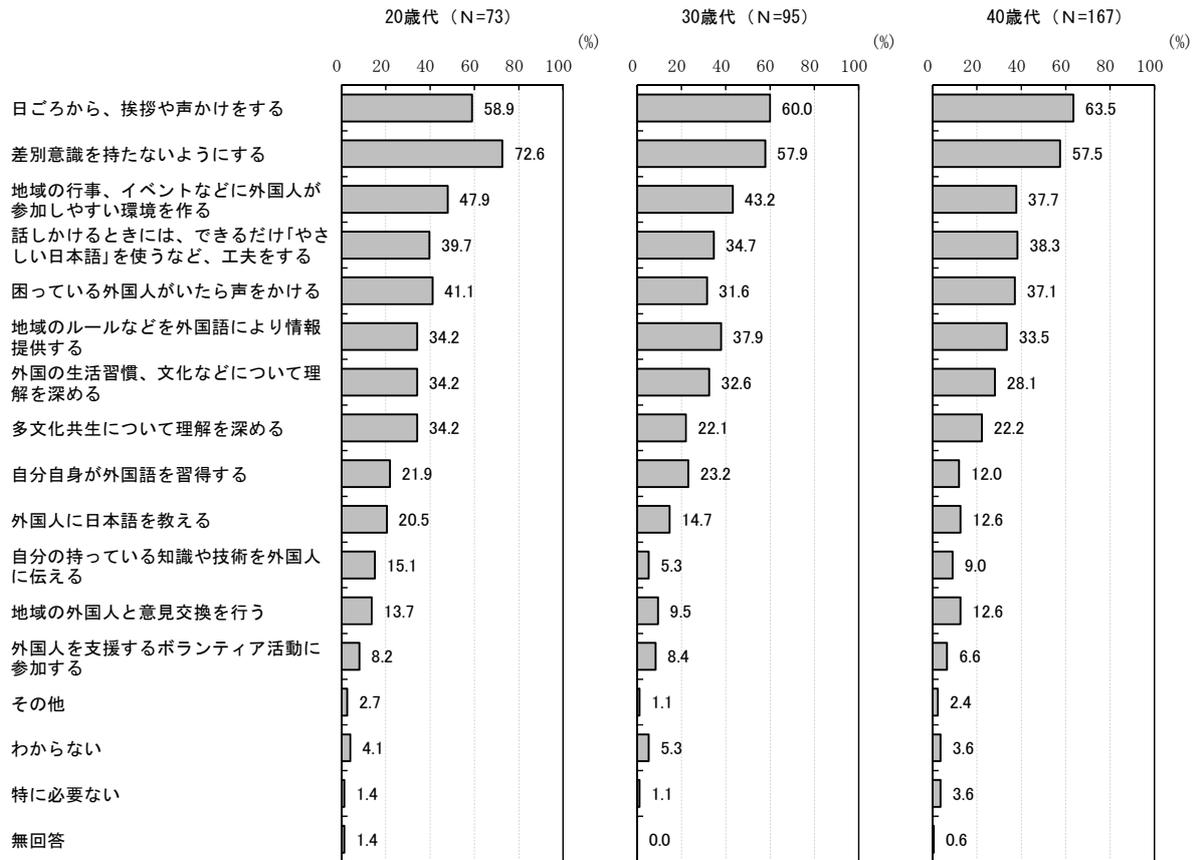
互いに理解しあって生活するために、日本人に必要なと思うことは、「日ごろから、挨拶や声かけをする」が61.6%と最も高く、「差別意識を持たないようにする」59.8%、「地域の行事、イベントなどに外国人が参加しやすい環境を作る」39.4%などと続いている。

■性別■

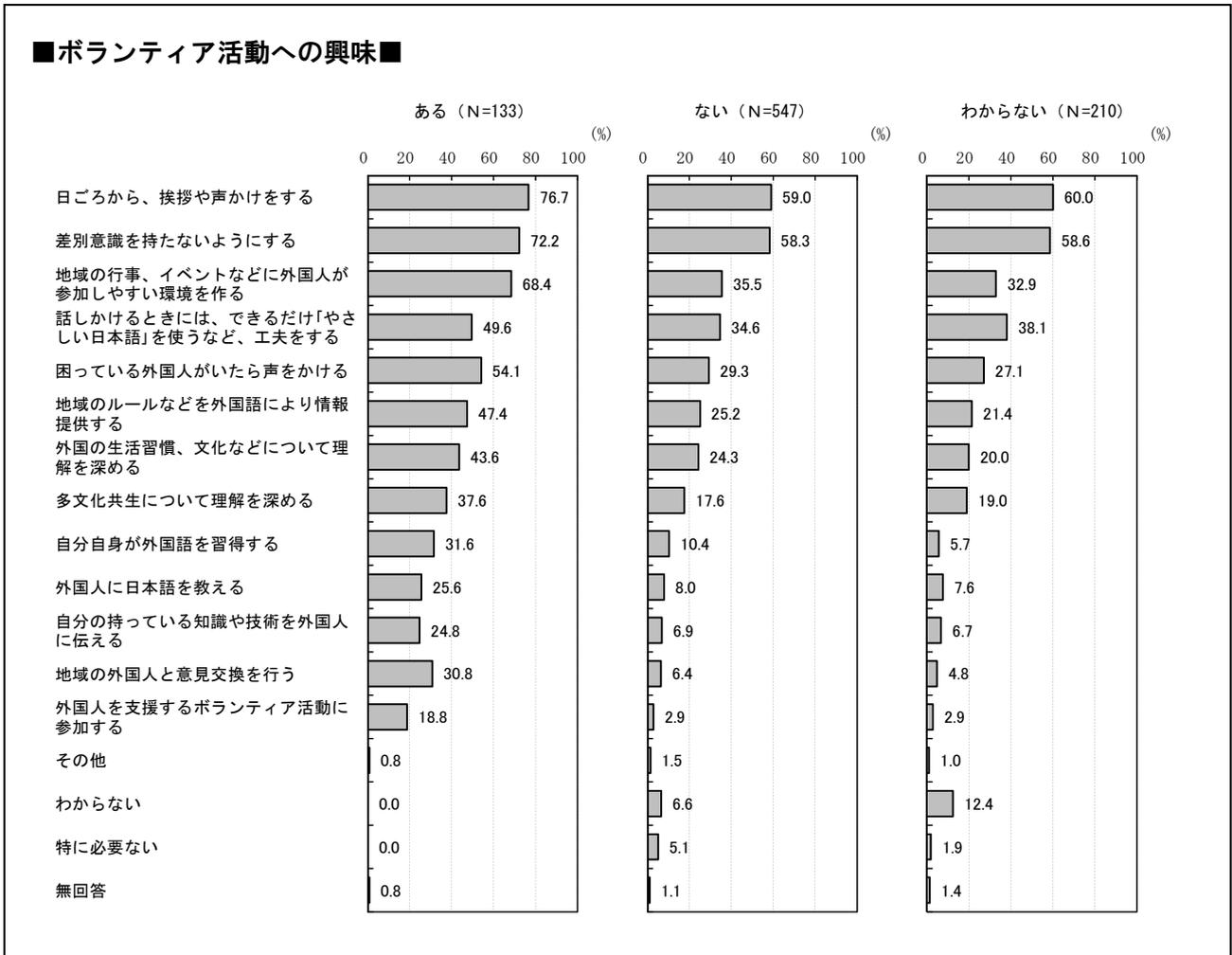


性別にみると、女性で「差別意識を持たないようにする」が64.1%と、男性を10.1ポイント上回っている。

■年代■

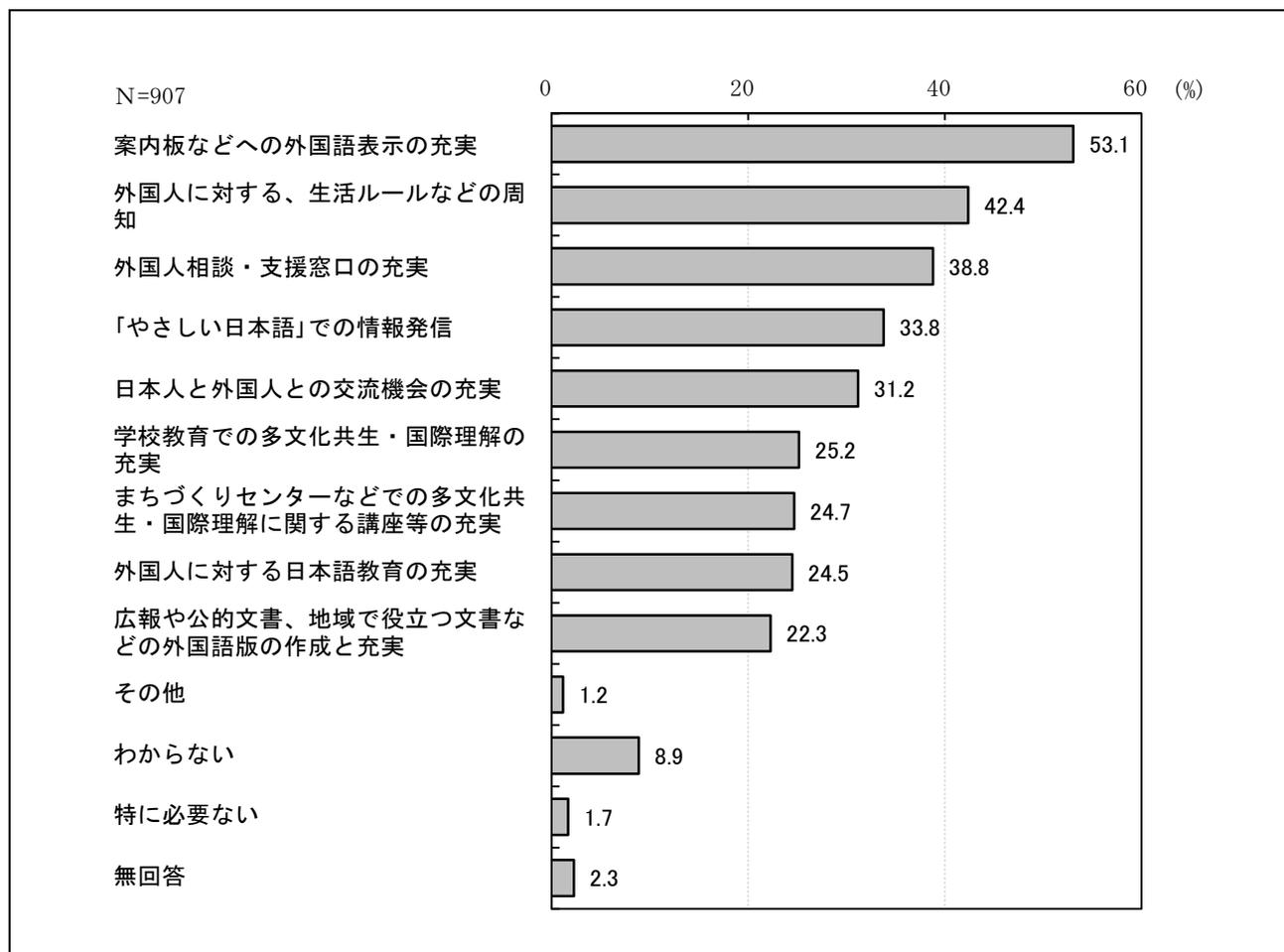


年代別にみると、20歳代で「差別意識を持たないようにする」が約7割と高くなっている。70歳以上で「地域のルールなどを外国語により情報提供する」が2割未満と低くなっている。



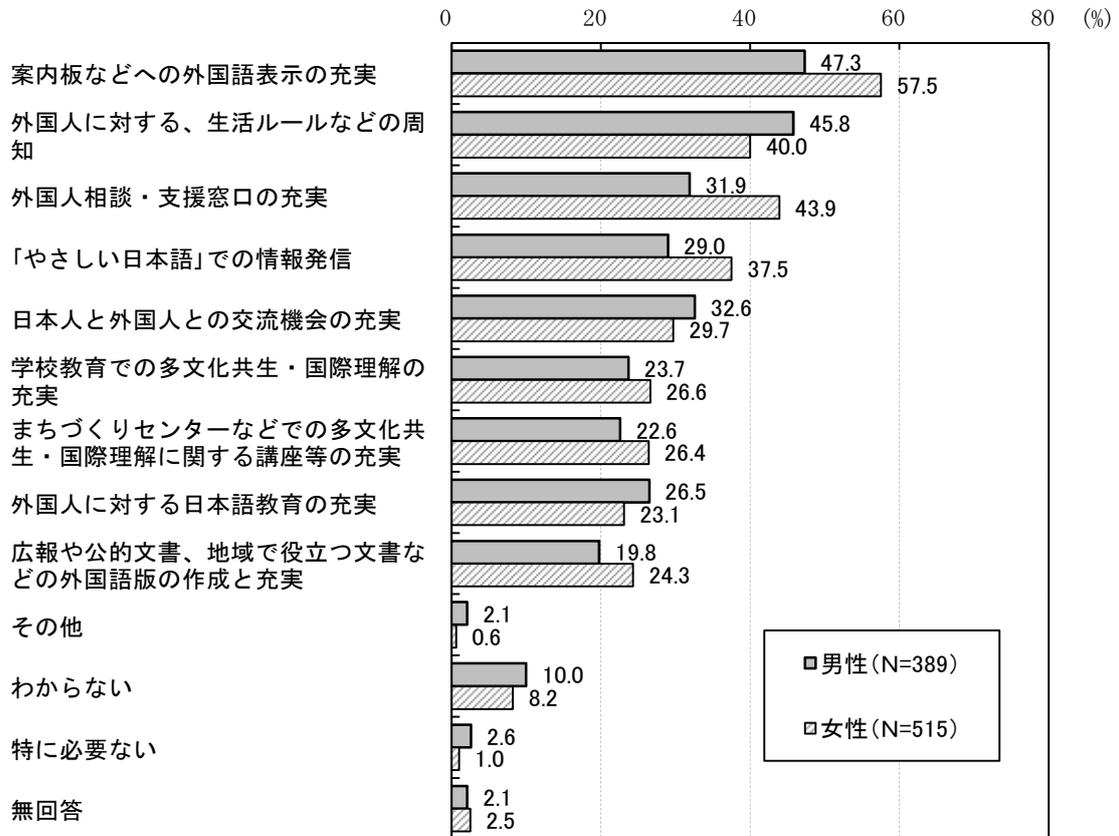
ボランティア活動への興味別にみると、興味のある人で「地域の行事、イベントなどに外国人が参加しやすい環境を作る」が約7割、「地域の外国人と意見交換を行う」が約3割と高くなっている。

問 16 日本人と外国人が互いに理解しあって生活するために、市としてどのような取り組みが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)



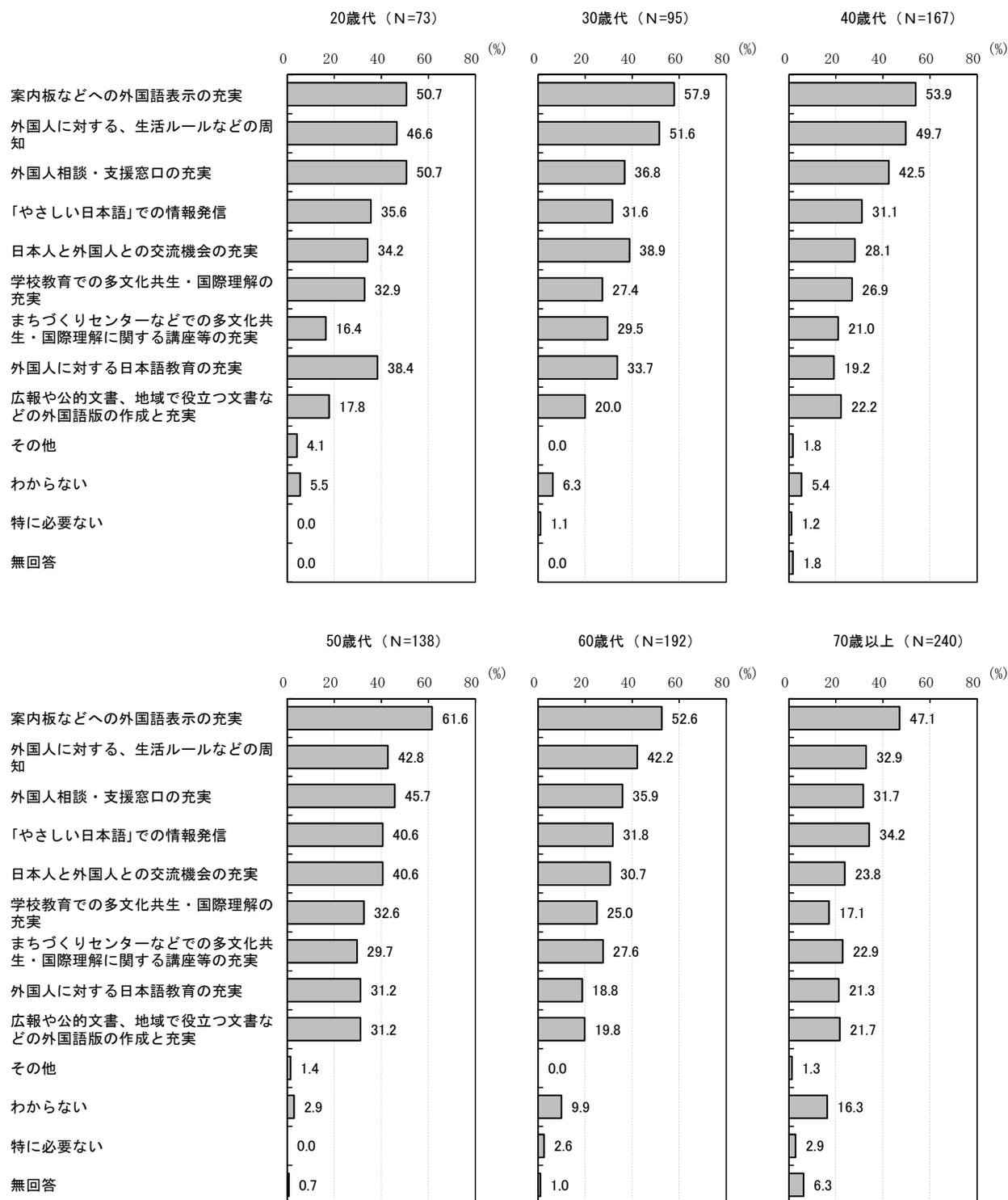
互いに理解しあって生活するために、市として必要な取り組みは、「案内板などへの外国語表示の充実」が53.1%と最も高く、「外国人に対する、生活ルールなどの周知」42.4%、「外国人相談・支援窓口の充実」38.8%などと続いている。

■性別■



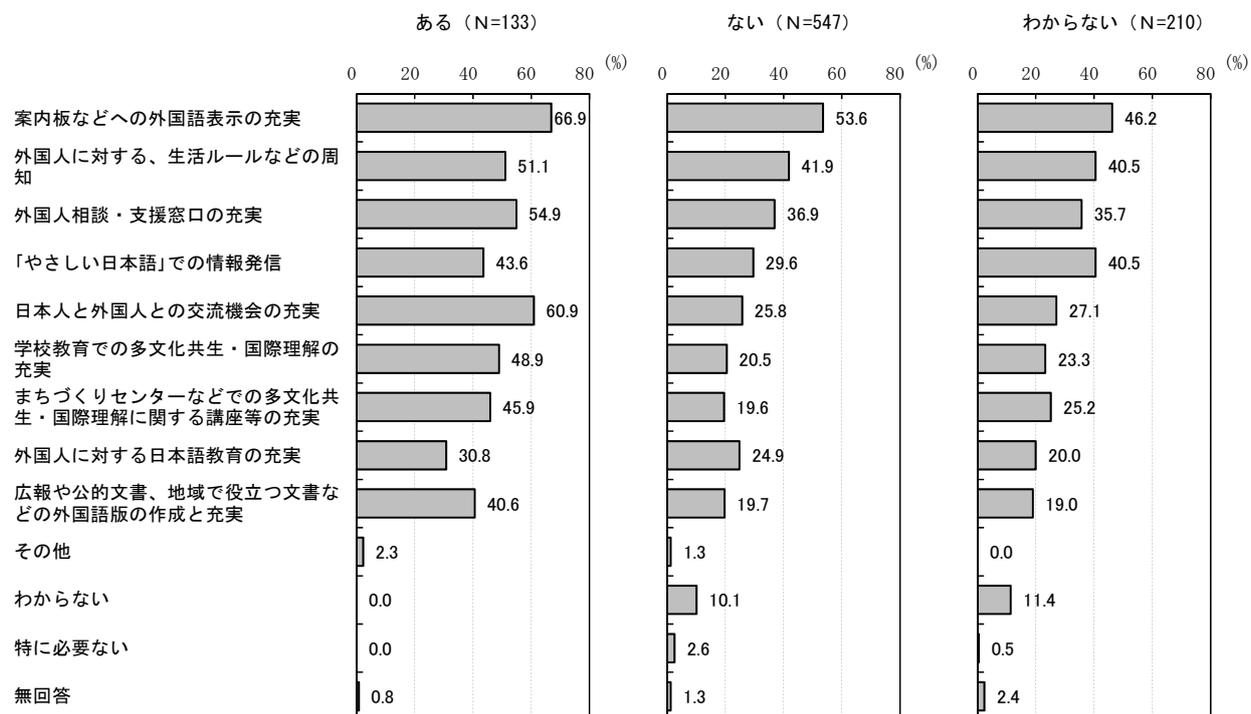
性別にみると、女性で「案内板などへの外国語表示の充実」が57.5%、「外国人相談・支援窓口の充実」が43.9%と、男性を10ポイント以上上回っている。一方、男性で「外国人に対する、生活ルールなどの周知」が45.8%と、女性を5.8ポイント上回っている。

■年代■



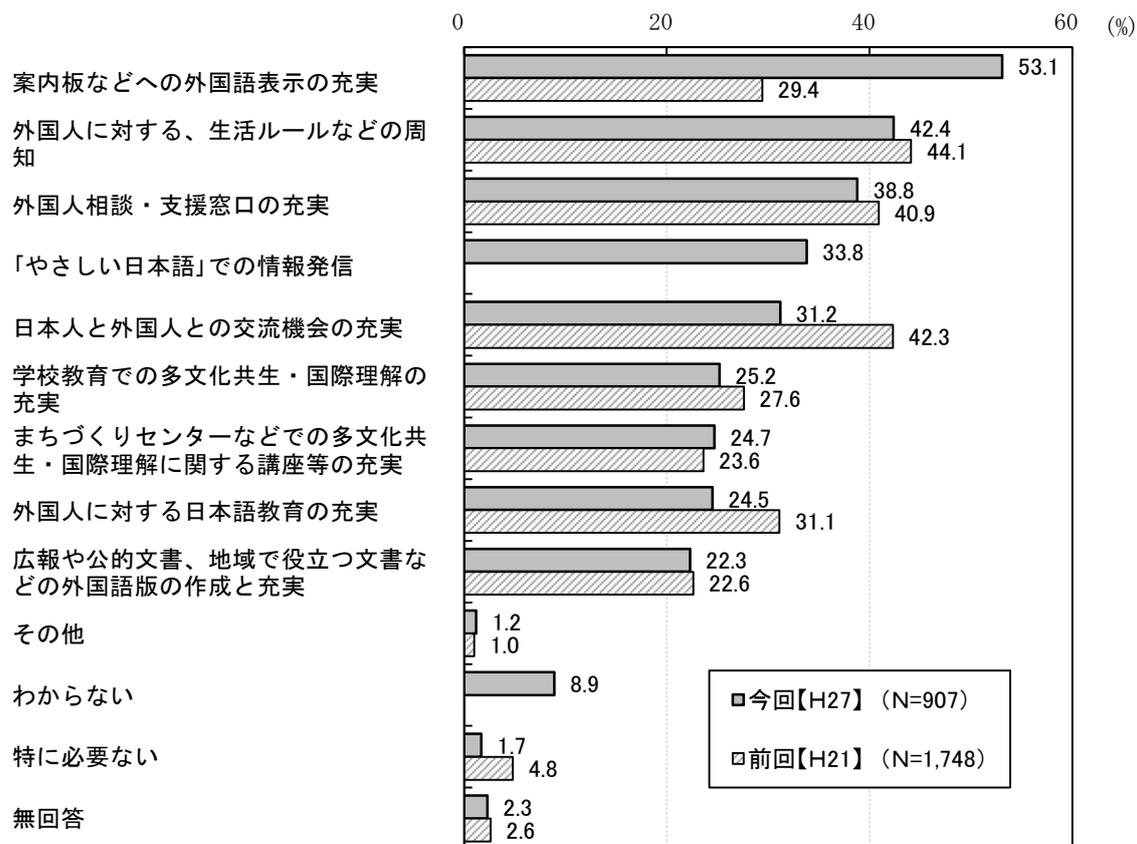
年代別にみると、50歳代で「広報や公的文書、地域で役立つ文書などの外国語版の作成と充実」が約3割と高くなっている。一方、70歳以上で「日本人と外国人との交流機会の充実」が3割未満と低くなっている。

■ ボランティア活動への興味 ■



ボランティア活動への興味別にみると、興味のある人で「日本人と外国人との交流機会の充実」が約6割と高くなっている。

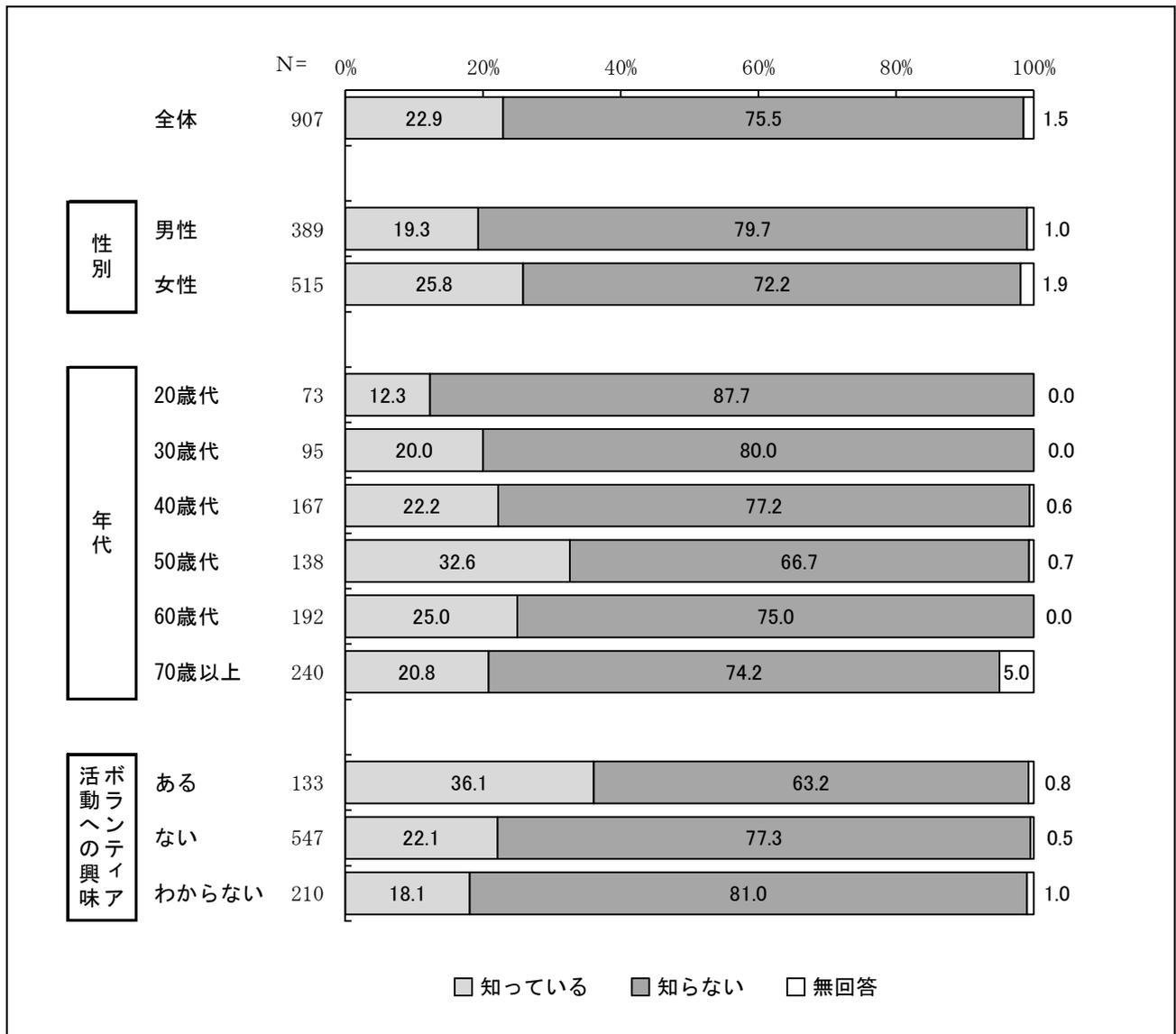
《経年比較》



※「『やさしい日本語』での情報発信」、「わからない」は今回のみ。

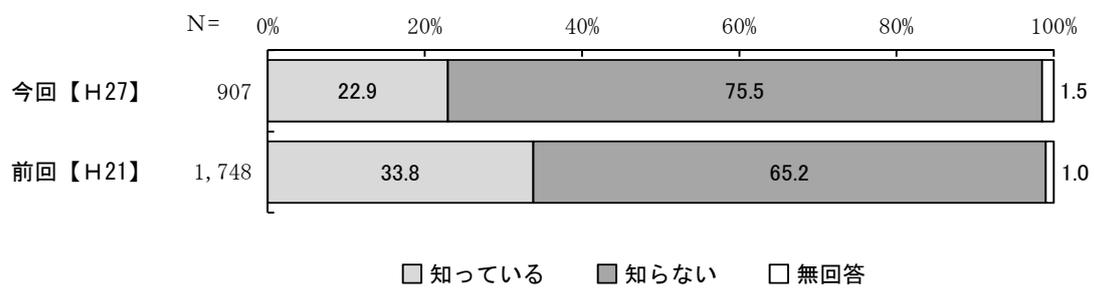
経年比較をすると、今回調査で「案内板などへの外国語表示の充実」が53.1%と、前回調査を23.7ポイント上回っている。一方、「日本人と外国人との交流機会の充実」が31.2%と、前回調査を11.1ポイント下回っている。

問 17 あなたは、富士市役所内に外国人相談窓口（ポルトガル語・スペイン語）があることを知っていますか。（○は1つ）



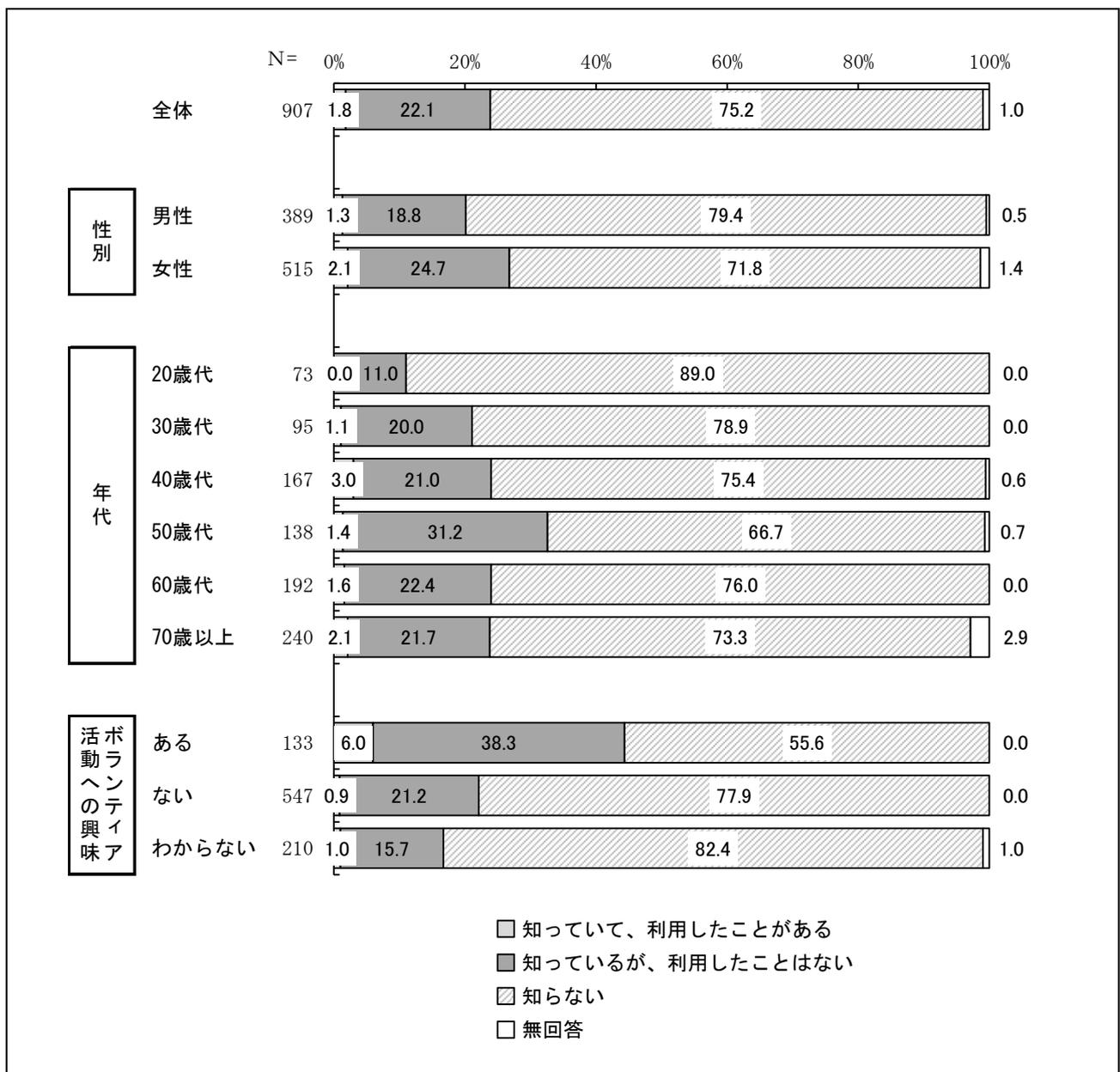
富士市役所内の外国人相談窓口の認知度は、「知っている」22.9%、「知らない」75.5%となっている。
性別にみると、女性で「知っている」が25.8%と、約3割を占めている。
年代別にみると、50歳代で「知っている」が3割以上と高くなっている。
ボランティア活動への興味別にみると、興味のある人で「知っている」が36.1%と、約4割を占めている。

《経年比較》



経年比較をすると、今回調査で「知っている」が22.9%と、前回調査を10.9ポイント下回っている。

問 18 あなたは、「富士市国際交流ラウンジ」を知っていますか。(〇は1つ)



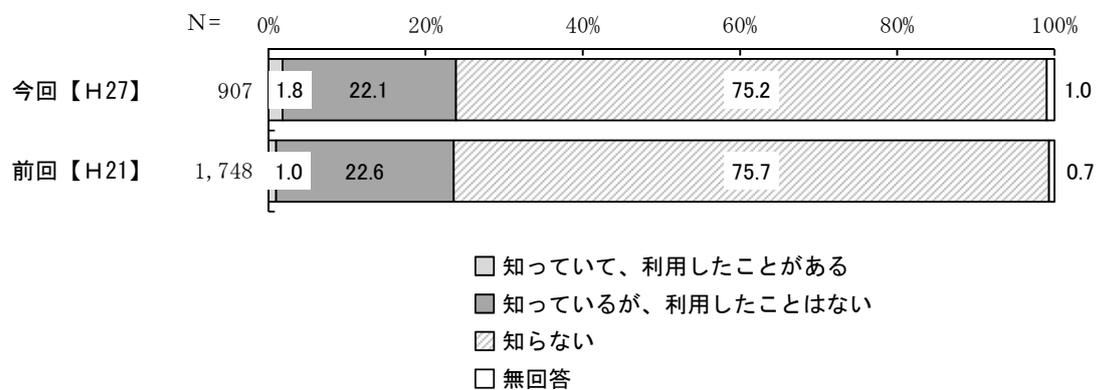
「富士市国際交流ラウンジ」の認知度は、「知っている、利用したことがある」の1.8%と「知っているが、利用したことはない」の22.1%を合わせた『知っている』は23.9%となっている。一方、「知らない」は75.2%となっている。

性別にみると、女性で『知っている』が26.8%と、約3割を占めている。

年代別にみると、50歳代で『知っている』が約3割と高くなっている。

ボランティア活動への興味別にみると、興味のある人で『知っている』が44.3%と、約4割を占めている。

《経年比較》



経年比較をすると、前回調査と大差はみられない。

問 19 あなたは、国際交流ラウンジが行う事業について知っていますか。(○は1つ)

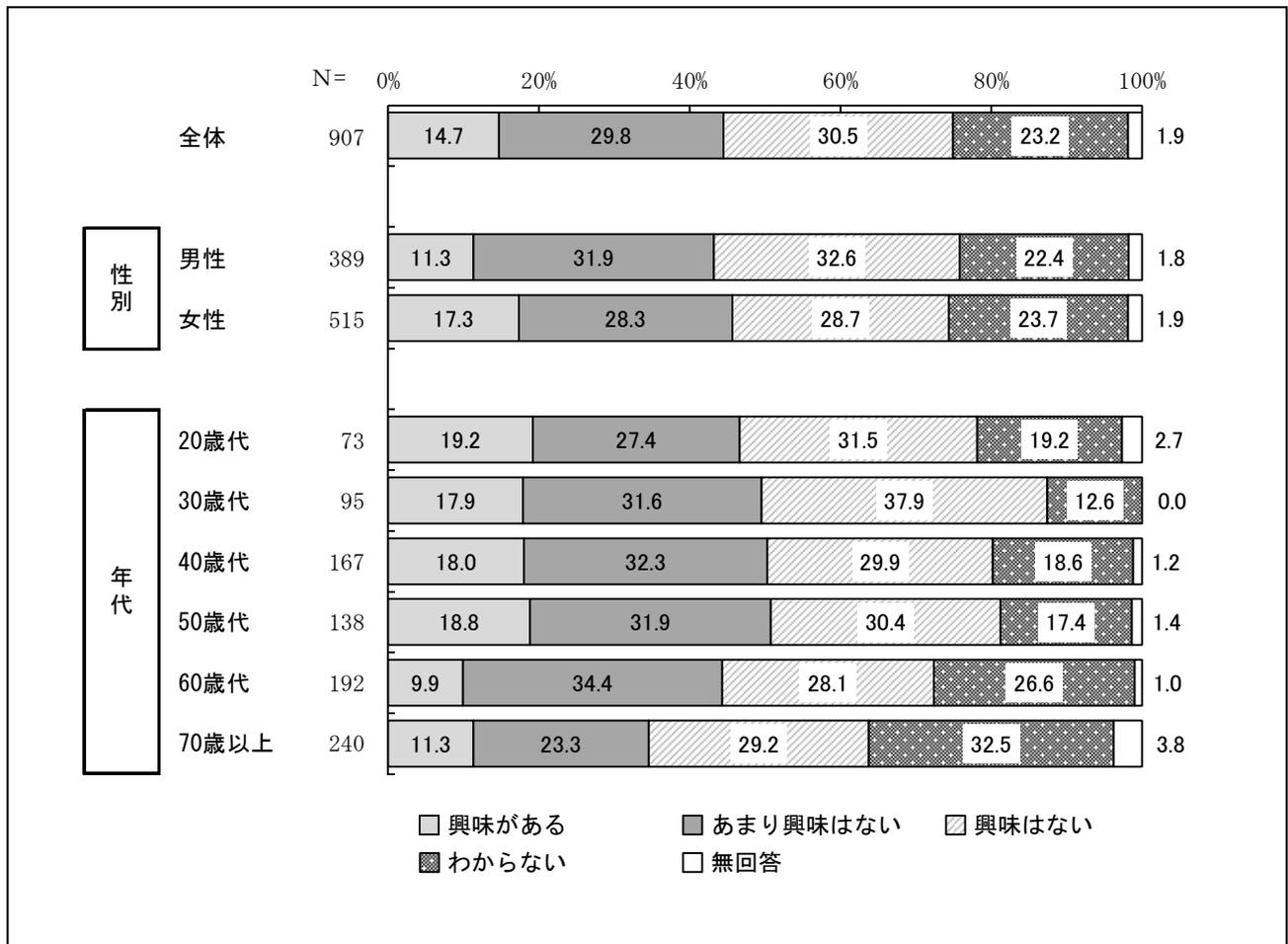
【問 18 で「知っていて、利用したことがある」を選んだ方のみ】

(単位：人)

	調査数	知っている	知らない	無回答
全 体	16	7	6	3
■性別				
男性	5	3	2	-
女性	11	4	4	3
■年代				
20歳代	-	-	-	-
30歳代	1	1	-	-
40歳代	5	4	1	-
50歳代	2	-	-	2
60歳代	3	2	-	1
70歳以上	5	-	5	-
■ボランティア活動への興味				
ある	8	5	1	2
ない	5	2	2	1
わからない	2	-	2	-

国際交流ラウンジが行う事業の認知度は、上表のとおりとなっている。

問 20 富士市国際交流ラウンジでは、外国人に日本語を教えるなどのボランティア活動が行われています。あなたは、外国人支援のボランティア活動に興味がありますか。(○は1つ)

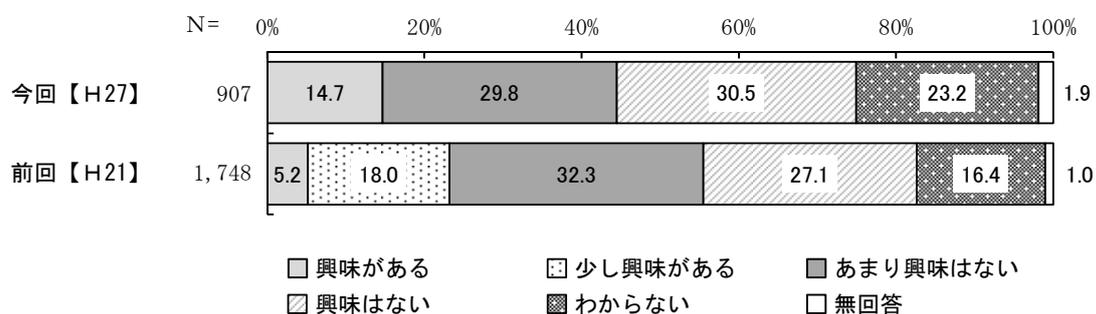


外国人支援のボランティア活動に対する興味の有無は、「興味がある」は14.7%となっている。一方、「あまり興味はない」の29.8%と「興味はない」の30.5%を合わせた『興味はない』は60.3%となっている。

性別にみると、女性で「興味がある」が17.3%と、約2割を占めている。

年代別にみると、60歳代と70歳以上で「興味がある」が約1割とやや低くなっている。

《経年比較》

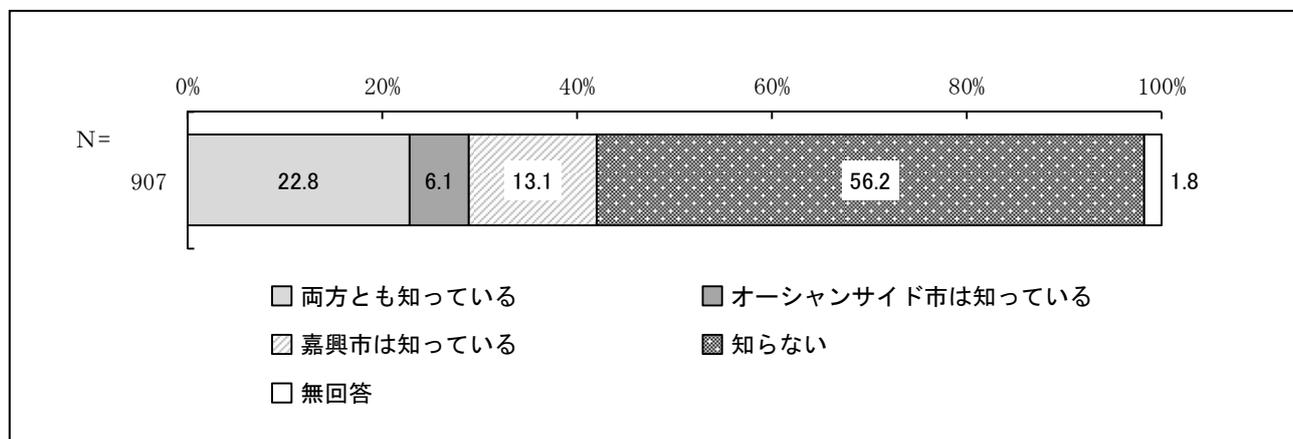


※「少し興味がある」は前回のみ。

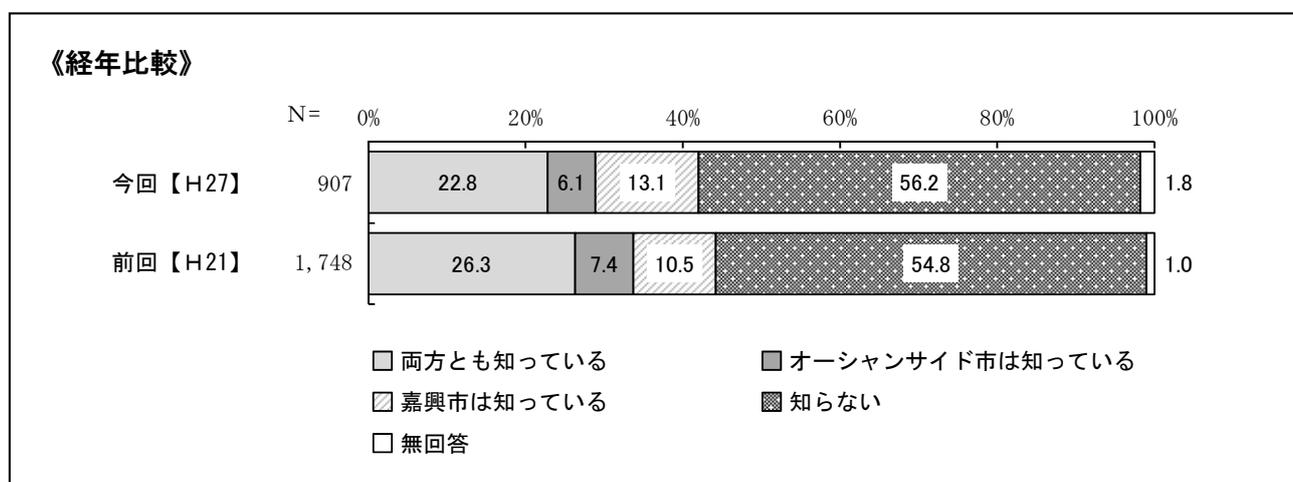
経年比較をすると、今回調査で「興味がある」が 14.7%と前回調査を上回っているが、前回調査の「興味がある」と「少し興味がある」を合わせた『興味がある』を下回っている。

3 姉妹友好都市交流、国際交流について

問 21 あなたは、富士市が米国・オーシャンサイド市、中国・嘉興市と姉妹友好都市提携を結んでいることを知っていますか。(○は1つ)

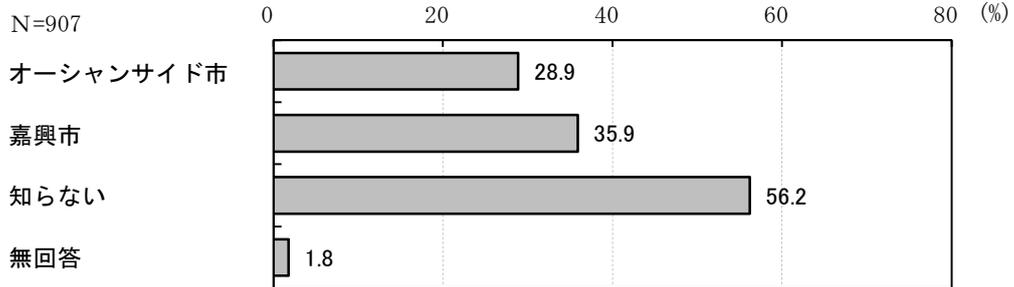


富士市の姉妹友好都市提携の認知度は、「両方とも知っている」の22.8%と「オーシャンサイド市は知っている」の6.1%、「嘉興市は知っている」の13.1%を合わせた『知っている』は42.0%となっている。一方、「知らない」は56.2%となっている。



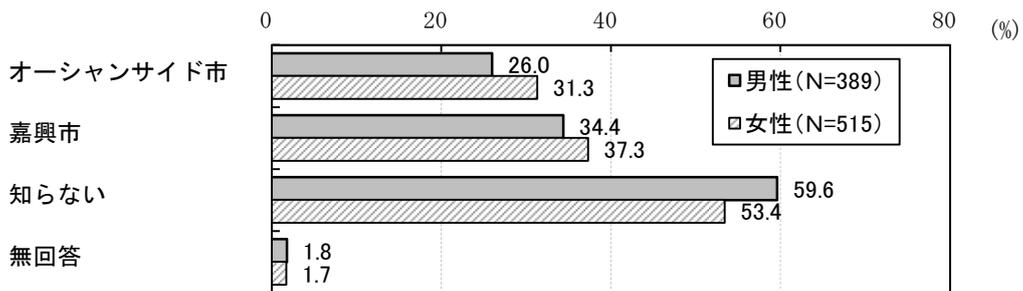
経年比較をすると、前回調査と大差はみられない。

◎どの姉妹友好都市を知っているか



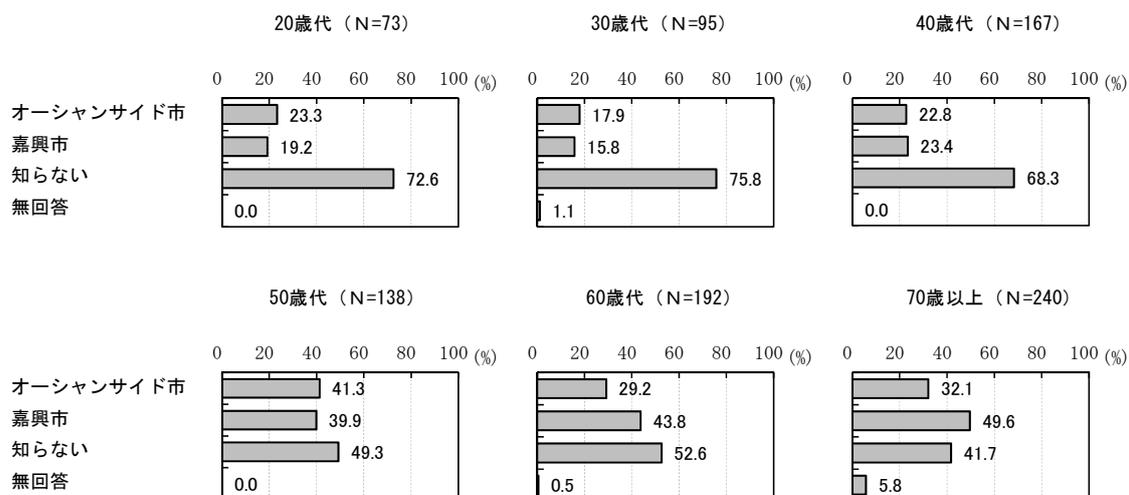
どの姉妹友好都市を知っているかは、「オーシャンサイド市」28.9%、「嘉興市」35.9%、「知らない」56.2%となっている。

■性別■



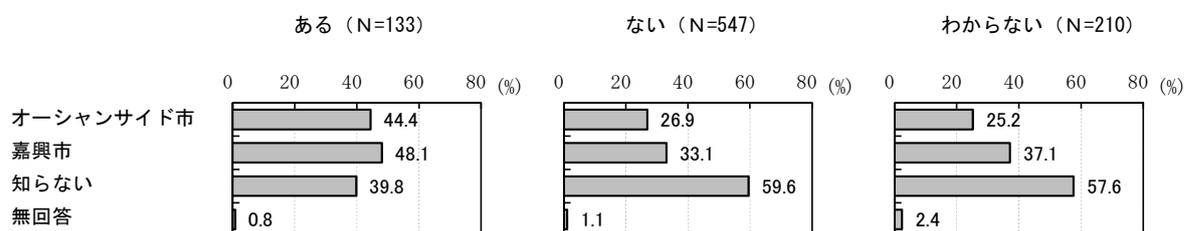
性別にみると、男性で「知らない」が59.6%と、女性を6.2ポイント上回っている。

■年代■



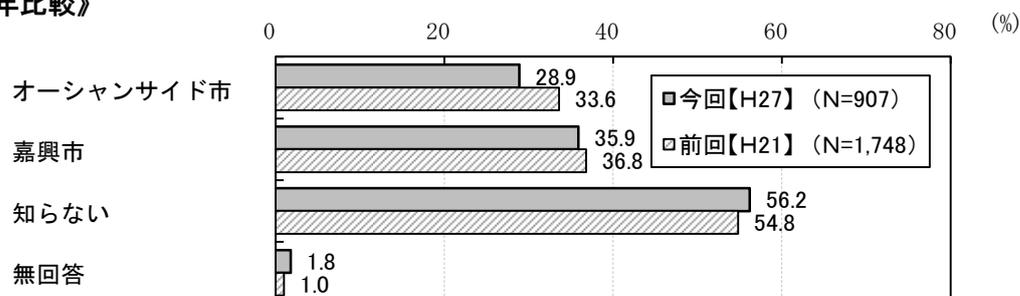
年代別にみると、年齢が高くなるほど「嘉興市」が高くなる傾向がみられる。20歳代と30歳代で「知らない」が7割以上と高くなっている。

■ボランティア活動への興味■



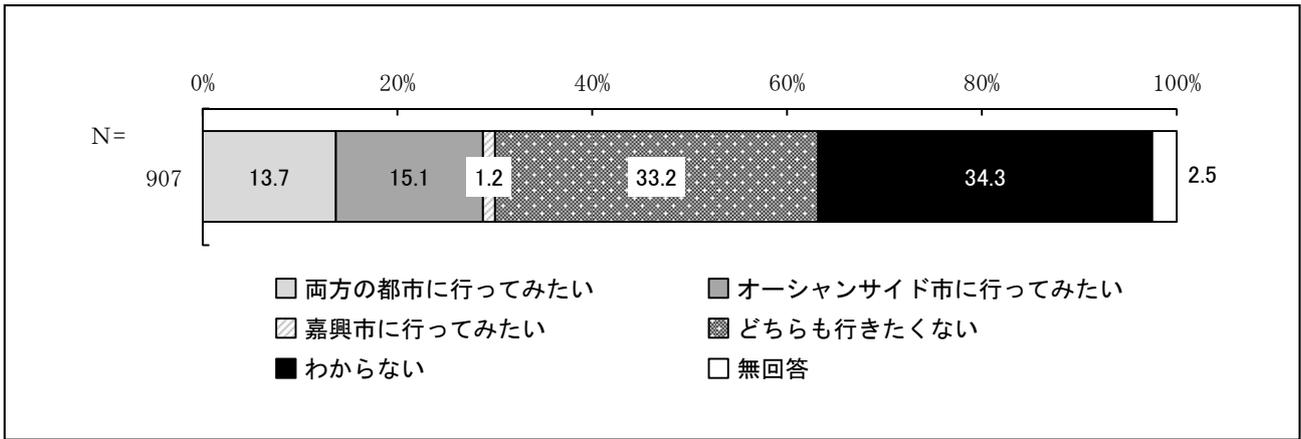
ボランティア活動への興味別にみると、興味のある人で「オーシャンサイド市」と「嘉興市」がそれぞれ4割以上と高くなっている。

《経年比較》

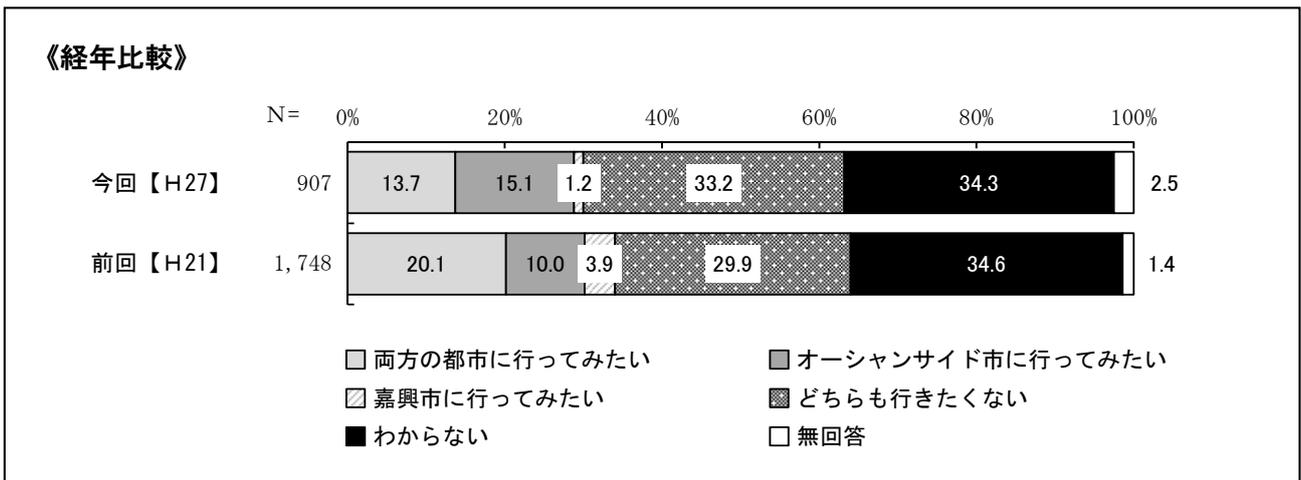


経年比較をすると、今回調査で「オーシャンサイド市」が28.9%と、前回調査を4.7ポイント下回っている。

問 22 あなたは、今後、オーシャンサイド市や嘉興市に行ってみたいですか。(〇は1つ)

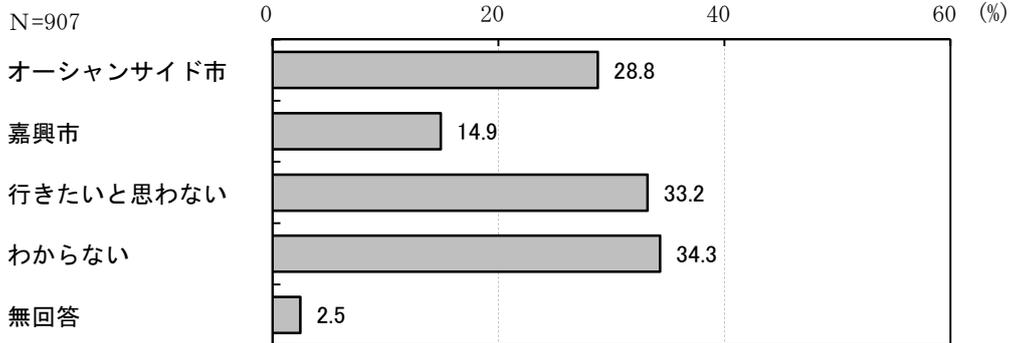


富士市の姉妹友好都市への訪問意向は、「両方の都市に行ってみたい」の13.7%と「オーシャンサイド市に行ってみたい」の15.1%、「嘉興市に行ってみたい」の1.2%を合わせた『行ってみたい』は30.0%となっている。一方、「どちらも行きたくない」は33.2%となっている。



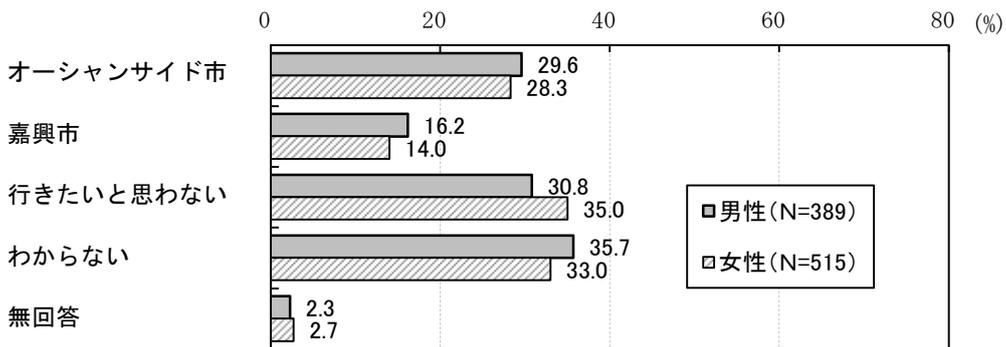
経年比較をすると、今回調査で「両方の都市に行ってみたい」が13.7%と、前回調査を6.4ポイント下回っている。

◎どの姉妹友好都市へ行きたいか



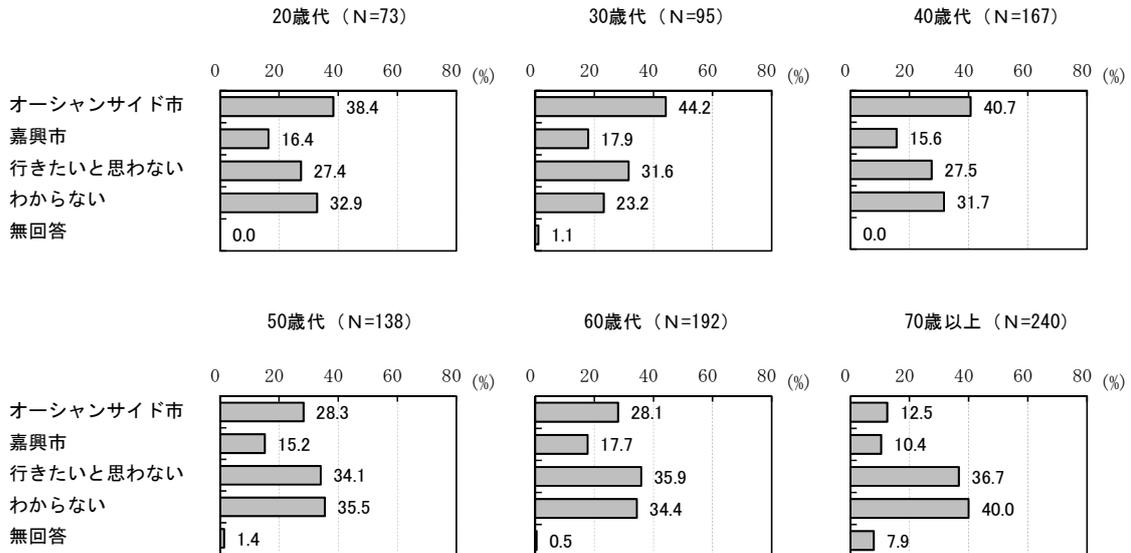
どの姉妹友好都市へ行きたいかは、「オーシャンサイド市」28.8%、「嘉興市」14.9%、「行きたいと思わない」33.2%となっている。

■性別■



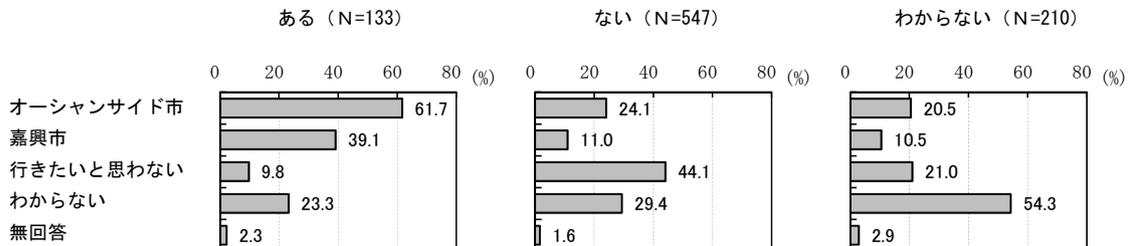
性別にみると、女性で「行きたいと思わない」が35.0%と、男性を4.2ポイント上回っている。

■年代■



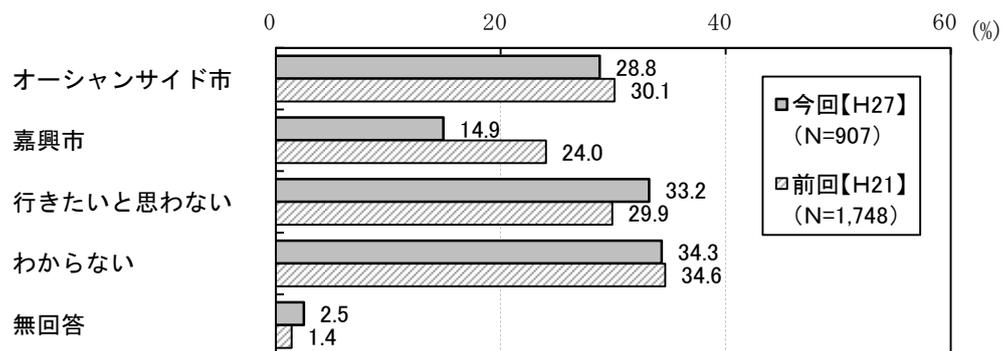
年代別にみると、30歳代と40歳代で「オーシャンサイド市」が4割以上と高くなっている。一方、70歳以上で「オーシャンサイド市」が約1割と低くなっている。

■ボランティア活動への興味■



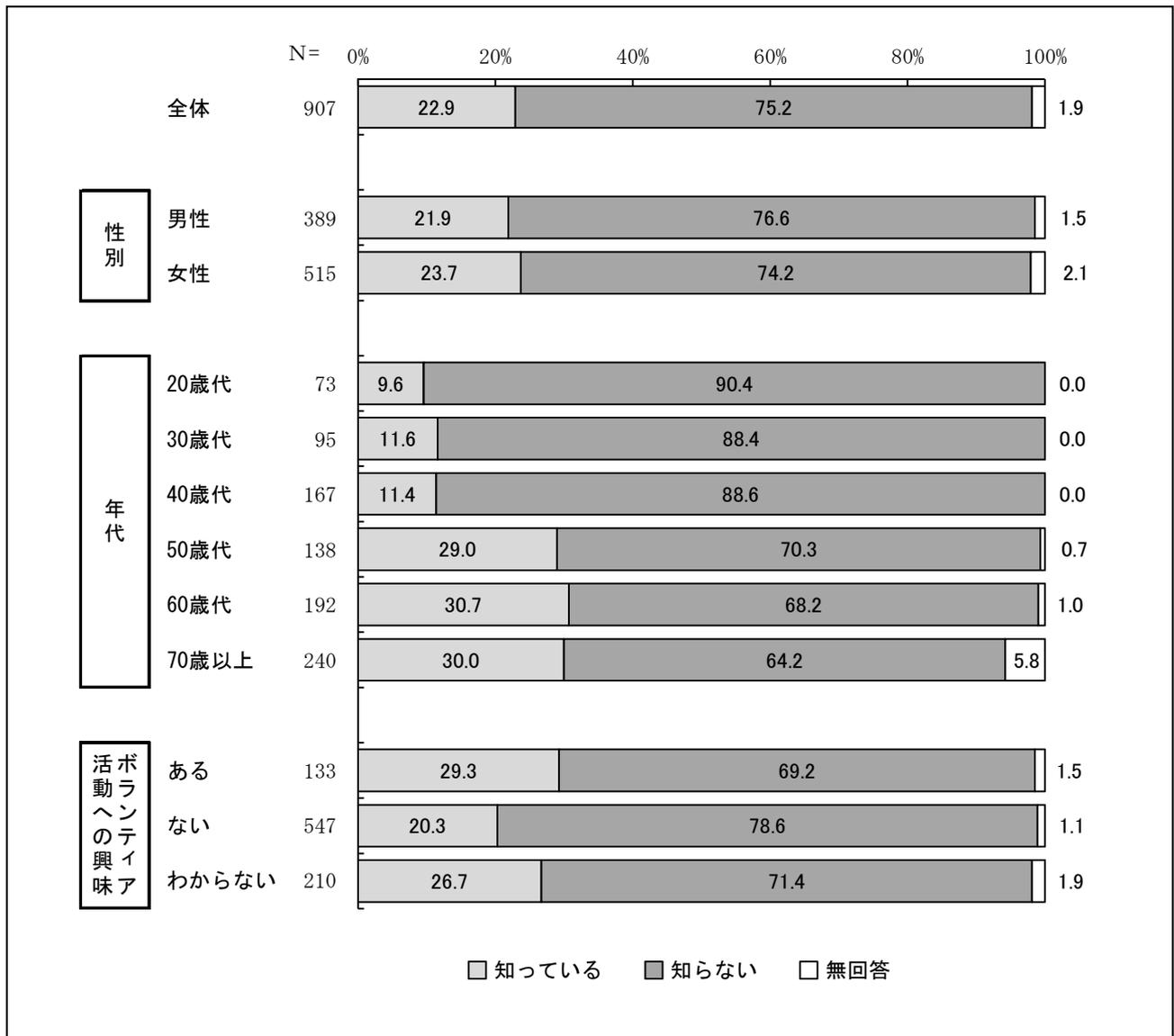
ボランティア活動への興味別にみると、興味のある人で「オーシャンサイド市」が約6割と高くなっている。

《経年比較》



経年比較をすると、今回調査で「嘉興市」が14.9%と、前回調査を9.1ポイント下回っている。

問 23 あなたは、富士市が姉妹友好都市へ市民を派遣する事業を行っていることを知っていますか。
(○は1つ)



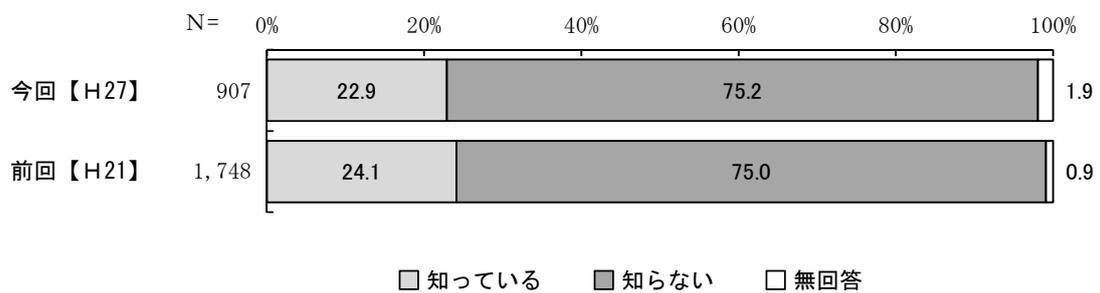
富士市の姉妹友好都市への市民派遣事業の認知度は、「知っている」22.9%、「知らない」75.2%となっている。

性別にみると、大差はみられない。

年代別にみると、20歳代と30歳代、40歳代で「知っている」が約1割と低くなっている。

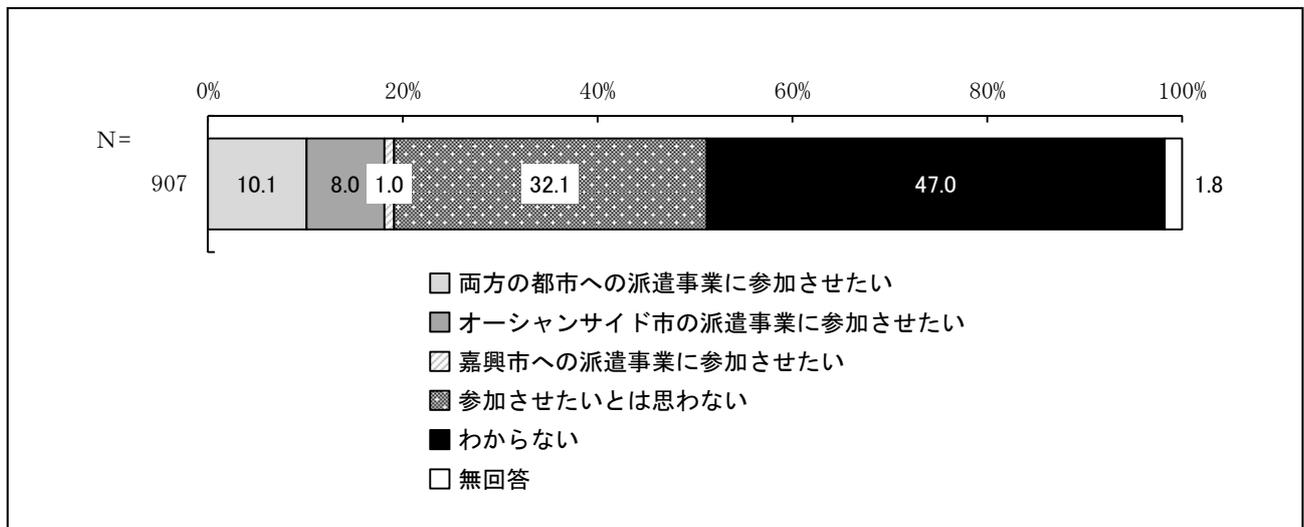
ボランティア活動への興味別にみると、興味のある人と興味があるかわからない人で「知っている」が約3割を占めている。

《経年比較》

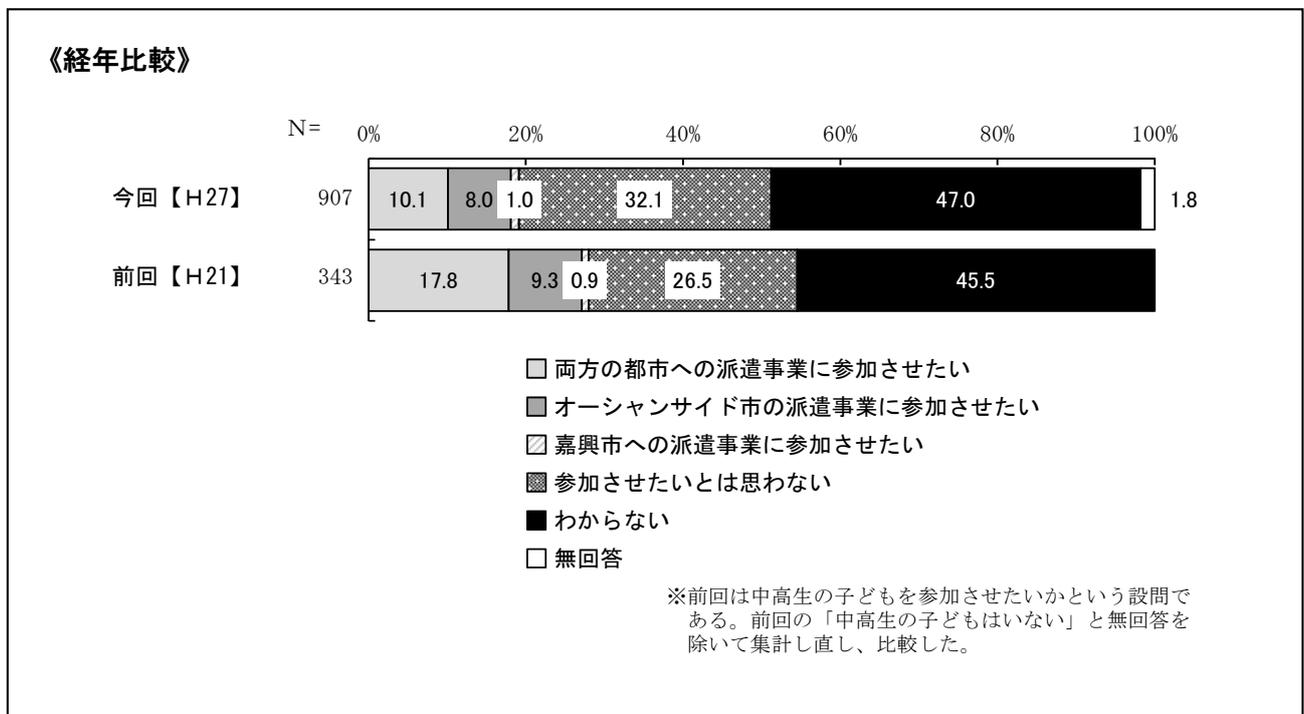


経年比較をすると、前回調査と大差はみられない。

問 24 あなたは、あなたのご家族を富士市主催の姉妹友好都市派遣事業に参加させたいと思いますか。
(○は1つ)

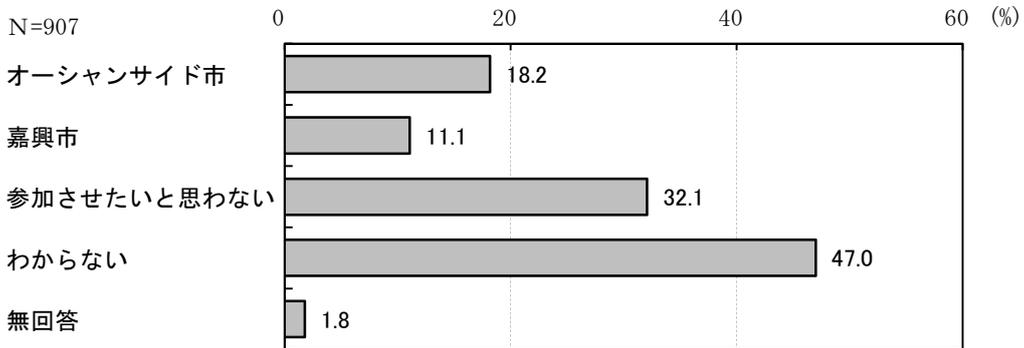


富士市主催の姉妹友好都市派遣事業に家族を参加させたいと思うかは、「両方の都市への派遣事業に参加させたい」の10.1%と「オーシャンサイド市の派遣事業に参加させたい」の8.0%、「嘉興市への派遣事業に参加させたい」の1.0%を合わせた『参加させたい』は19.1%となっている。一方、「参加させたいとは思わない」は32.1%となっている。



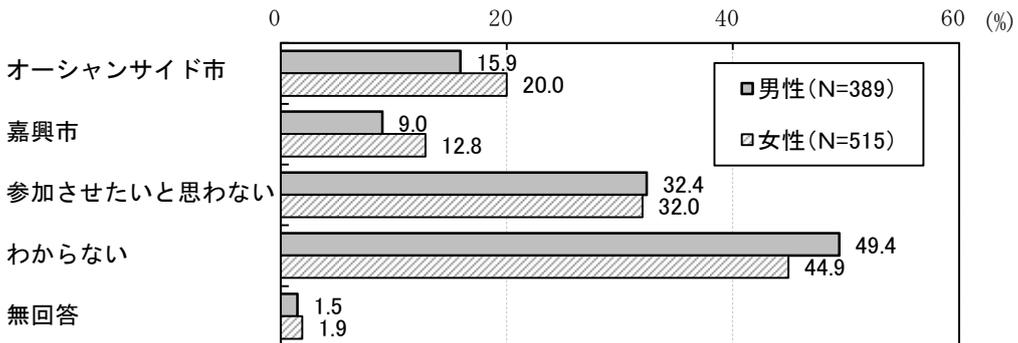
経年比較をすると、今回調査で「両方の都市への派遣事業に参加させたい」が10.1%と、前回調査を7.7ポイント下回っている。

◎どの姉妹友好都市への派遣事業に家族を参加させたいか



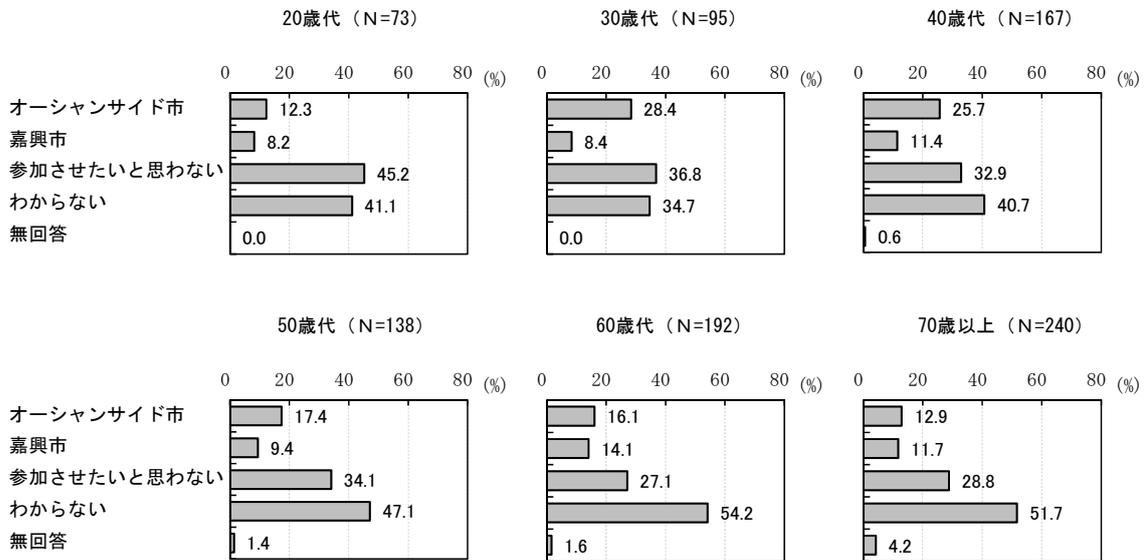
どの姉妹友好都市への派遣事業に家族を参加させたいかは、「オーシャンサイド市」18.2%、「嘉興市」11.1%、「参加させたいと思わない」32.1%となっている。

■性別■



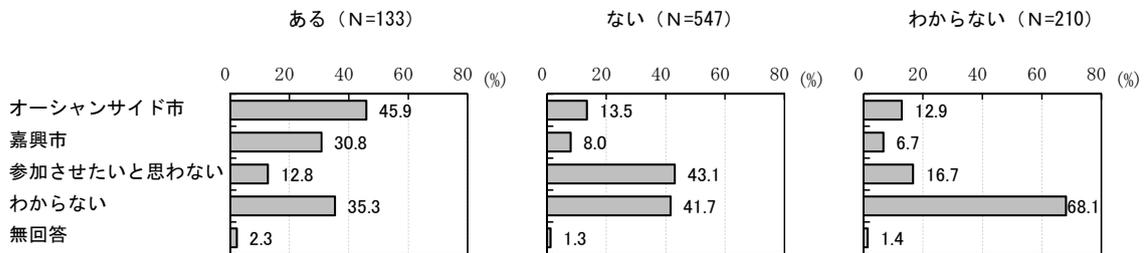
性別にみると、女性で「オーシャンサイド市」と「嘉興市」が、男性をそれぞれ約4ポイント上回っている。

■年代■



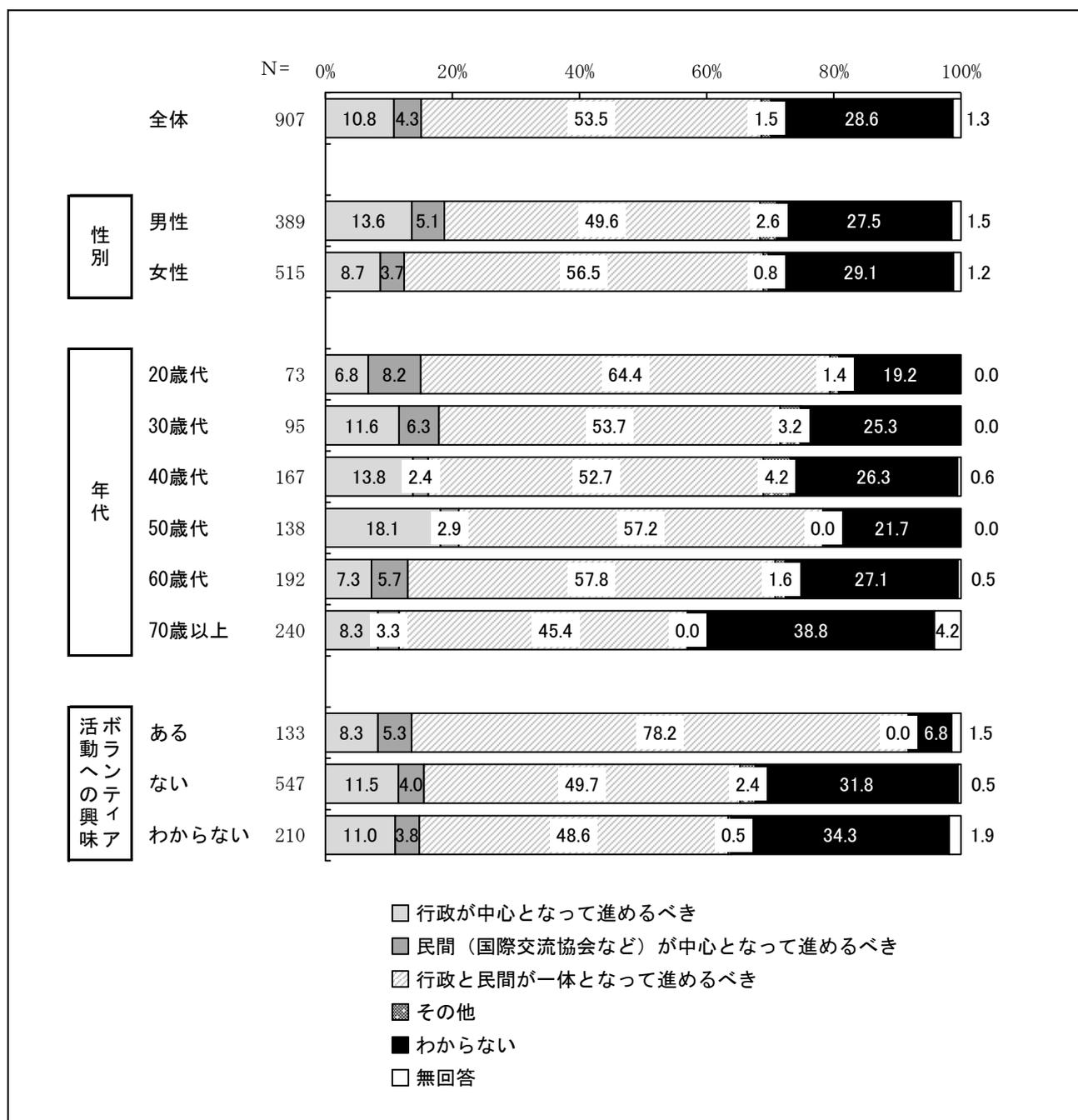
年代別にみると、30歳代と40歳代で「オーシャンサイド市」が約3割と高くなっている。

■ボランティア活動への興味■



ボランティア活動への興味別にみると、興味のある人で「オーシャンサイド市」が約5割と高くなっている。一方、興味のない人で「参加させたいと思わない」が約4割と高くなっている。

問 25 あなたは、今後の姉妹友好都市交流はどのような形で進めていくべきだと思いますか。(〇は1つ)

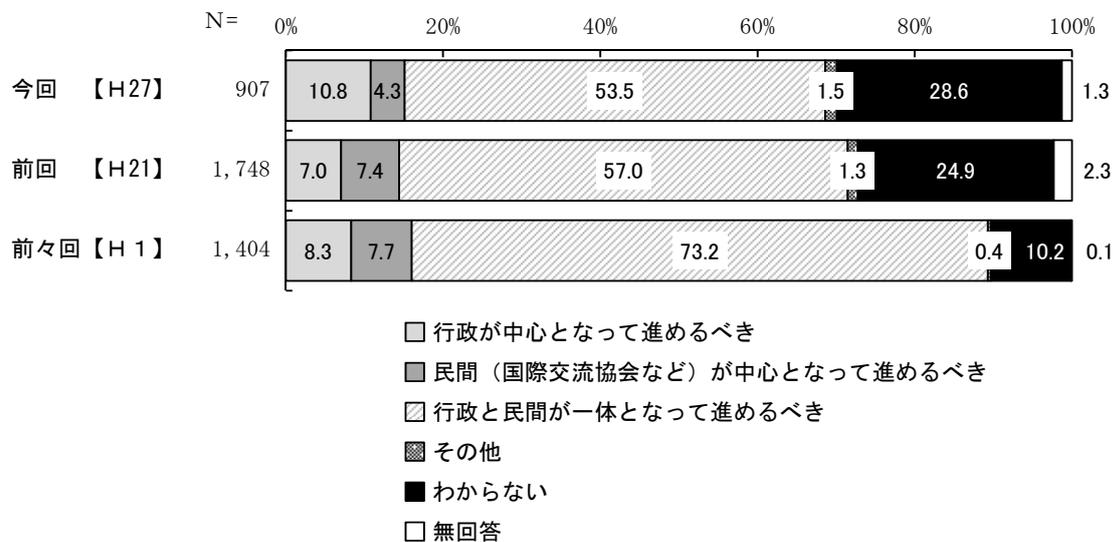


今後の姉妹友好都市交流をどのような形で進めていくべきだと思うかは、「行政と民間が一体となって進めるべき」が53.5%と最も高く、「行政が中心となって進めるべき」10.8%、「民間（国際交流協会など）が中心となって進めるべき」4.3%などと続いている

性別にみると、女性で「行政と民間が一体となって進めるべき」が56.5%と、約6割を占めている。年代別にみると、50歳代で「行政が中心となって進めるべき」が約2割とやや高くなっている。

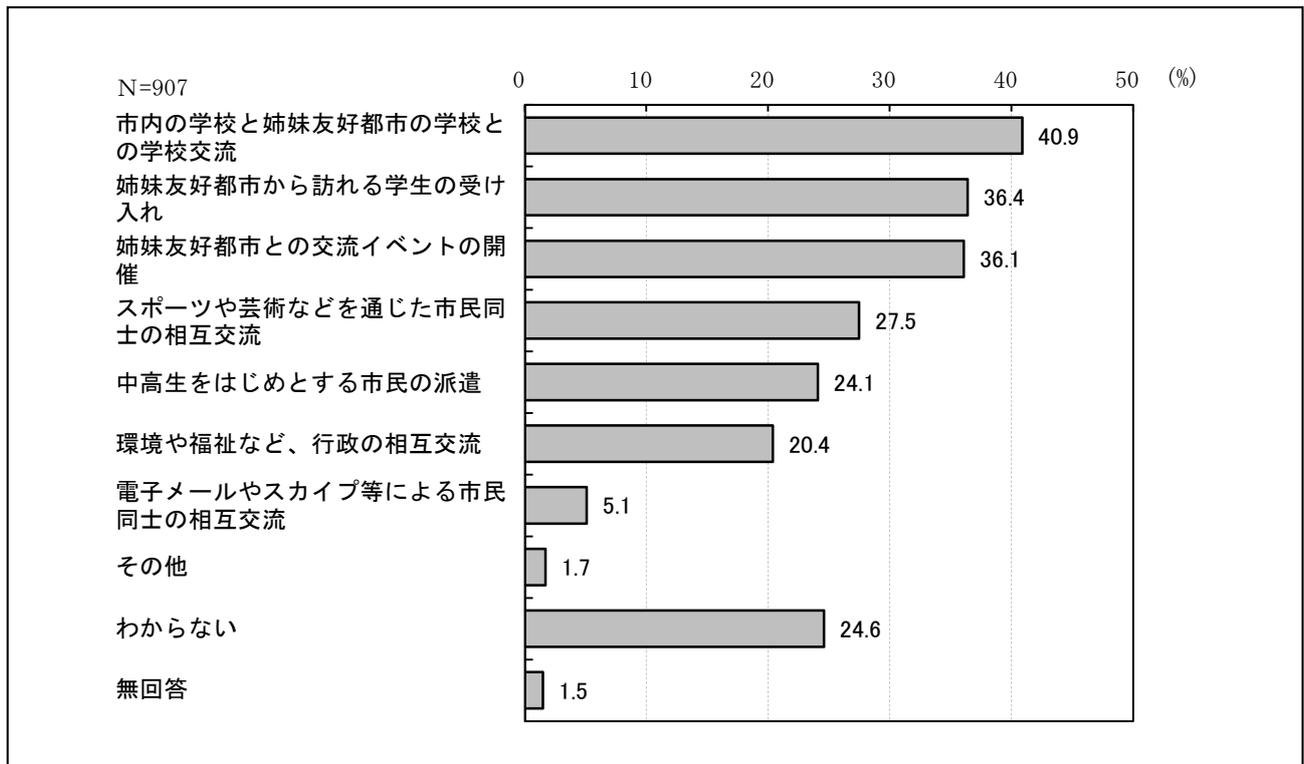
ボランティア活動への興味別にみると、興味のある人で「行政と民間が一体となって進めるべき」が78.2%と、約8割を占めている。

《経年比較》

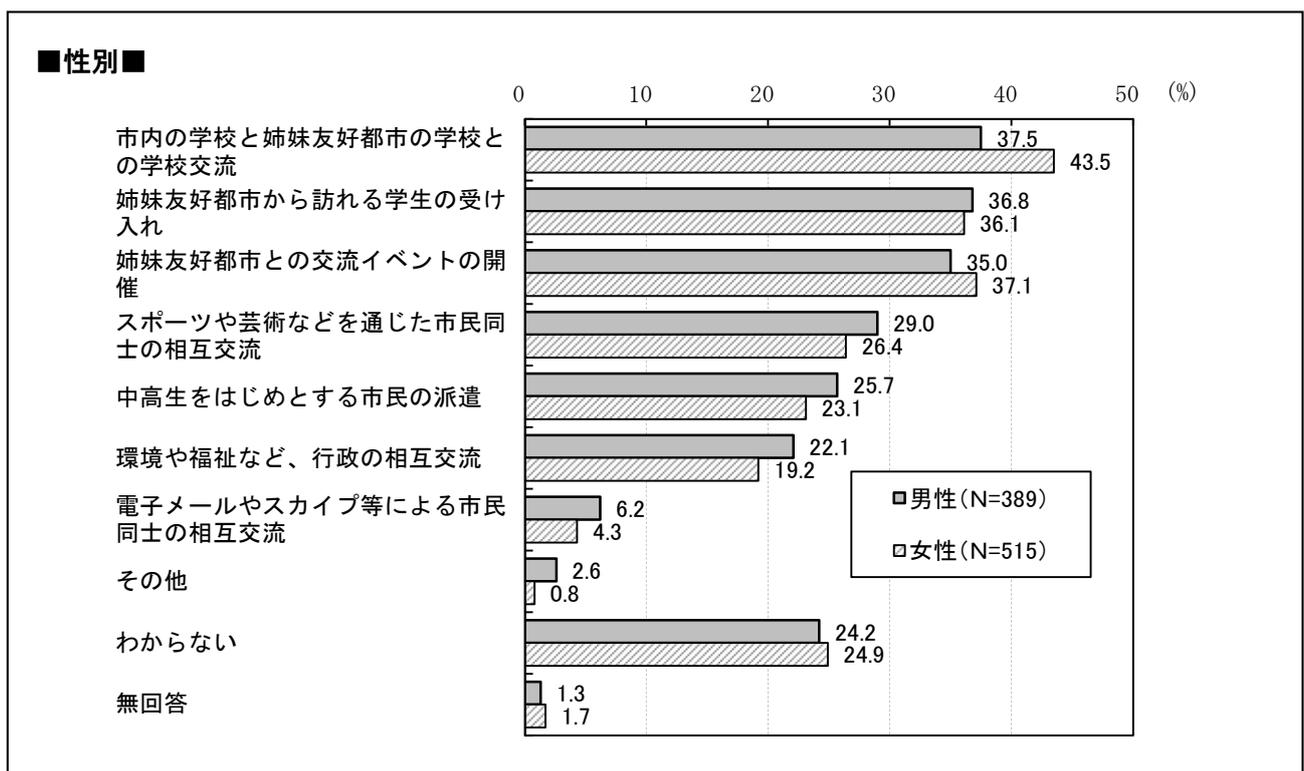


経年比較をすると、今回調査で「行政と民間が一体となって進めるべき」が53.5%と、年々低くなっている。

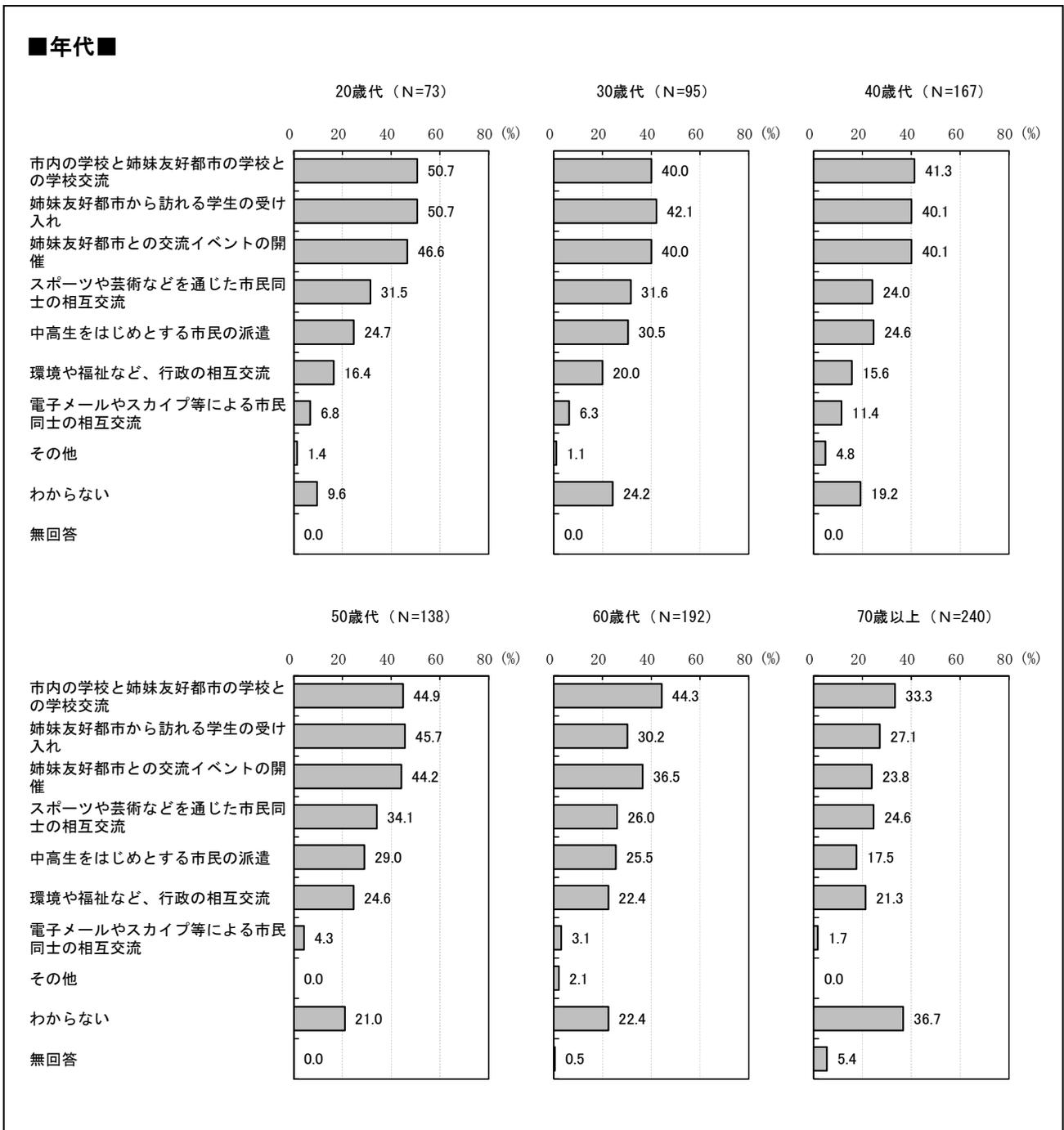
問 26 姉妹友好都市との交流は、今後どのような交流内容を重視して進めていくべきだと思いますか。
(〇はいくつでも)



今後どのような姉妹友好都市交流を重視して進めていくべきだと思うかは、「市内の学校と姉妹友好都市の学校との学校交流」が40.9%と最も高く、「姉妹友好都市から訪れる学生の受け入れ」36.4%、「姉妹友好都市との交流イベントの開催」36.1%などと続いている。

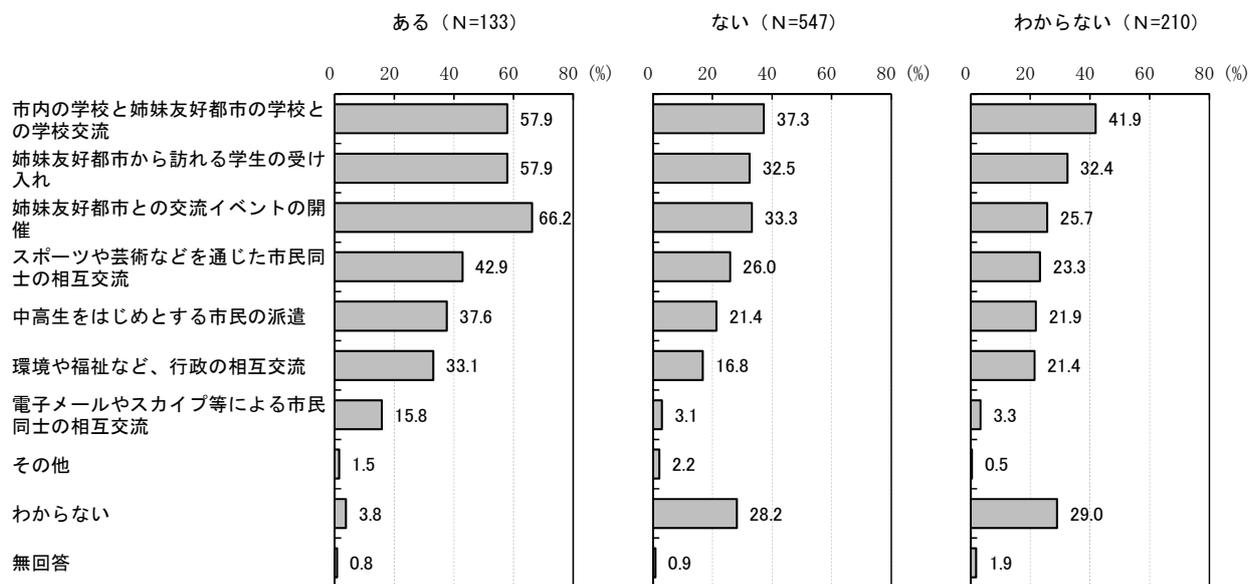


性別にみると、女性で「市内の学校と姉妹友好都市の学校との学校交流」が43.5%と、男性を6ポイント上回っている。



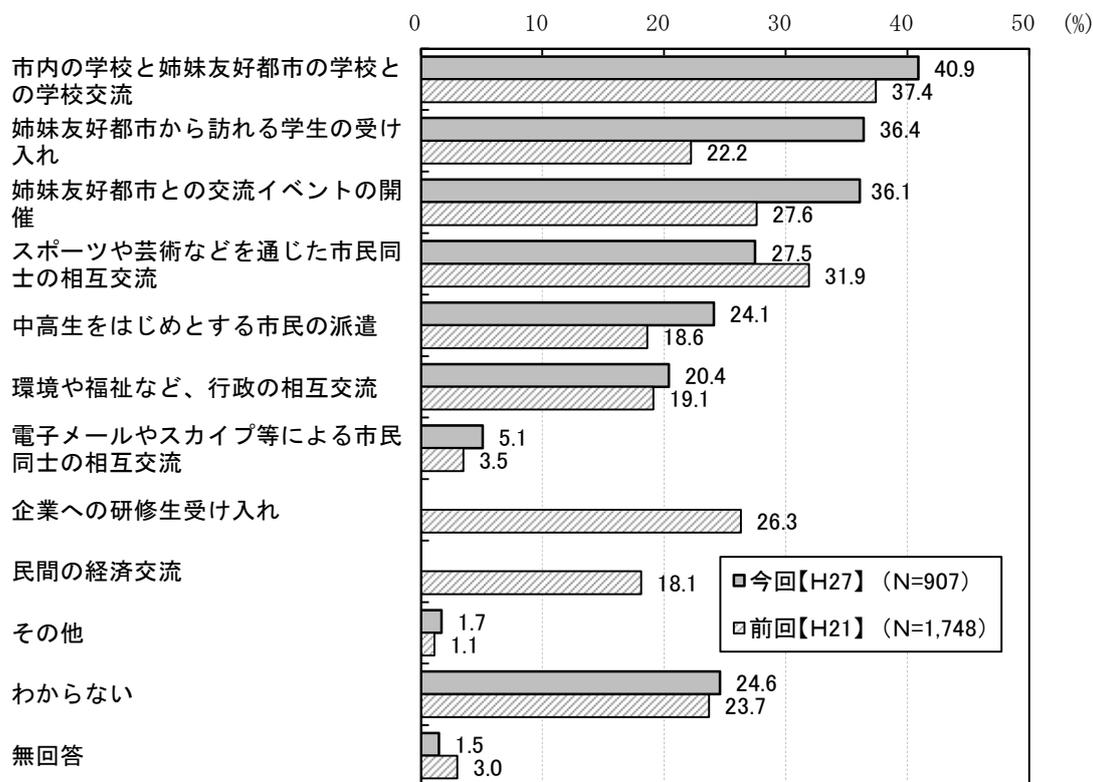
年代別にみると、20歳代で「市内の学校と姉妹友好都市の学校との学校交流」と「姉妹友好都市から訪れる学生の受け入れ」が5割以上と高くなっている。一方、70歳以上で「中高生をはじめとする市民の派遣」が2割未満と低くなっている。

■ ボランティア活動への興味 ■



ボランティア活動への興味別にみると、興味のある人で「姉妹友好都市との交流イベントの開催」が約7割と高くなっている。

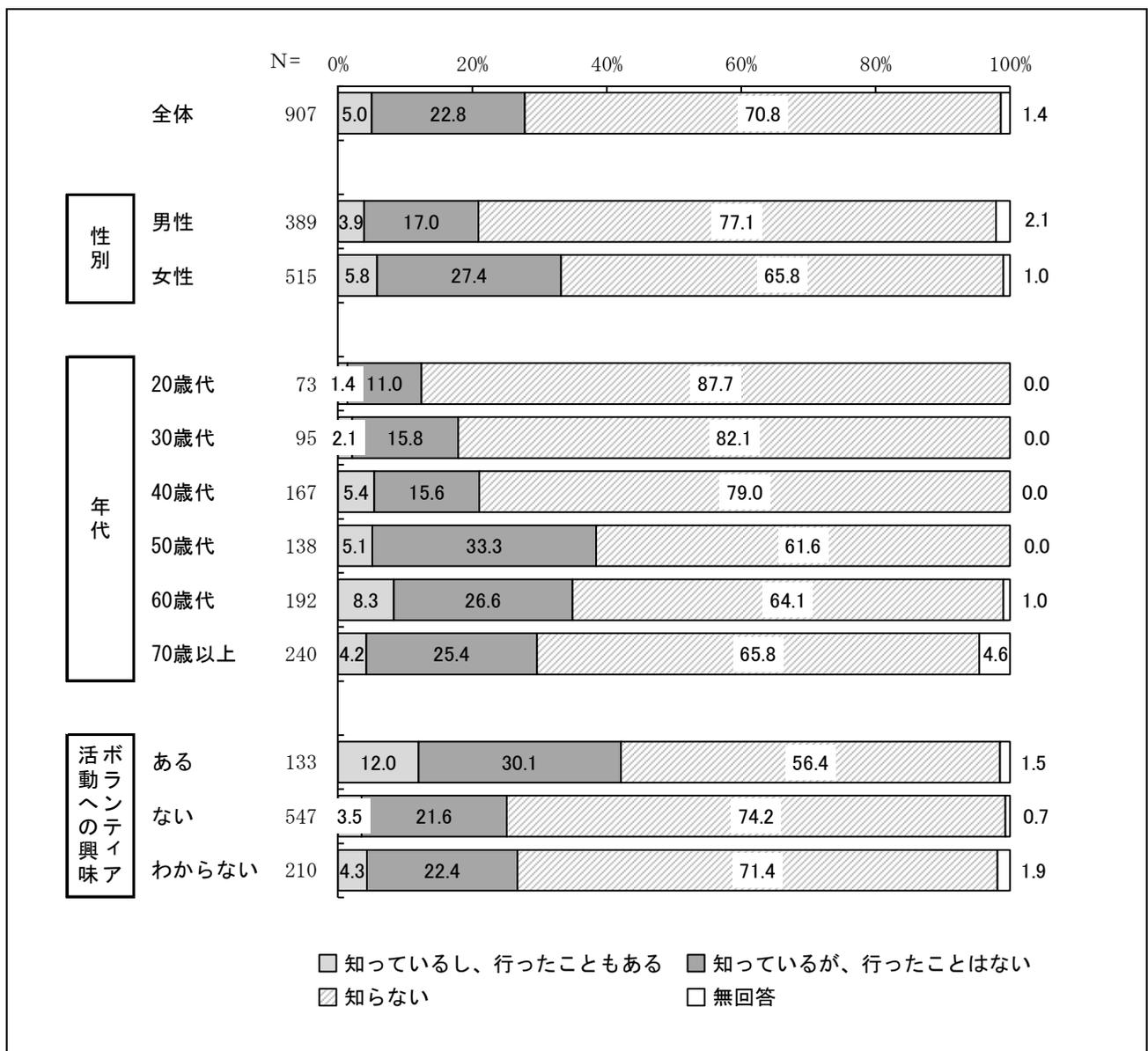
《経年比較》



※「企業への研修生受け入れ」、「民間の経済交流」は前回のみ。

経年比較をすると、今回調査で「姉妹友好都市から訪れる学生の受け入れ」が36.4%と、前回調査を14.2ポイント上回っている。

問 27 あなたは、毎年2月に行われる富士市国際交流フェアを知っていますか。(○は1つ)



富士市国際交流フェアの認知度は、「知っているし、行ったこともある」の5.0%と「知っているが、行ったことはない」の22.8%を合わせた『知っている』は27.8%となっている。一方、「知らない」は70.8%となっている。

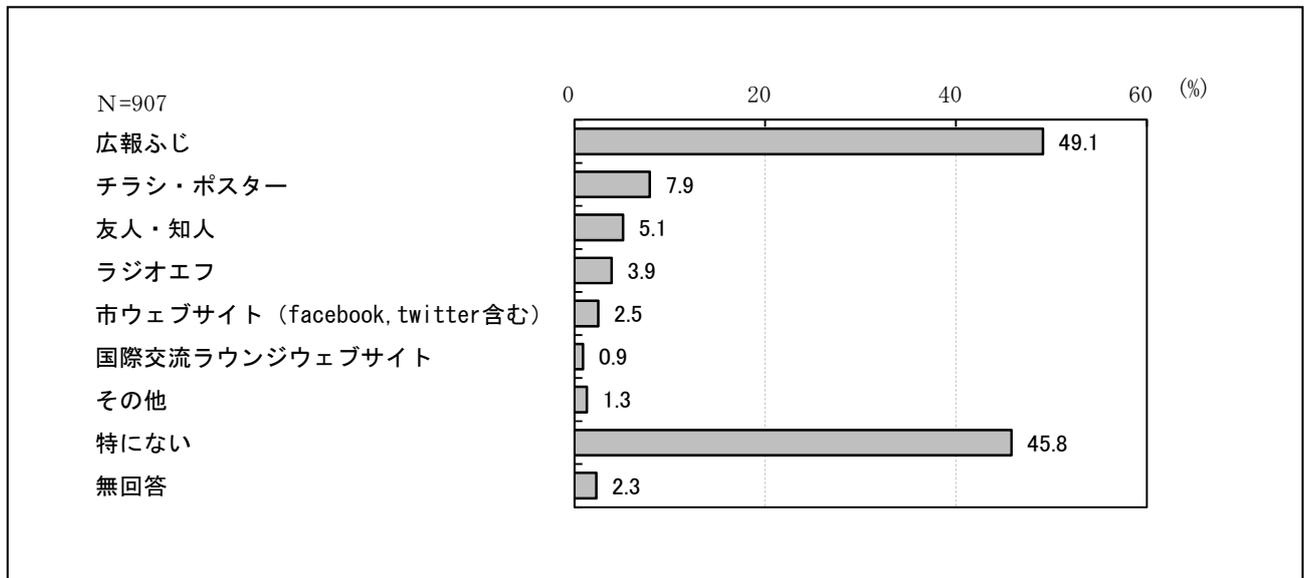
性別にみると、女性で『知っている』が33.2%と、約3割を占めている。

年代別にみると、50歳代で『知っている』が約4割と高くなっている。

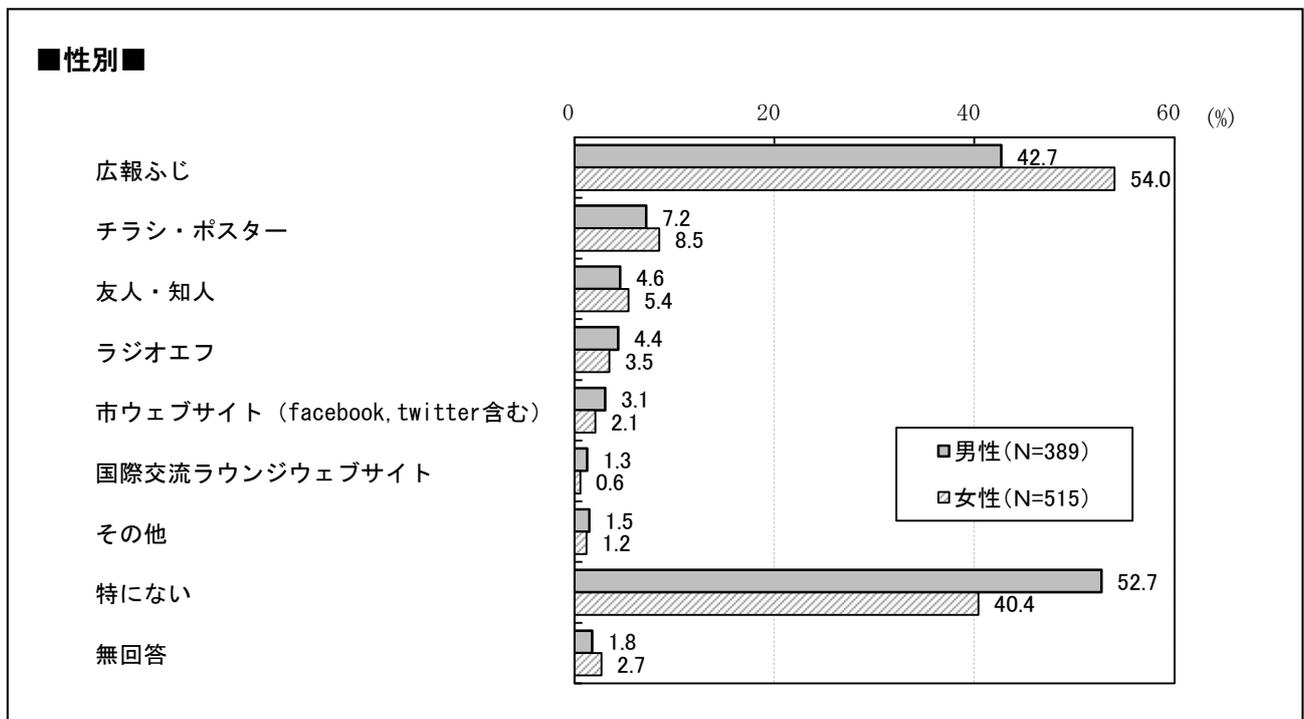
ボランティア活動への興味別にみると、興味のある人で『知っている』が42.1%と、約4割を占めている。

4 多文化共生・国際化 両方について

問 28 あなたは、市の多文化共生・国際交流事業について、どのように情報を入手していますか。(〇はいくつでも)

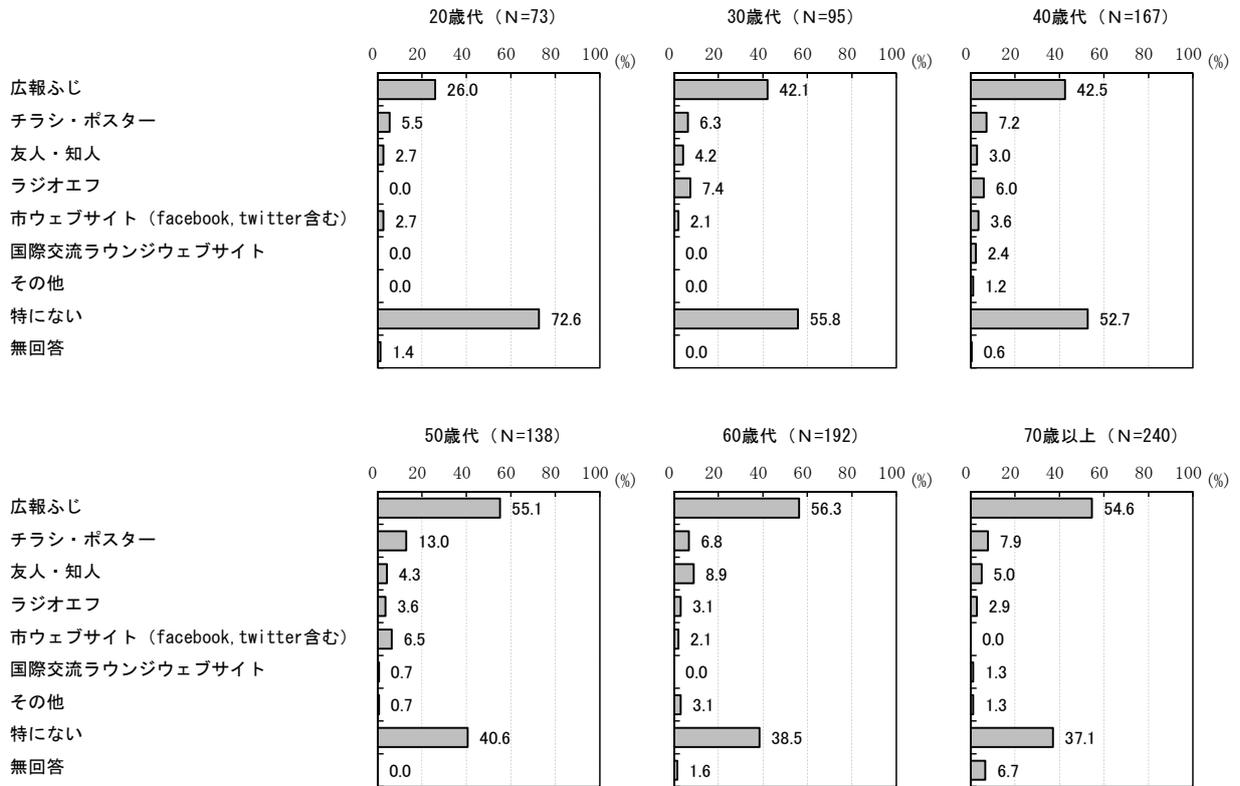


市の多文化共生・国際交流事業に関する情報入手方法は、「広報ふじ」が 49.1%と最も高く、「チラシ・ポスター」7.9%、「友人・知人」5.1%などと続いている。



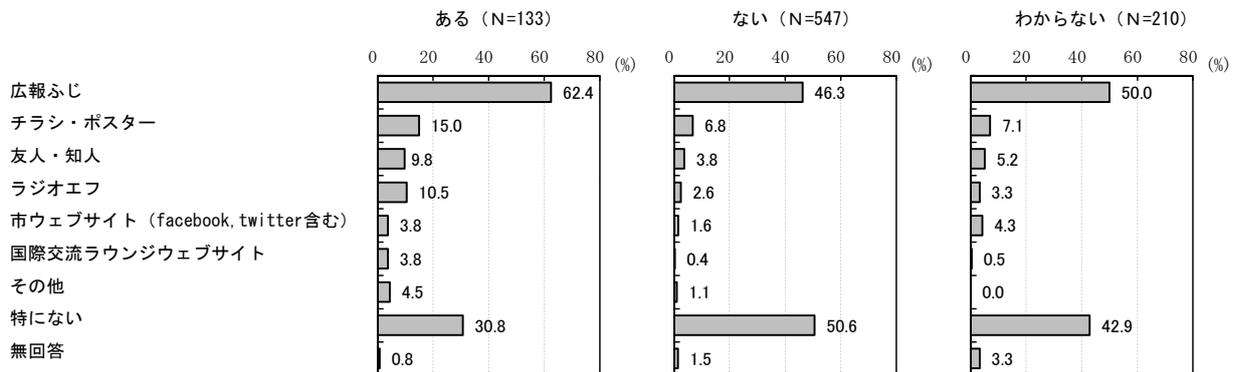
性別にみると、女性で「広報ふじ」が 54.0%と、男性を 11.3 ポイント上回っている。

■年代■



年代別にみると、年齢が高くなるほど「広報ふじ」が高くなっている。

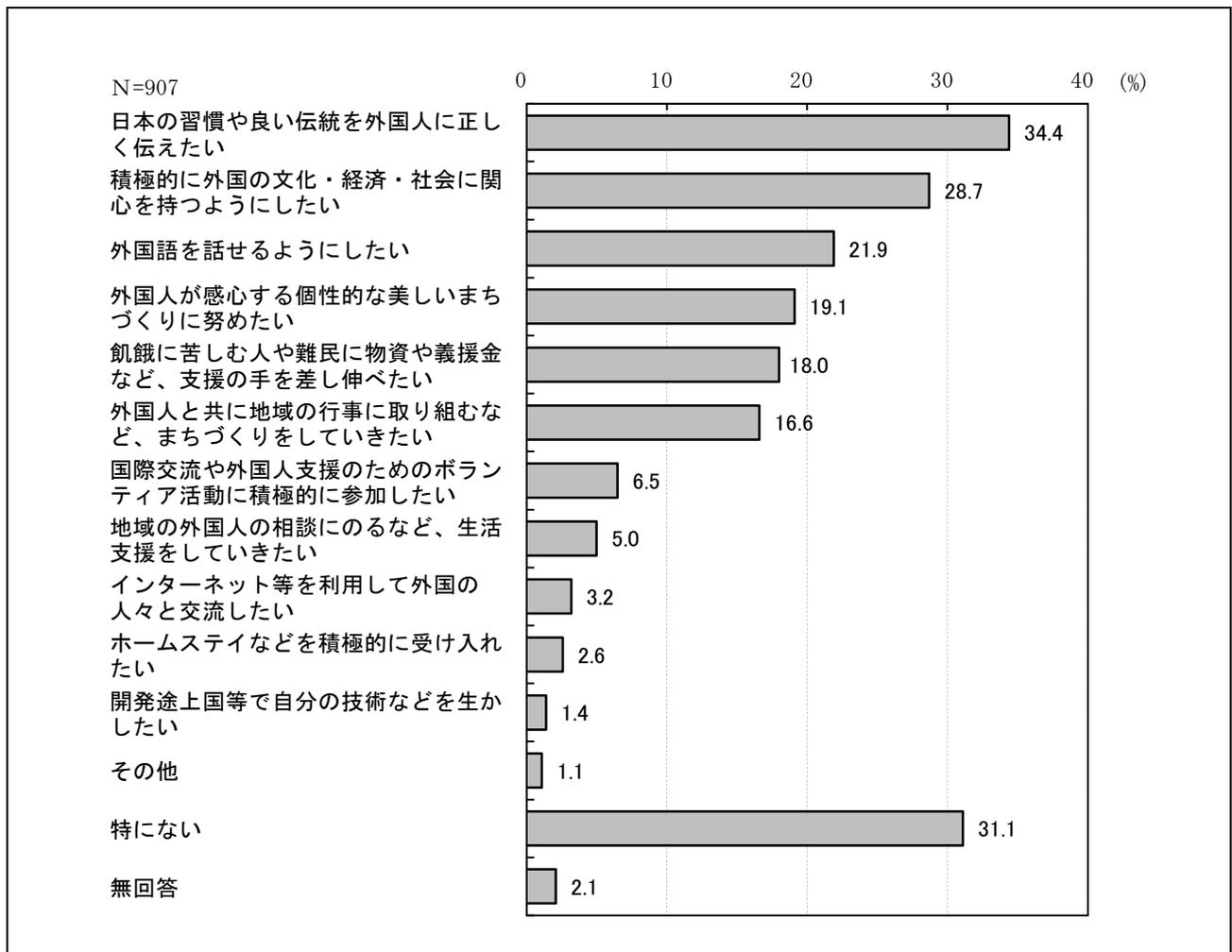
■ボランティア活動への興味■



ボランティア活動への興味別にみると、興味のある人で「広報ふじ」が約6割と高くなっている。

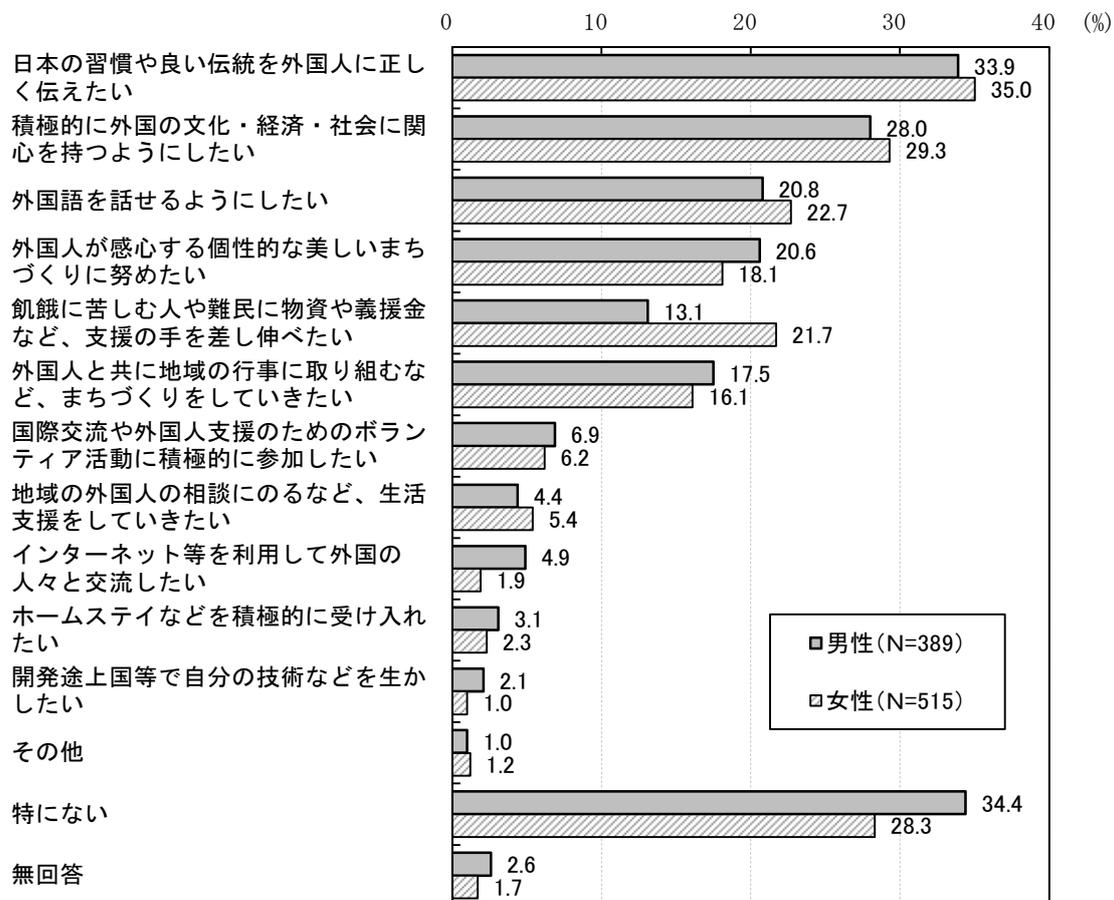
問 29 今後、多文化共生・国際化が進むのに伴い、あなた自身はどのような対応をしていきたいですか。

(〇はいくつでも)



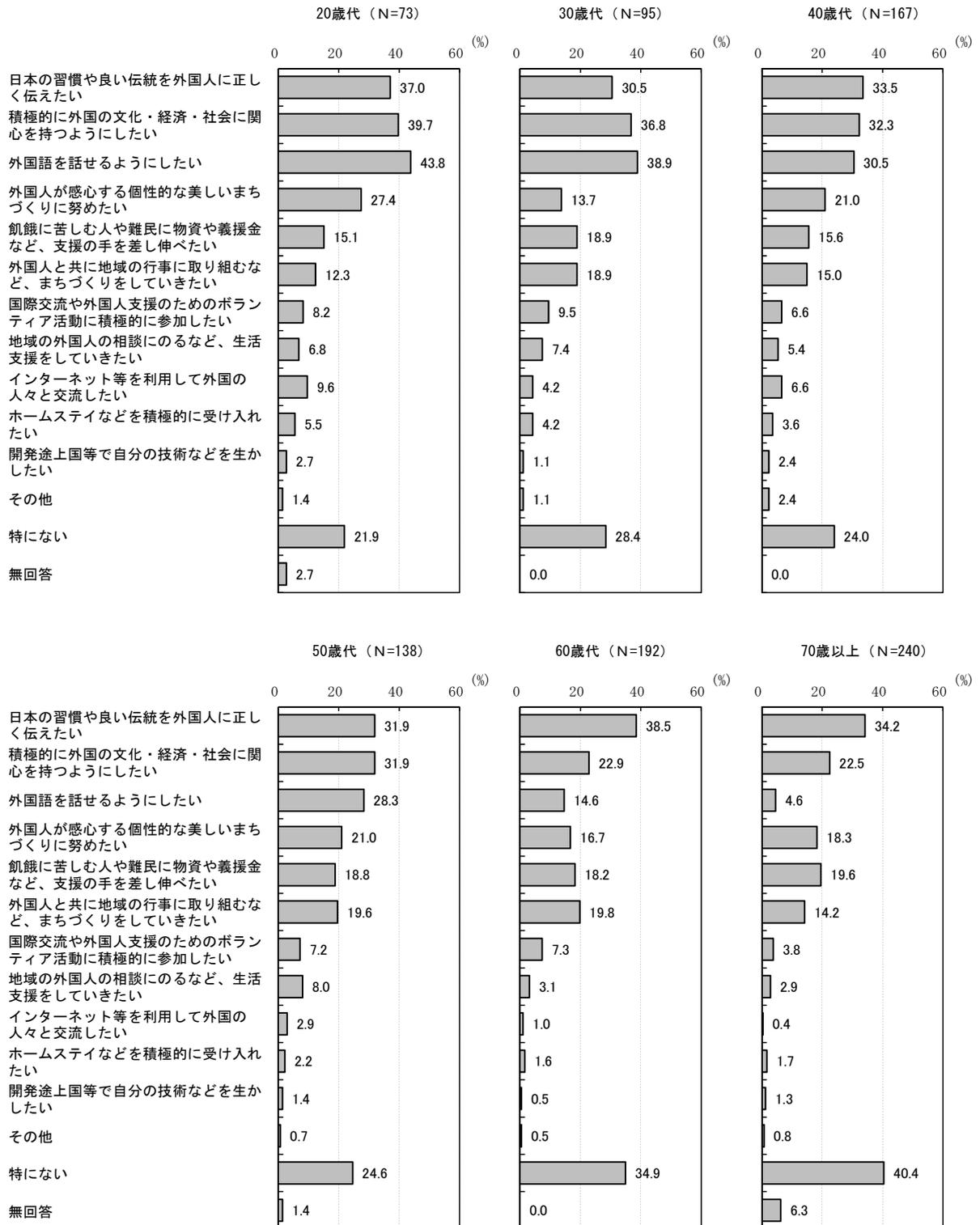
今後、多文化共生・国際化が進むのに伴い、自分自身が対応したいことは、「日本の習慣や良い伝統を外国人に正しく伝えたい」が 34.4%と最も高く、「積極的に外国の文化・経済・社会に関心を持つようにしたい」28.7%、「外国語を話せるようにしたい」21.9%などと続いている。

■性別■



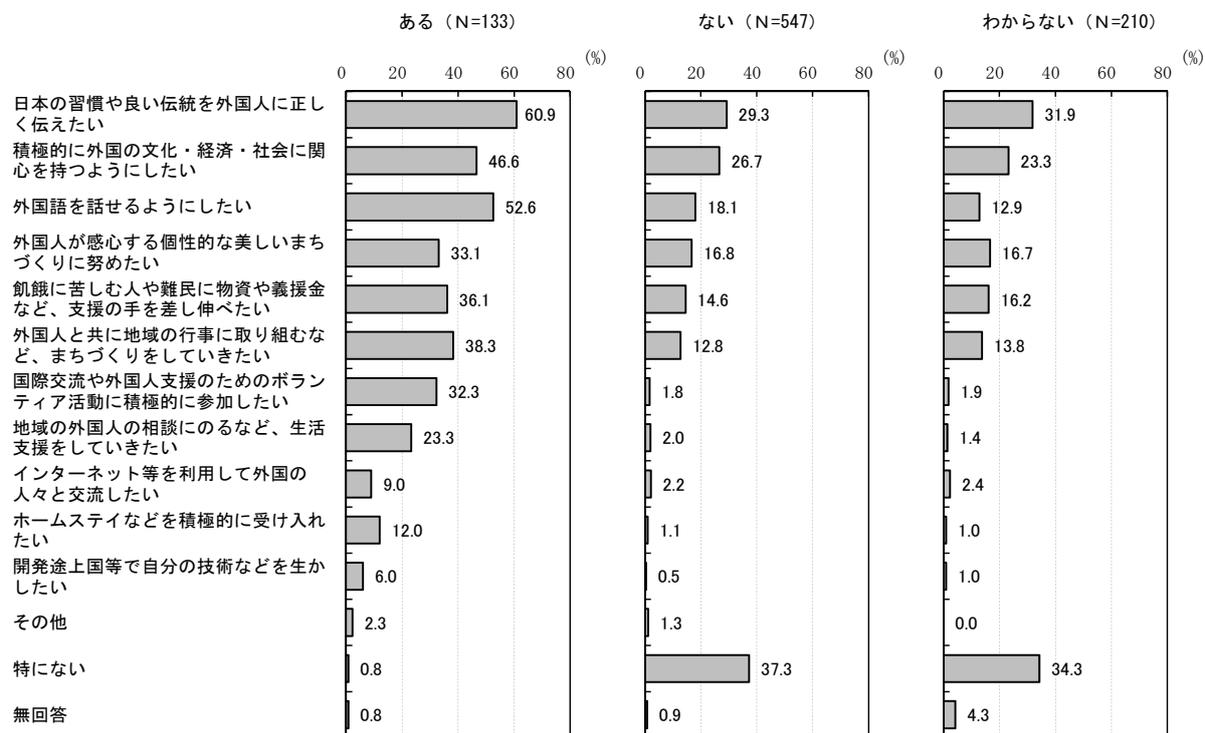
性別にみると、女性で「飢餓に苦しむ人や難民に物資や義援金など、支援の手を差し伸べたい」が21.7%と、男性を8.6ポイント上回っている。

■年代■



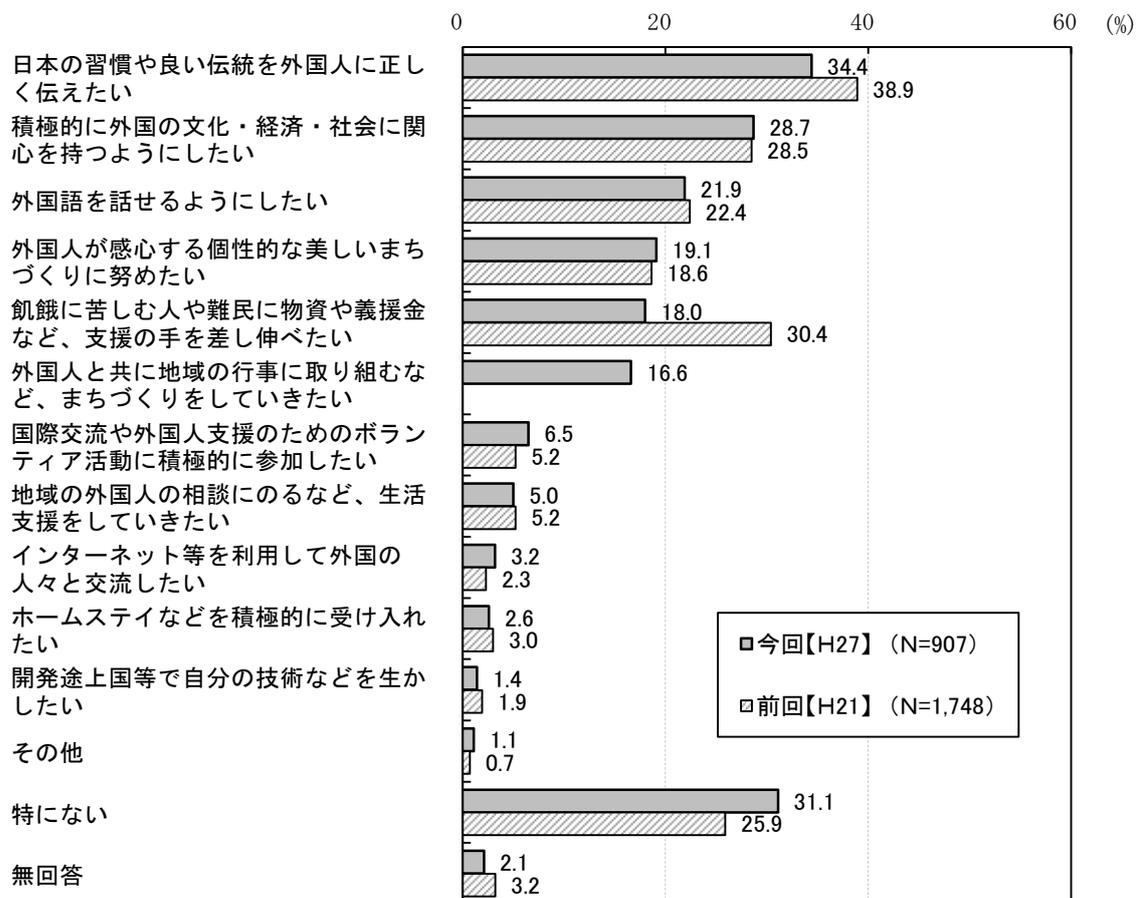
年代別にみると、年齢が高くなるほど「積極的に外国の文化・経済・社会に関心を持つようにしたい」と「外国語を話せるようにしたい」が低くなっている。

■ ボランティア活動への興味 ■



ボランティア活動への興味別にみると、興味のある人で「日本の習慣や良い伝統を外国人に正しく伝えたい」が約6割、「外国語を話せるようにしたい」が約5割と高くなっている。

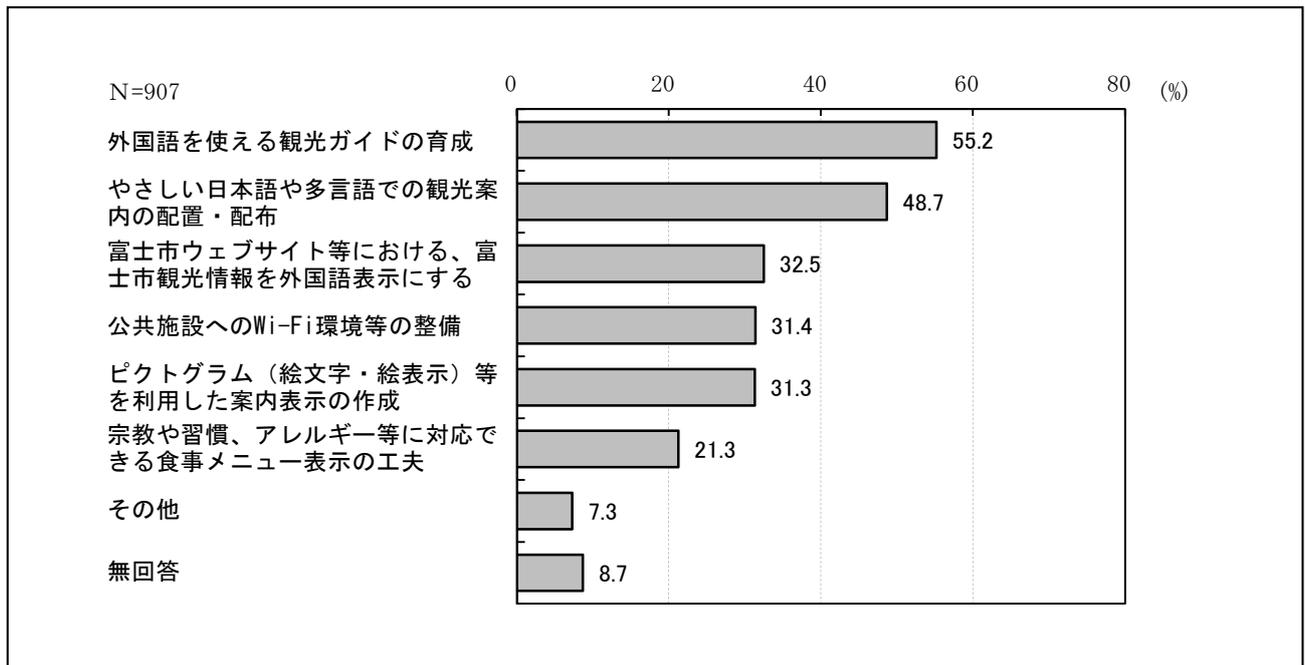
《経年比較》



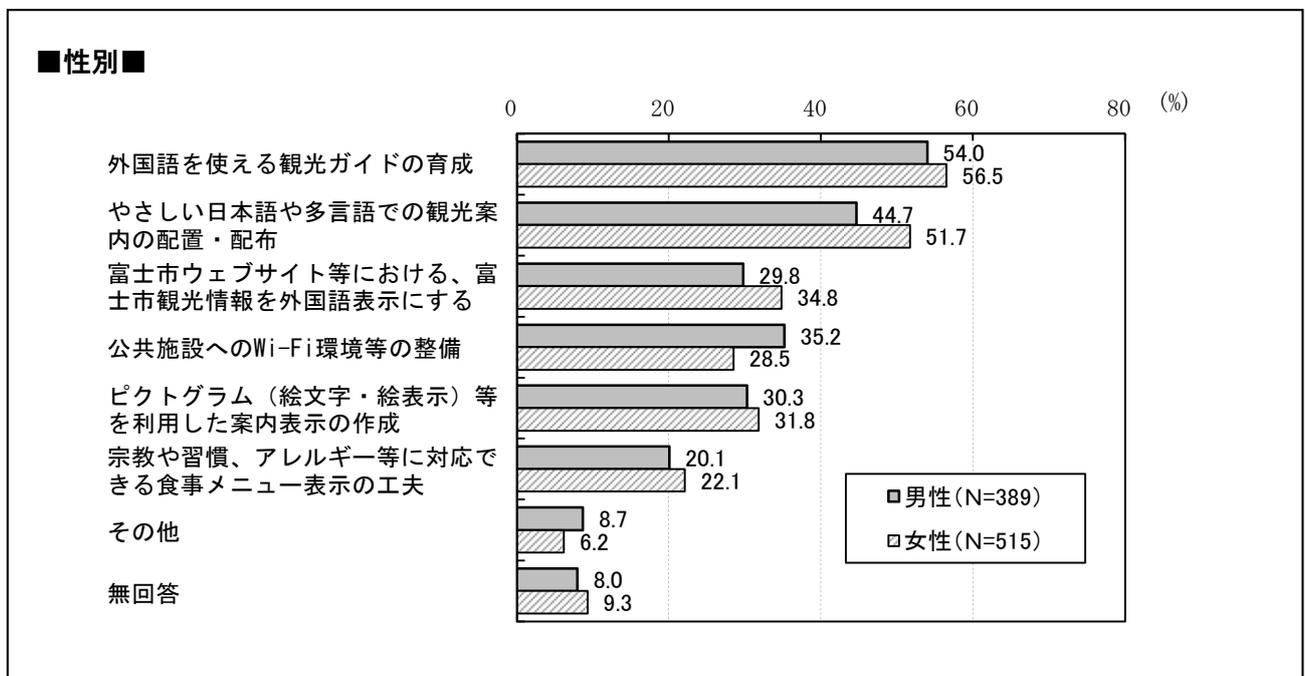
※「外国人と共に地域の行事に取り組むなど、まちづくりをしていきたい」は今回のみ。

経年比較をすると、今回調査で「飢餓に苦しむ人や難民に物資や義援金など、支援の手を差し伸べたい」が18.0%と、前回調査を12.4ポイント下回っている。

問 30 富士市を訪れる外国人観光客を増やすため、どのような工夫が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

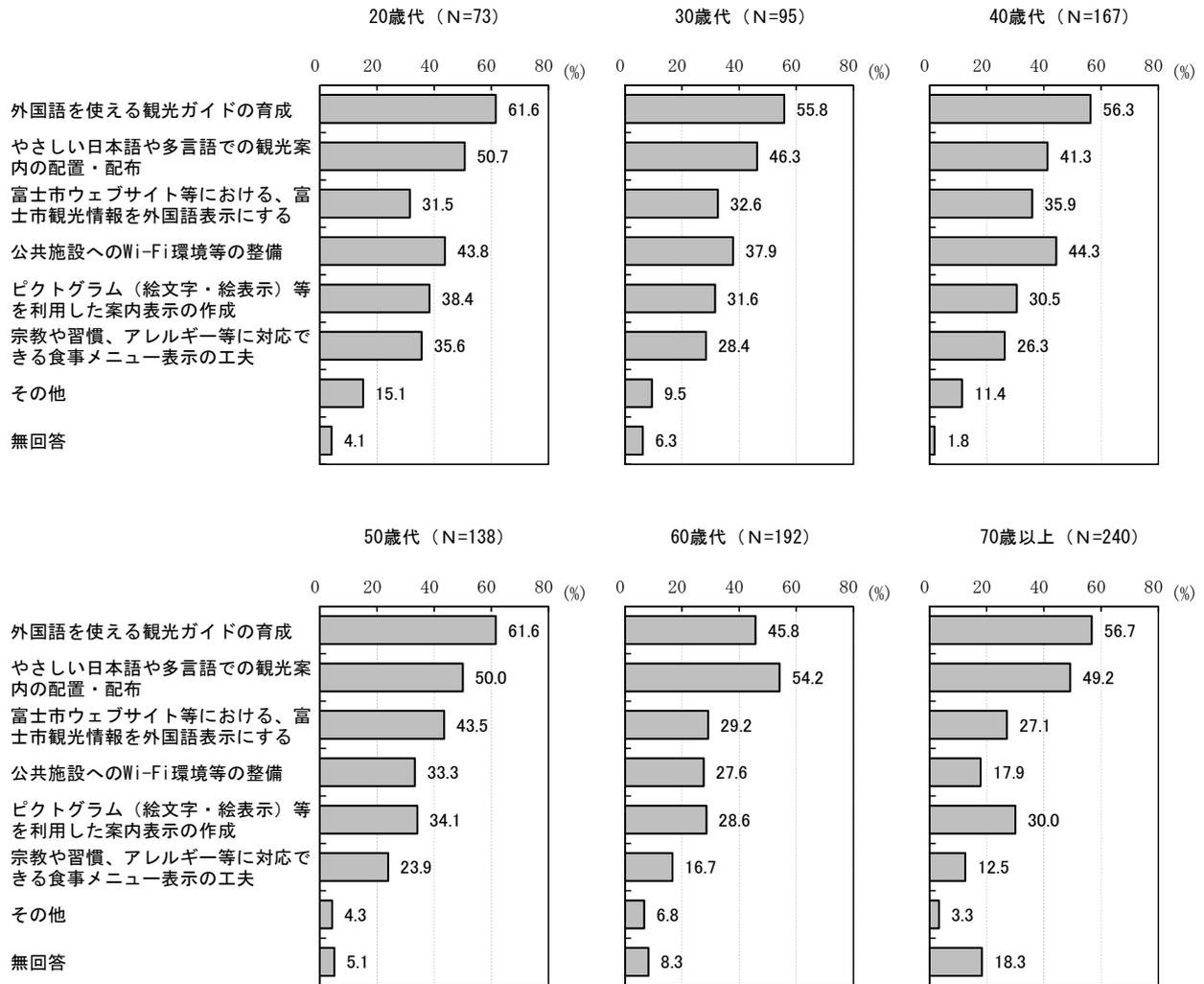


富士市を訪れる外国人観光客を増やすために必要な工夫は、「外国語を使える観光ガイドの育成」が55.2%と最も高く、「やさしい日本語や多言語での観光案内の配置・配布」48.7%、「富士市ウェブサイト等における、富士市観光情報を外国語表示にする」32.5%などと続いている。



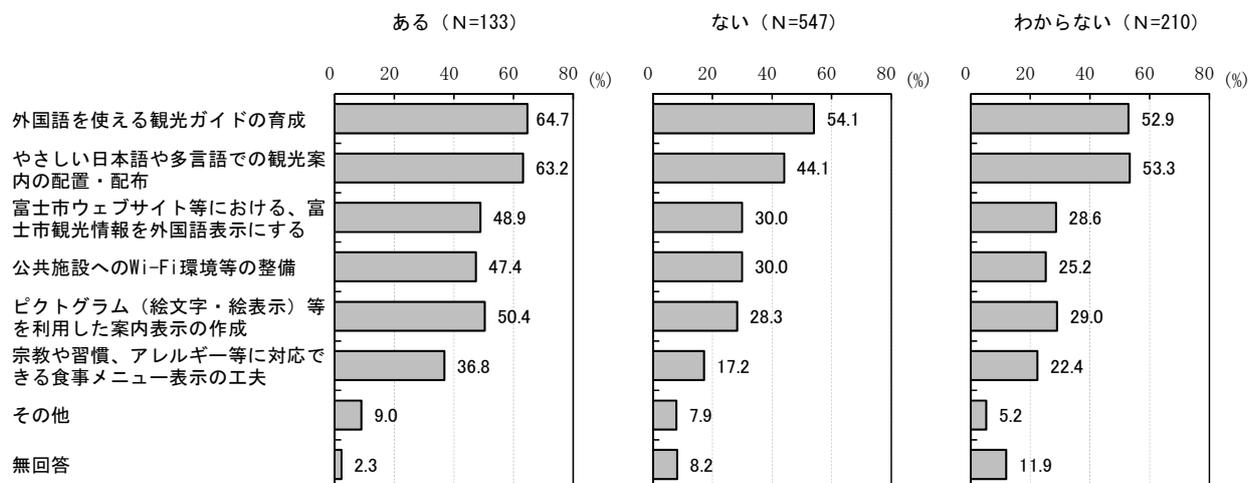
性別にみると、女性で「やさしい日本語や多言語での観光案内の配置・配布」が51.7%と、男性を7ポイント上回っている。一方、男性で「公共施設へのWi-Fi環境等の整備」が35.2%と、女性を6.7ポイント上回っている。

■年代■



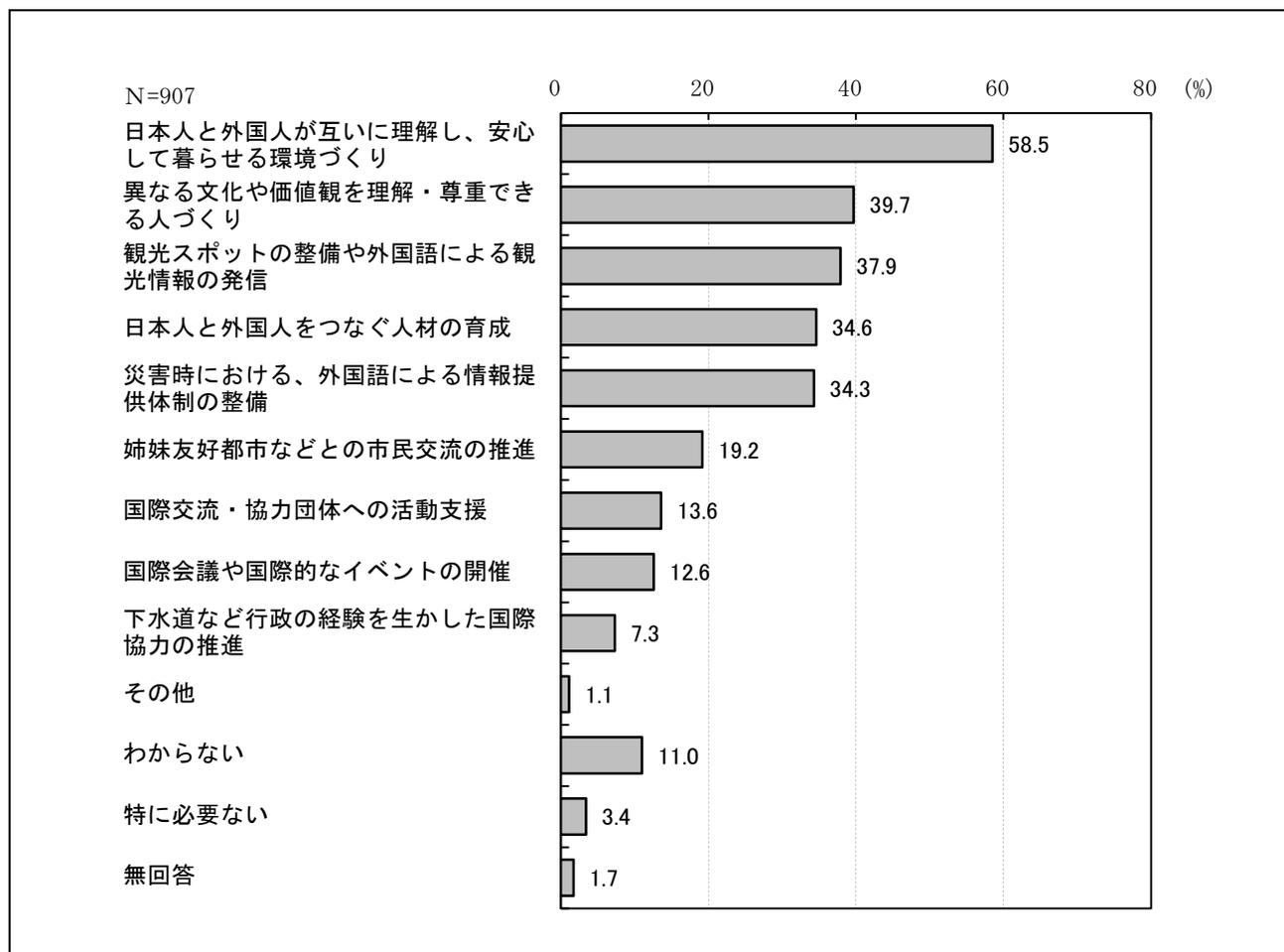
年代別にみると、年齢が高くなるほど「宗教や習慣、アレルギー等に対応できる食事メニュー表示の工夫」が低くなっている。70歳以上で「公共施設へのWi-Fi環境等の整備」が2割未満と低くなっている。

■ ボランティア活動への興味 ■



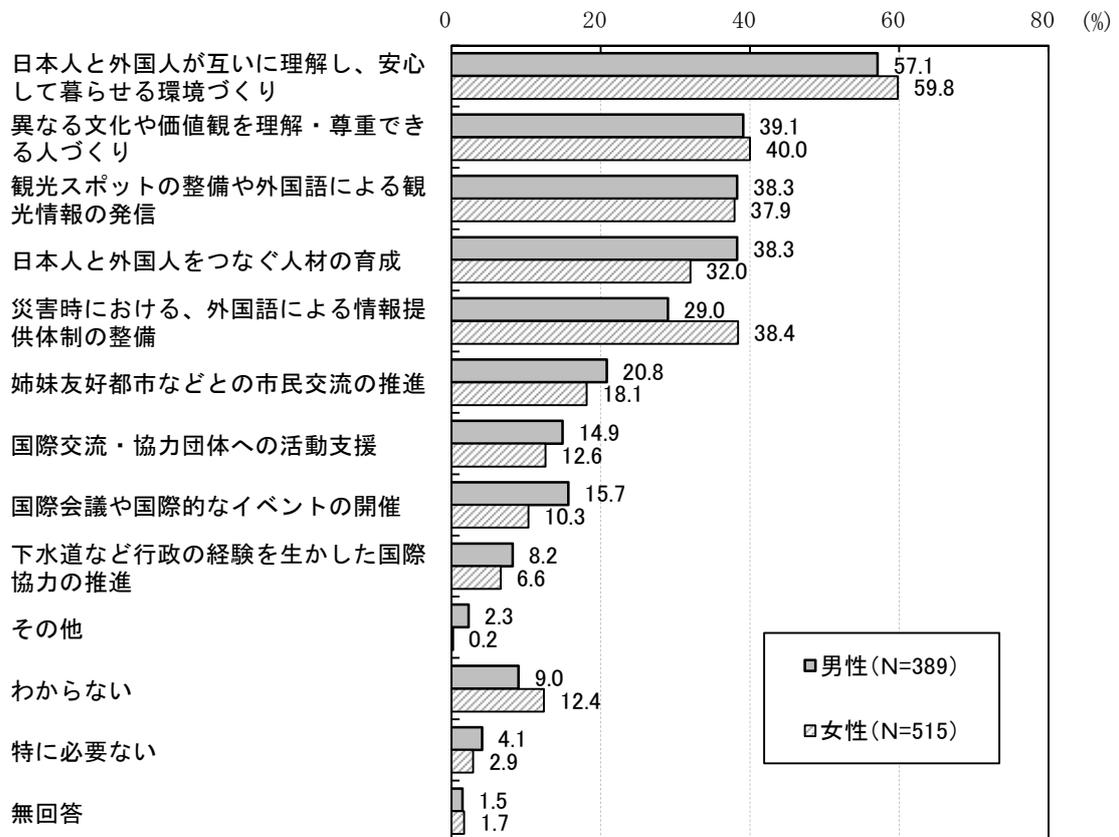
ボランティア活動への興味別にみると、興味のある人で「ピクトグラム（絵文字・絵表示）等を利用した案内表示の作成」が約5割と高くなっている。

問 31 多文化共生や国際化の進展に伴い、富士市においてどのような施策が重要と考えますか。(〇は
いくつでも)



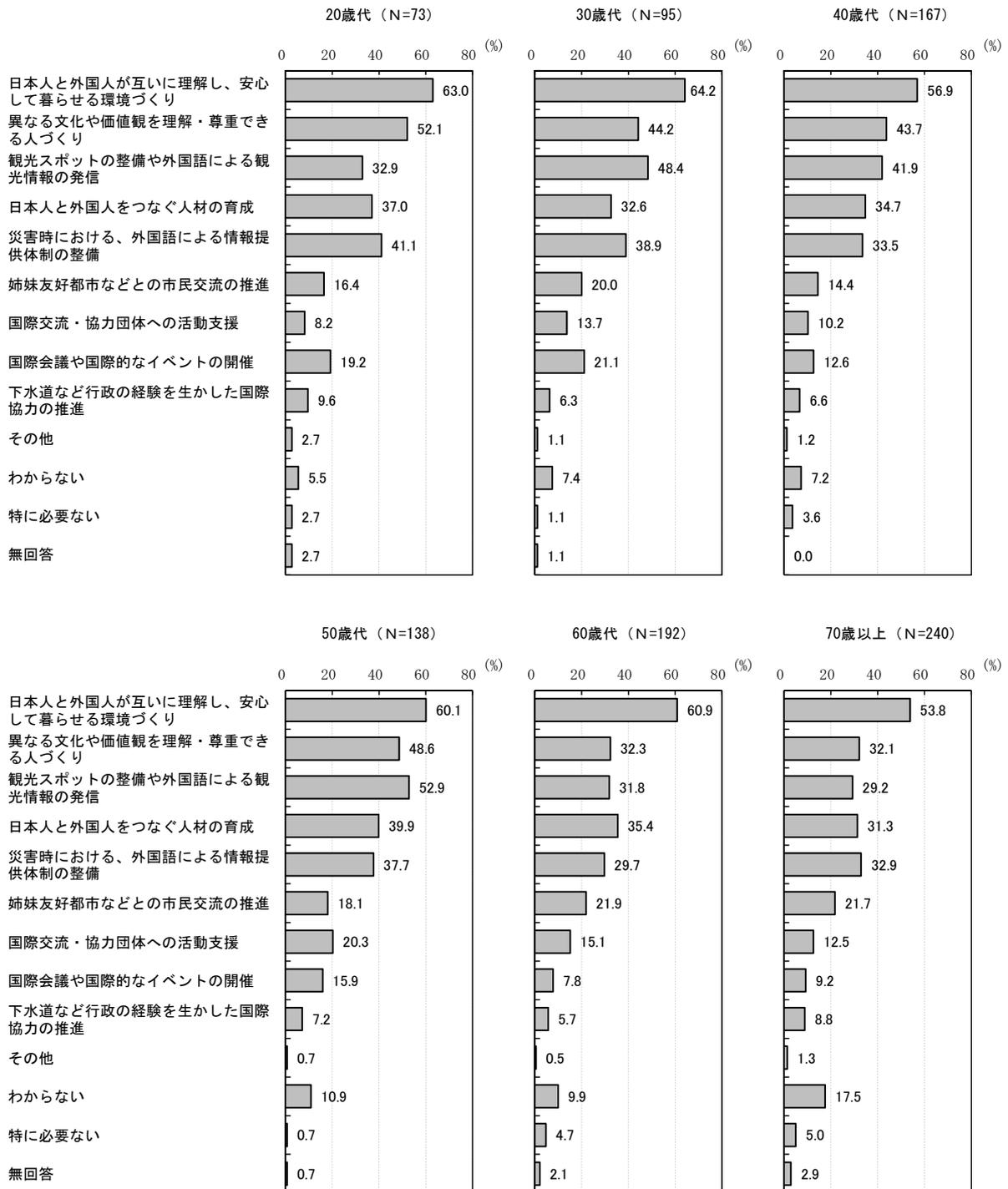
多文化共生や国際化の進展に伴い、富士市において重要と考える施策は、「日本人と外国人が互いに理解し、安心して暮らせる環境づくり」が 58.5%と最も高く、「異なる文化や価値観を理解・尊重できる人づくり」39.7%、「観光スポットの整備や外国語による観光情報の発信」37.9%などと続いている。

■性別■



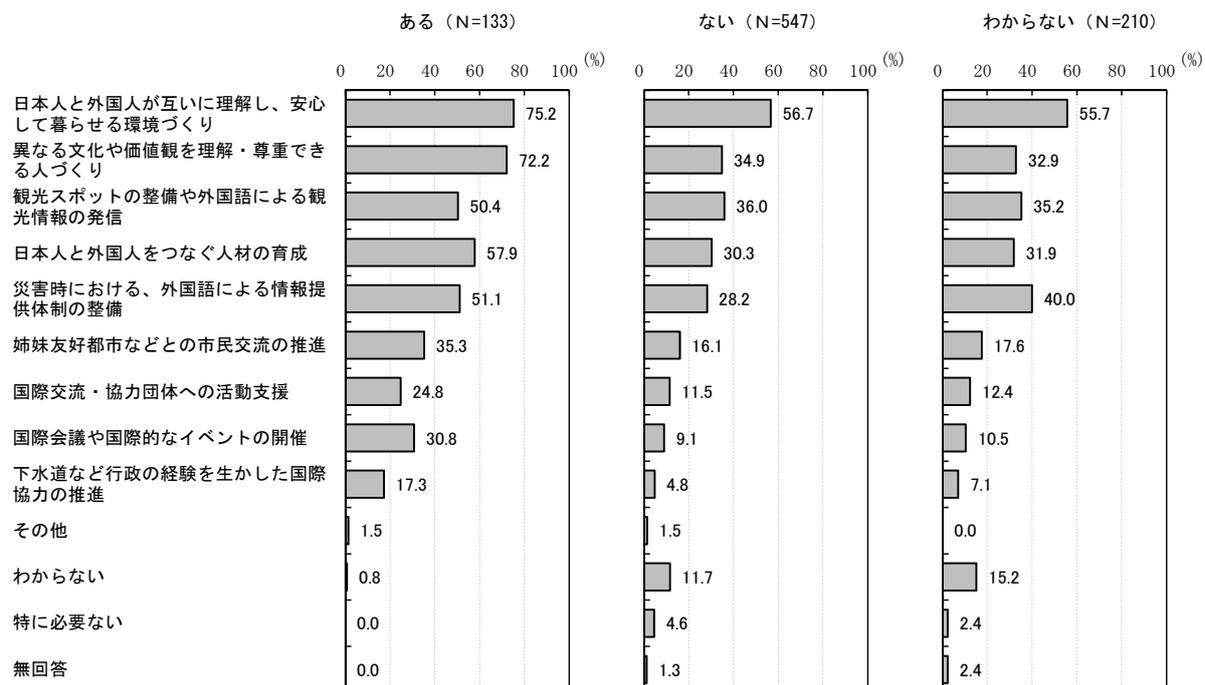
性別にみると、女性で「災害時における、外国語による情報提供体制の整備」が38.4%と、男性を9.4ポイント上回っている。一方、男性で「日本人と外国人をつなぐ人材の育成」が38.3%と、女性を6.3ポイント上回っている。

■年代■



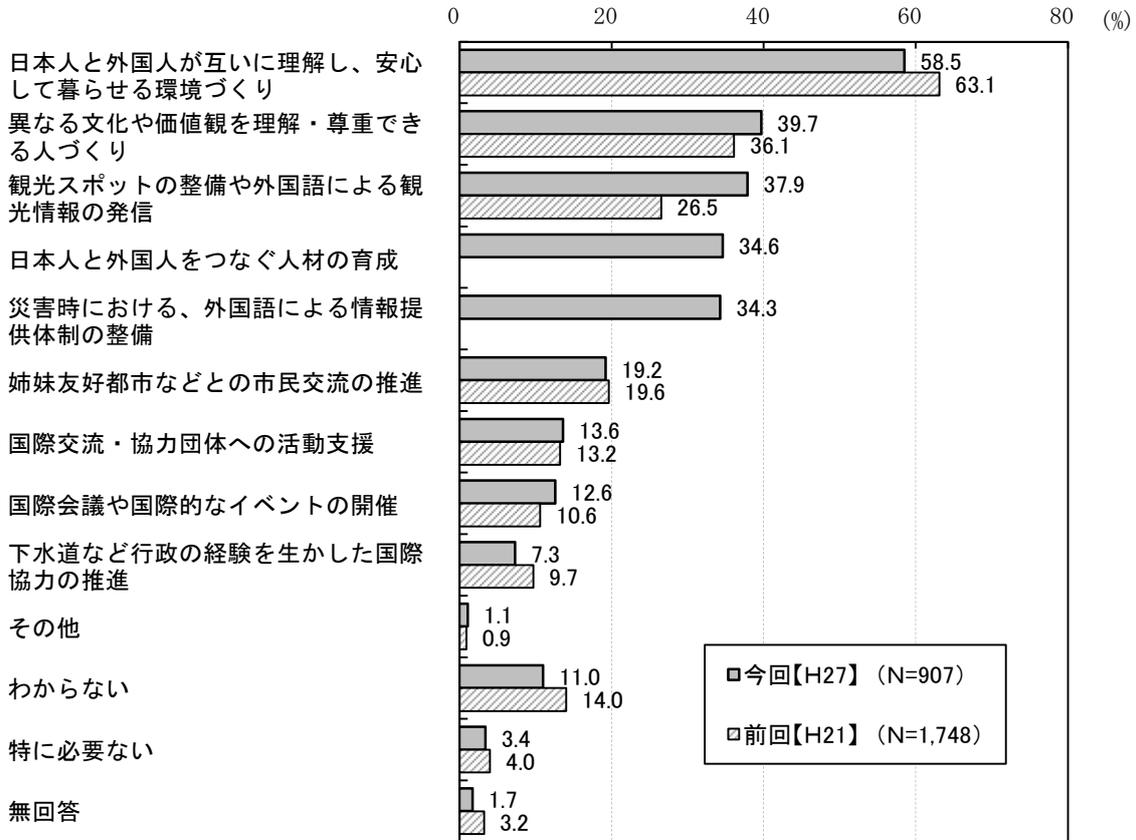
年代別にみると、30歳代と50歳代で「観光スポットの整備や外国語による観光情報の発信」が約5割と高くなっている。

■ ボランティア活動への興味 ■



ボランティア活動への興味別にみると、興味のある人で「日本人と外国人が互いに理解し、安心して暮らせる環境づくり」と「異なる文化や価値観を理解・尊重できる人づくり」がそれぞれ7割以上、「国際会議や国際的なイベントの開催」が約3割と高くなっている。

《経年比較》



※「日本人と外国人をつなぐ人材の育成」、「災害時における、外国語による情報提供体制の整備」は今回のみ。

経年比較をすると、今回調査で「観光スポットの整備や外国語による観光情報の発信」が37.9%と、前回調査を11.4ポイント上回っている。